# 障害者の医療ニーズに関する調査分析
# 報　告　書

令和４年（２０２２年）3月

広島市

# 目次

**第１章　障害者の医療ニーズに関する調査の概要 ..... 3**

**1　調査概要 ..... 3**

(1) 調査の目的 ..... 3

(2) 調査の時期 ..... 3

(3) 調査地域 ..... 3

(4) 調査対象者及び調査方法 ..... 3

(5) 回収結果 ..... 4

(6) 調査集計にあたっての留意事項 ..... 4

**2　回答者の属性 ..... 5**

(1) 年齢構成 ..... 5

(2) 居住地域 ..... 5

**第２章　障害者の医療ニーズに関する調査の結果 ..... 9**

**1　障害者御本人の状況について ..... 9**

問１　このアンケートを記入しているのはどなたですか。（○は１つ） ..... 9

問２　あなたの年齢は次のうちどれですか。（○は１つ） ..... 10

問３　あなたの住まいはどちらですか。（○は１つ） ..... 11

問４　身体障害者手帳（○は１つ） ..... 12

問４　身体障害の種類（部位）はどれですか。（○はいくつでも） ..... 14

問４　療育手帳（○は１つ） ..... 15

問４　精神障害者保健福祉手帳（○は１つ） ..... 17

問４　自立支援医療（精神通院）受給者証 ..... 19

問４　発達障害（発達障害の診断名）（○はいくつでも） ..... 21

問４　高次脳機能障害 ..... 22

問４　特定医療費（指定難病）受給者証 ..... 22

**2　共通項目の結果 ..... 23**

問５　現在、医師の治療を受けていますか。（○はいくつでも） ..... 23

問６　かかりつけの医療機関（歯科を除く）がありますか。 ..... 27

問６（1）　問６で「１．ある」に○をつけた方におたずねします。受診頻度について、最も近いものを教えてください。（○は１つ） ..... 29

問６（2）　通院・入院している医療機関（歯科を除く）の場所はどこですか。（○はいくつでも） .. 31
問６（3）　通院・入院している医療機関（歯科を除く）はどれですか。（○はいくつでも）..... 36
問６（4）　どの診療科を受診していますか。（○はいくつでも） ..... 41
問６（5）　医療機関での治療や療養についての満足度を教えてください。（○はいくつでも） ..... 50
問７ これまでに、医療機関の受診の必要を感じたが、受診できなかったことはありますか。..... 52
問７（1）　問７で「１．ある」に○をつけた方におたずねします。医療機関の受診の必要を感じたが、受診できなかったのは、どのようなときでしたか。（○はいくつでも） ..... 54
問７（2）　(1)のときに、受診できなかった理由を教えてください。（○は１つ）また、１又は２を選択した場合は、可能な範囲で理由を書いてください。..... 61
問８ あなたが、医療機関をより受診しやすくなる又は適切な医療を受けやすくなるために、特に必要な対応はどれだと思いますか。（○は２つまで） ..... 64

**第３章　調査結果の分析 ..... 75**

**「受診できなかったことの有無」と「障害者外来に必要な対応」について ..... 75**

(1) 障害種別×受診できなかったことの有無 ..... 75
(2) 障害の程度×受診できなかったことの有無..... 76
(3) 年齢×受診できなかったことの有無..... 78
(4) 居住区×受診できなかったことの有無..... 79
(5) 障害者外来に必要な対応×受診できなかったことの有無 ..... 80
(6) 障害者外来に必要な対応×満足度 ..... 81
(7) 障害者外来に必要な対応×病院別 ..... 82

**資料編　身体障害者用アンケート調査（参考）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５**

# 第１章
# 障害者の医療ニーズに関する調査の概要

# 第１章　障害者の医療ニーズに関する調査の概要

## 1　調査概要

### (1) 調査の目的

障害者及び障害児がライフステージに沿って安心して医療を受けられる環境づくりの参考とするため、市内に居住する障害者等を対象に、医療についてのニーズや医療機関の状況に関するアンケート調査を実施し、受診しやすい環境づくりの支援に役立てるための基礎情報を得ることを目的とします。

### (2) 調査の時期

令和３年 11 月中旬～令和３年 12 月 22 日

### (3) 調査地域

広島市内一円

### (4) 調査対象者及び調査方法

<table>
<tr><th>区分</th><th colspan="3">対象者数等</th><th>調査方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">身体障害者</td><td colspan="2">1,250 人</td><td rowspan="6">（郵送自記式）<br>市内在住の手帳所持者から無作為抽出<br><br>（面談式）<br>団体に依頼</td><td>郵送自記式</td></tr>
<tr><td colspan="2">（うち 40 人）</td><td>面談式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">知的障害者</td><td colspan="2">1,110 人</td><td>郵送自記式</td></tr>
<tr><td colspan="2">（うち 80 人）</td><td>面談式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">障害児</td><td colspan="2">1,050 人</td><td>郵送自記式</td></tr>
<tr><td colspan="2">（うち 30 人）</td><td>面談式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">精神障害者</td><td>入院</td><td>550 人</td><td rowspan="2">市内の精神科医療機関受診者</td><td rowspan="2">面談式</td></tr>
<tr><td>通院</td><td>800 人</td></tr>
<tr><td>難病患者</td><td colspan="2">280 人</td><td>団体に依頼</td><td>郵送自記式</td></tr>
<tr><td>高次脳機能障害者</td><td colspan="2">180 人</td><td>団体に依頼</td><td>郵送自記式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発達障害者</td><td colspan="2">200 人</td><td rowspan="2">団体に依頼</td><td>郵送自記式</td></tr>
<tr><td colspan="2">（うち 50 人）</td><td>面談式</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td colspan="2">5,420 人<br>郵送自記式　3,870 人<br>面　談　式　　1,550 人</td><td></td><td></td></tr>
</table>

## (5) 回収結果

本調査の回収数及び有効回収率は以下のとおりです。

| 区分 | | 配布数(人) | 回収数(人) | 有効回収数(人) | 有効回収率(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 身体障害者 | | 1,250 | 755 | 754 | 60.3% |
| 知的障害者 | | 1,110 | 582 | 581 | 52.3% |
| 障害児 | | 1,050 | 531 | 531 | 50.6% |
| 精神障害者 | 入院 | 550 | 406 | 406 | 73.8% |
| | 通院 | 800 | 390 | 390 | 48.8% |
| 難病患者 | | 280 | 155 | 155 | 55.4% |
| 高次脳機能障害者 | | 180 | 116 | 116 | 64.4% |
| 発達障害者 | | 200 | 76 | 76 | 38.0% |
| 合 計 | | 5,420 | 3,011 | 3,009 | 55.5% |

## (6) 調査集計にあたっての留意事項

○集計処理にあたっては、回答結果から障害種別、年齢等の条件を基に行いました。精神障害者については入院と通院を合わせた数で集計しています。

○回答結果は小数点第 2 位を四捨五入しているため、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の割合の合計が 100%にならない場合があります。

○複数回答（2 つ以上の回答を選ぶことのできる形式）の項目は、有効標本数全体もしくは各属性の合計に対して各々の割合を示していますので、各選択肢の回答の割合を合計しても 100%とはなりません。

○本報告書における「ｎ」「SA」「MA」の意味は次のとおりです。

「ｎ」　：　サンプル数
「SA」　：　単回答（Single Answer の略）
「MA」　：　複数回答（Multiple Answer の略）

## 2 回答者の属性

### (1) 年齢構成

| 区分 | ０～１４歳 | １５～１９歳 | ２０～２９歳 | ３０～３９歳 | ４０～４９歳 | ５０～５９歳 | ６０～６９歳 | ７０歳以上 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 身体障害者 | 0 | 4 | 11 | 21 | 33 | 60 | 130 | 483 | 12 | 754 |
| 知的障害者 | 0 | 33 | 195 | 129 | 121 | 76 | 17 | 4 | 6 | 581 |
| 障害児 | 417 | 101 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 531 |
| 精神障害者 | 14 | 17 | 33 | 74 | 143 | 173 | 148 | 173 | 21 | 796 |
| 難病患者 | 2 | 0 | 2 | 4 | 13 | 14 | 31 | 81 | 8 | 155 |
| 高次脳機能障害者 | 0 | 2 | 6 | 21 | 23 | 24 | 23 | 15 | 2 | 116 |
| 発達障害者 | 22 | 14 | 27 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 76 |
| 合　計 | 455 | 171 | 274 | 258 | 336 | 348 | 349 | 756 | 62 | 3,009 |

### (2) 居住地域

| 区分 | 中区 | 東区 | 南区 | 西区 | 安佐南区 | 安佐北区 | 安芸区 | 佐伯区 | その他 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 身体障害者 | 86 | 87 | 95 | 107 | 128 | 108 | 51 | 77 | 2 | 13 | 754 |
| 知的障害者 | 56 | 70 | 78 | 83 | 88 | 89 | 56 | 51 | 3 | 7 | 581 |
| 障害児 | 51 | 66 | 67 | 67 | 115 | 59 | 30 | 64 | 0 | 12 | 531 |
| 精神障害者 | 78 | 64 | 87 | 150 | 142 | 103 | 19 | 92 | 42 | 19 | 796 |
| 難病患者 | 15 | 16 | 20 | 20 | 21 | 18 | 8 | 29 | 1 | 7 | 155 |
| 高次脳機能障害者 | 7 | 7 | 6 | 13 | 11 | 3 | 6 | 7 | 54 | 2 | 116 |
| 発達障害者 | 2 | 13 | 8 | 22 | 13 | 1 | 10 | 6 | 1 | 0 | 76 |
| 合　計 | 295 | 323 | 361 | 462 | 518 | 381 | 180 | 326 | 103 | 60 | 3,009 |

# 第２章
# 障害者の医療ニーズに関する調査の結果

# 第２章　障害者の医療ニーズに関する調査の結果

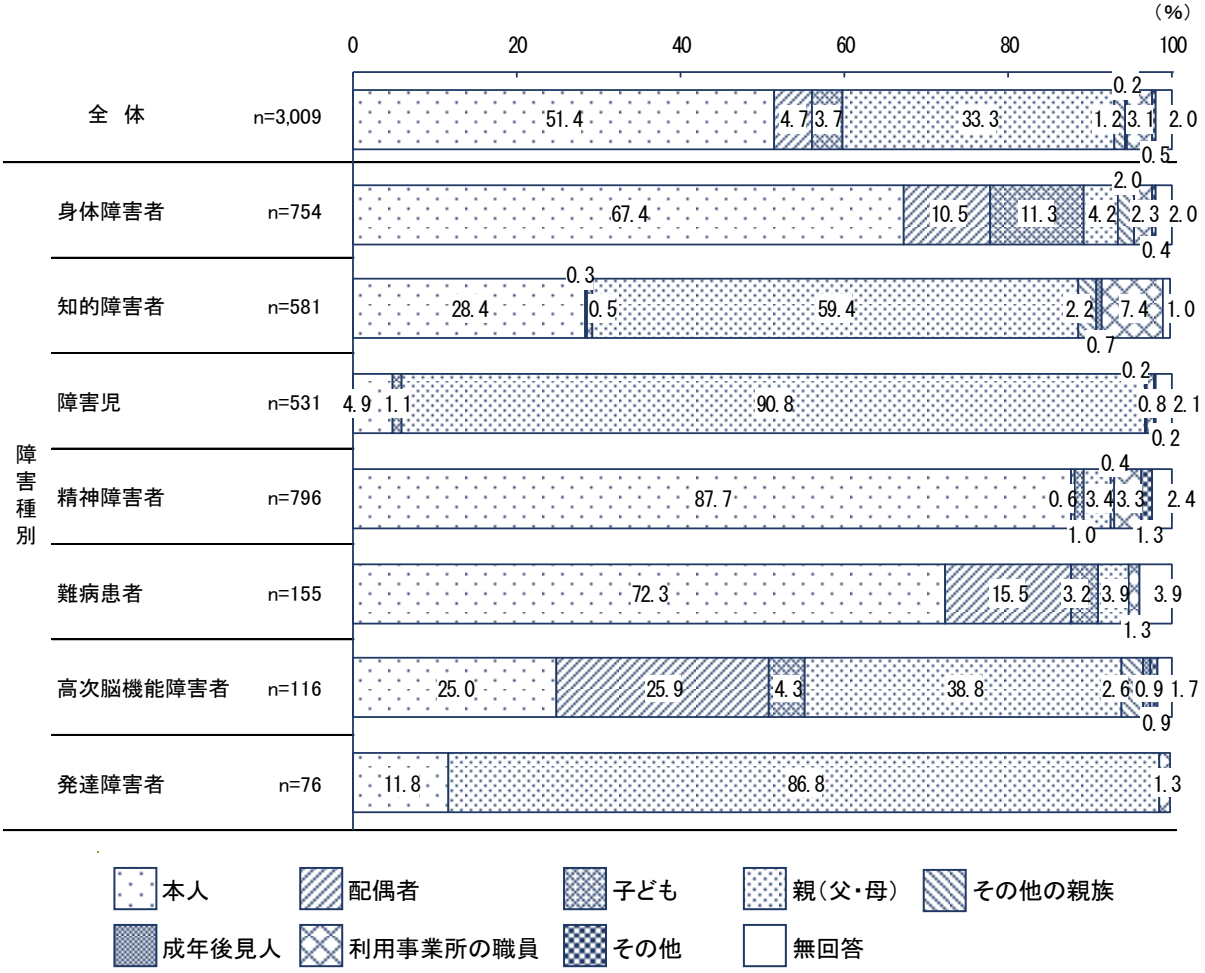
## １　障害者御本人の状況について

[SA]

### 問１　このアンケートを記入しているのはどなたですか。（○は１つ）

全体でみると、「本人」が 51.4%と最も高くなっています。次いで「親（父・母）」（33.3%）となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」「精神障害者」「難病患者」では「本人」の割合が高くなっており、「知的障害者」「障害児」「発達障害者」では「親（父・母）」の割合が高くなっています。

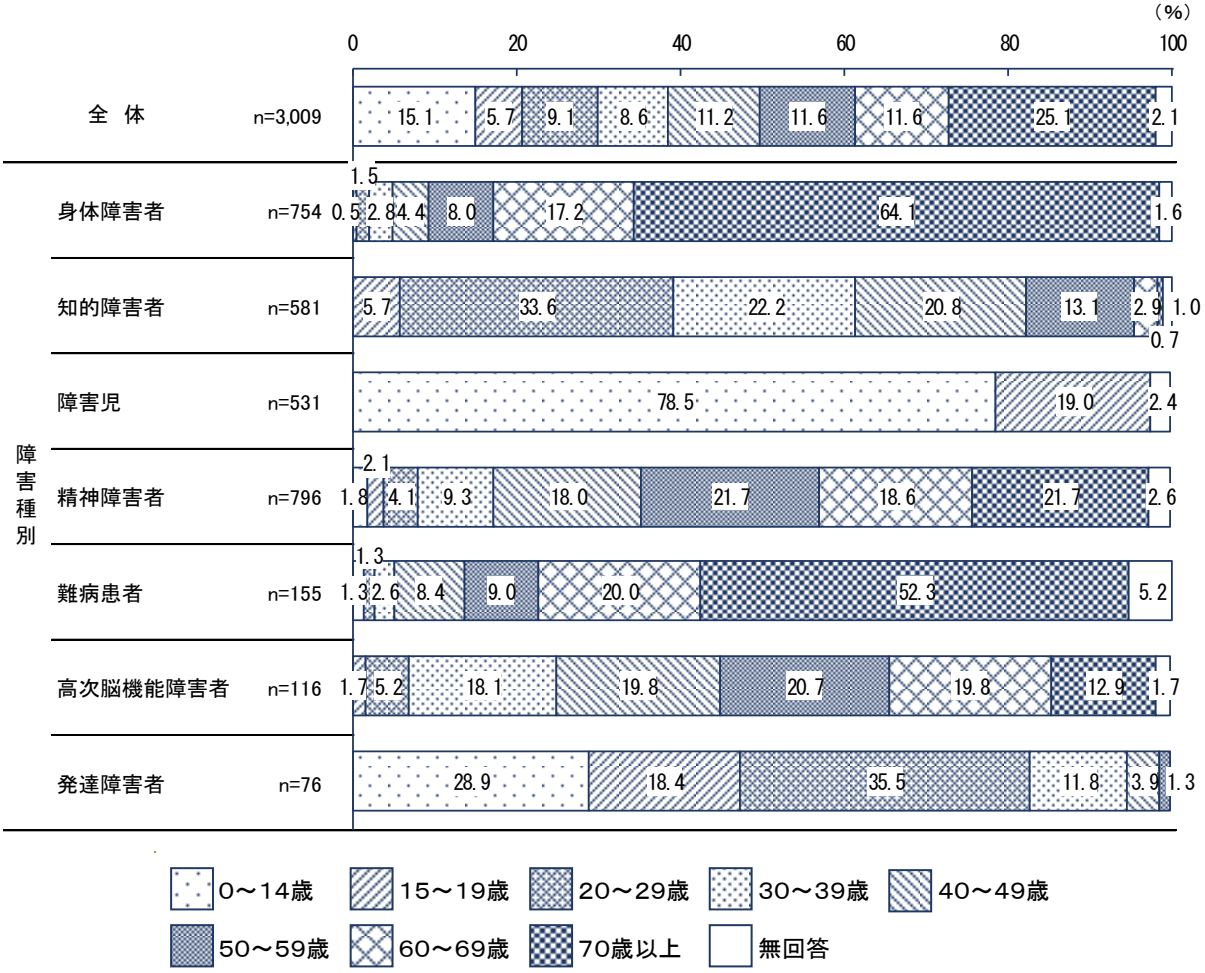


[SA]

## 問２ あなたの年齢は次のうちどれですか。（○は１つ）

全体でみると、「70 歳以上」が 25.1%と最も高く、次いで「0～14 歳」（15.1%）、「50～59 歳」「60～69 歳」（11.6%）となっています。

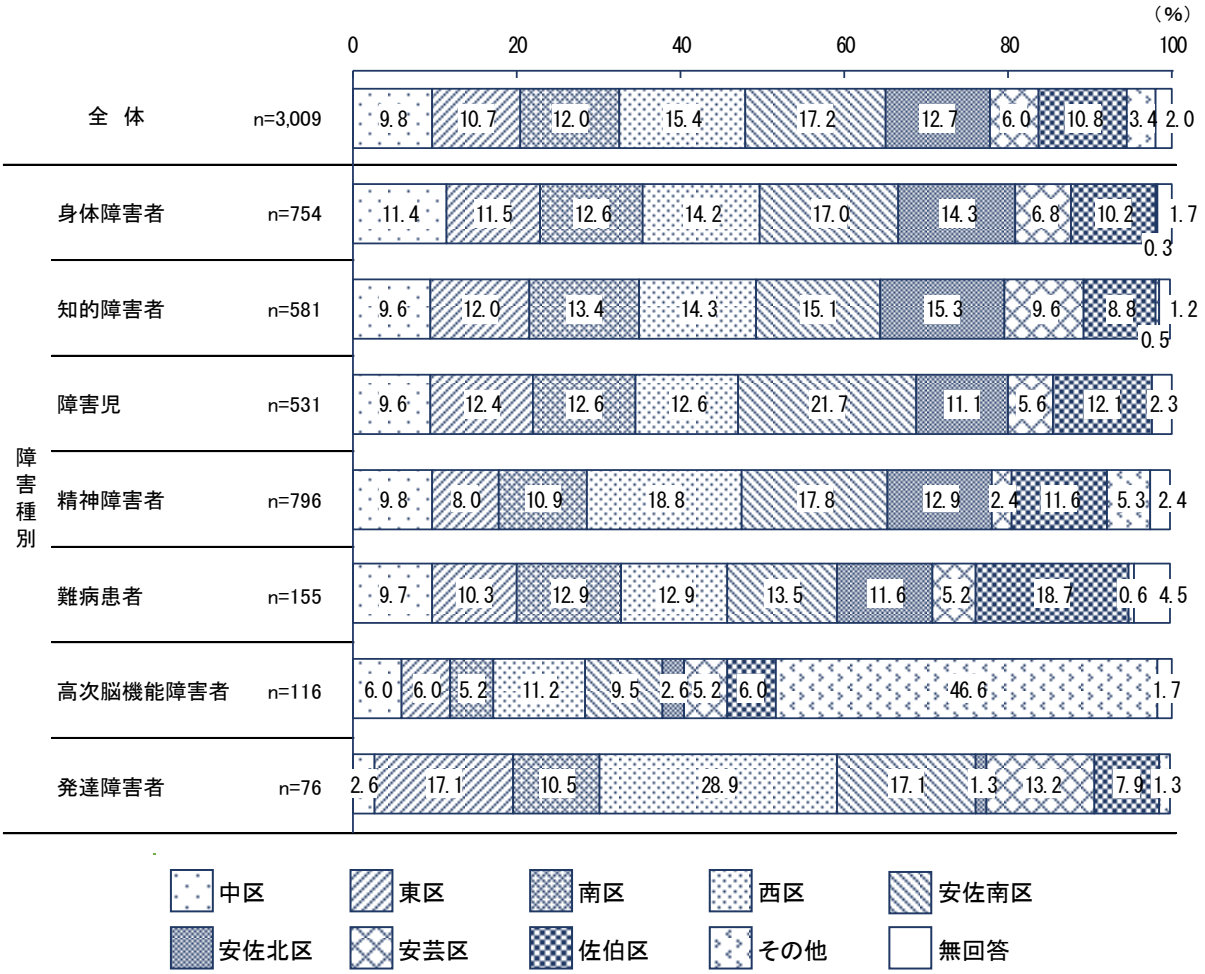
障害種別でみると、「身体障害者」「難病患者」では「70 歳以上」の割合が高くなっています。



[SA]

## 問３ あなたの住まいはどちらですか。（○は１つ）

全体でみると、「安佐南区」が 17.2%と最も高く、次いで「西区」（15.4%）となっています。
障害種別でみると、「高次脳機能障害者」では「その他」の割合が高くなっています。

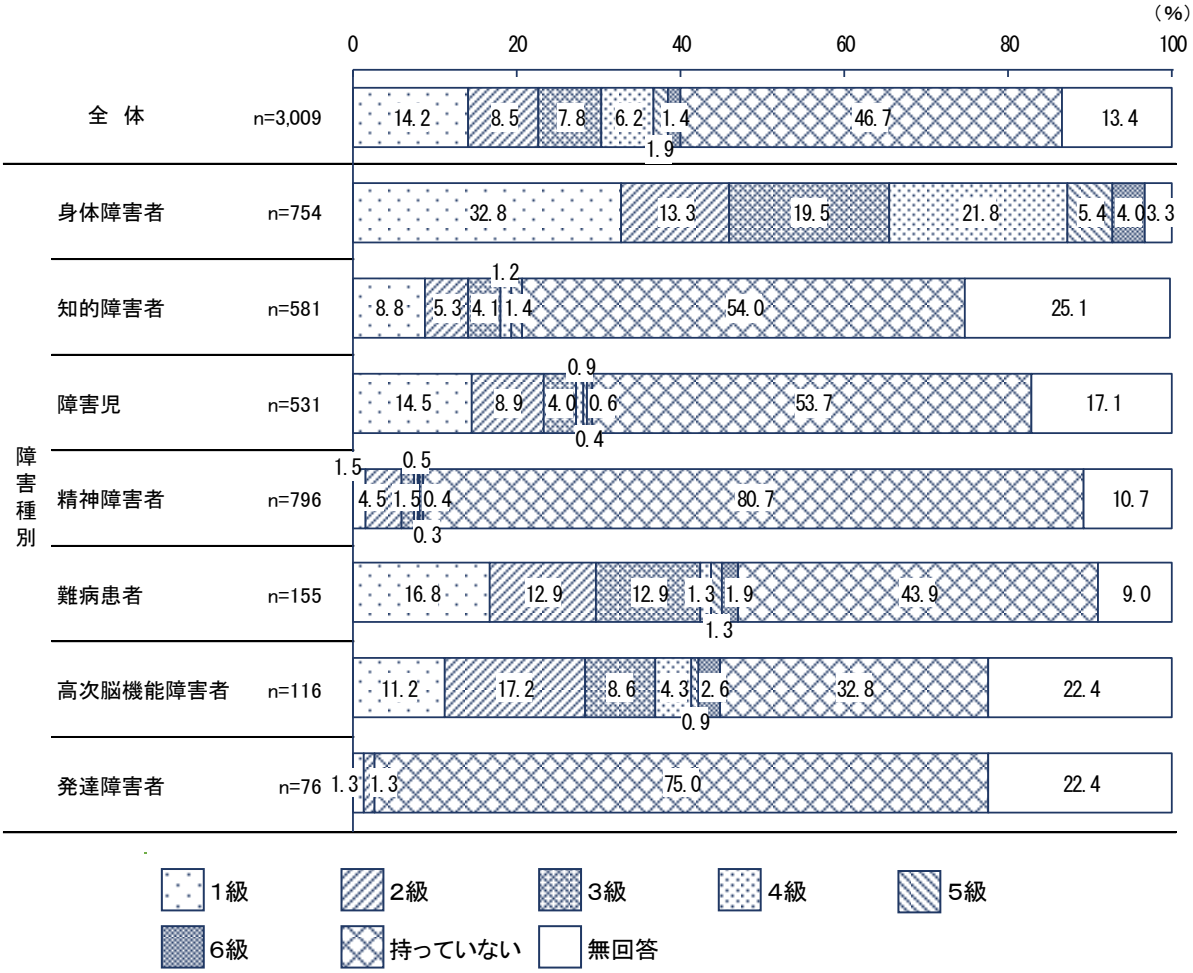


**あなたの障害の種別や、お持ちの障害者手帳の等級等はどれですか。**

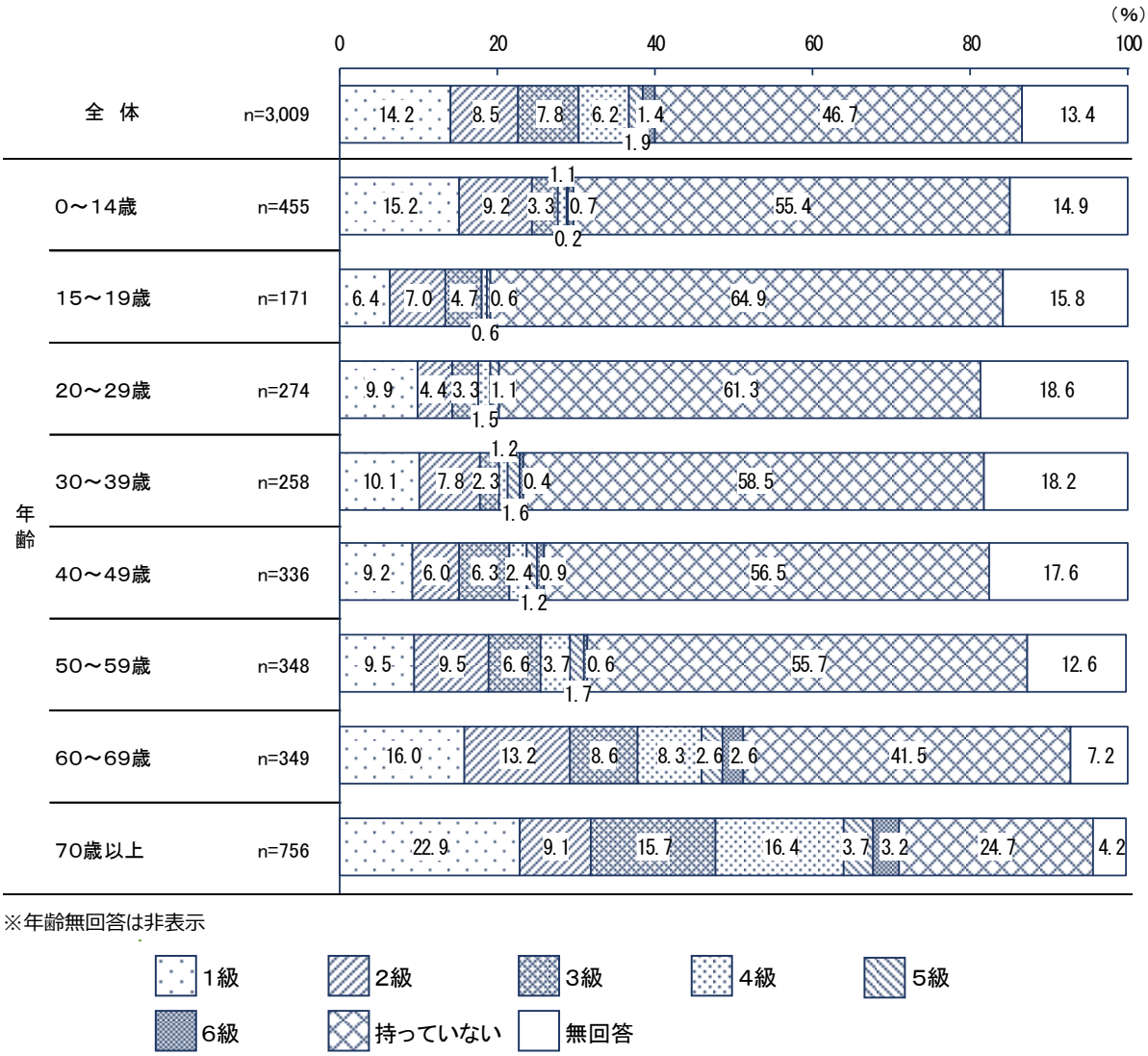
[SA]

## 問４　身体障害者手帳（○は１つ）

身体障害者でみると、「１級」が 32.8%と最も高く、次いで「４級」（21.8%）、「３級」（19.5%）となっています。



年齢別でみると、年齢が上がるにつれ身体障害者手帳所持者の割合が高くなっています。

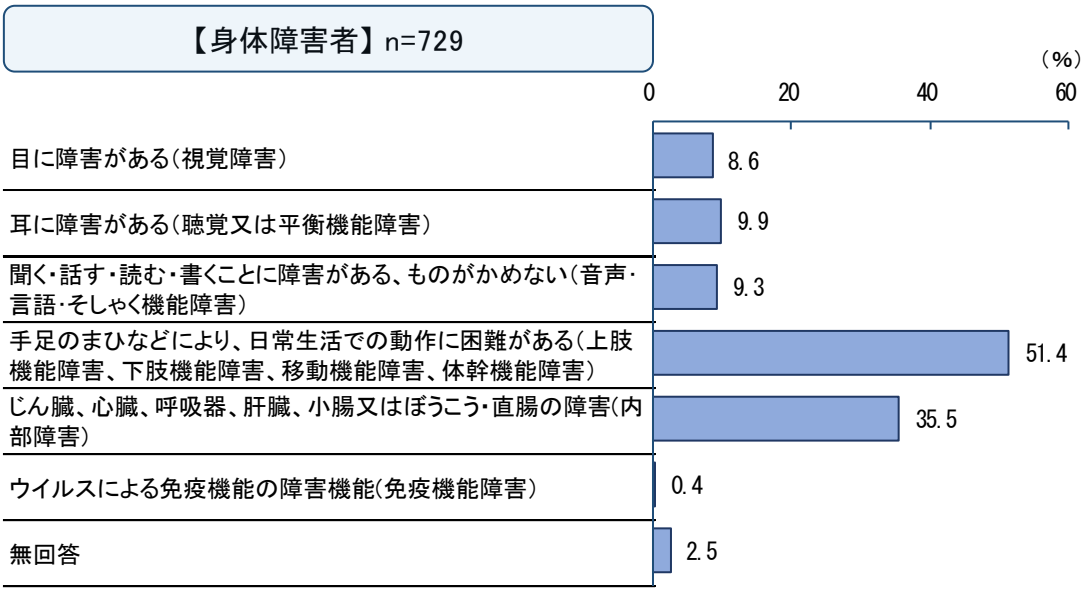



※年齢無回答は非表示

[MA]

## 問４　身体障害の種類（部位）はどれですか。（○はいくつでも）

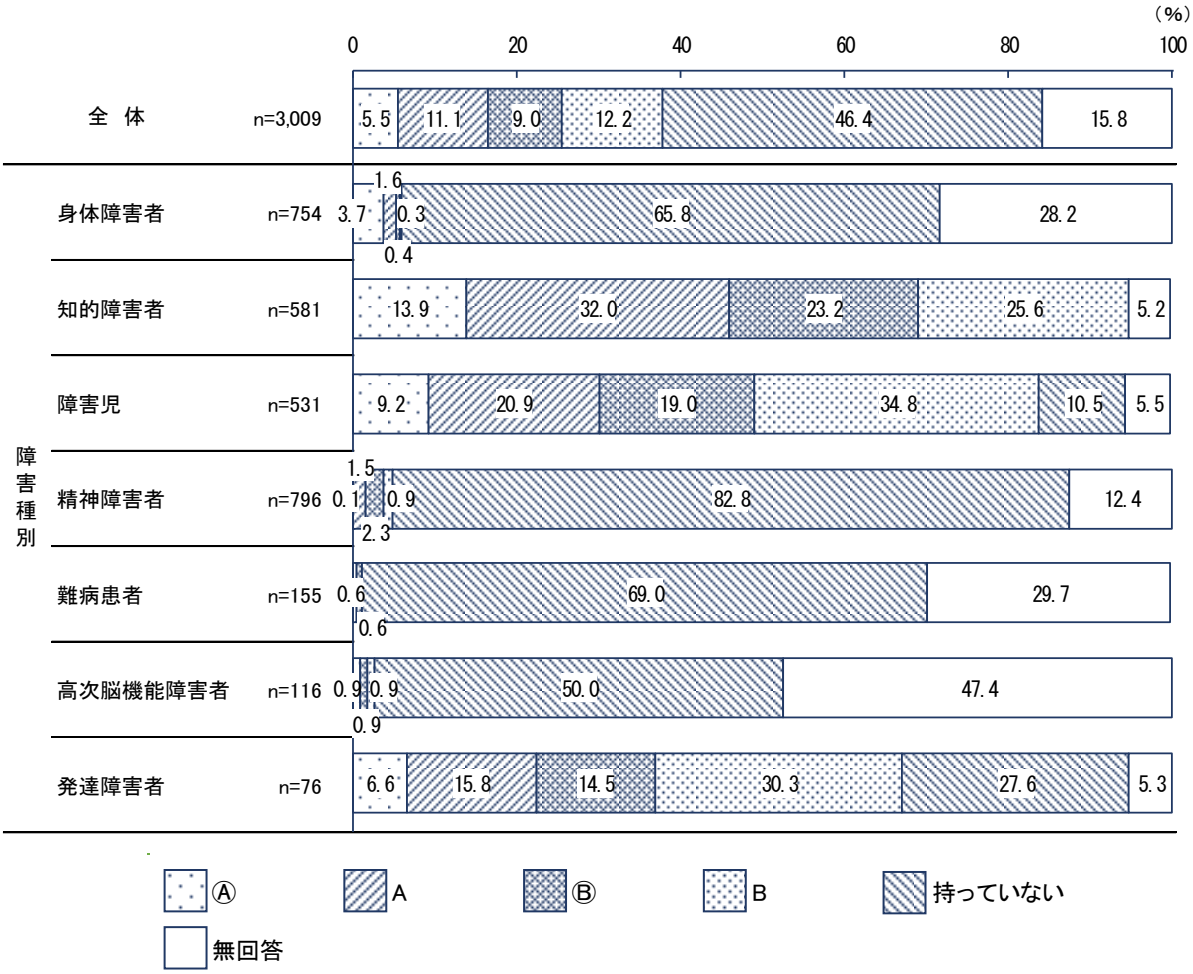
身体障害の種類（部位）をみると、「手足のまひなどにより、日常生活での動作に困難がある」が51.4%と最も高く、次いで「じん臓、心臓、呼吸器、肝臓、小腸又はぼうこう・直腸の障害」（35.5%）となっています。



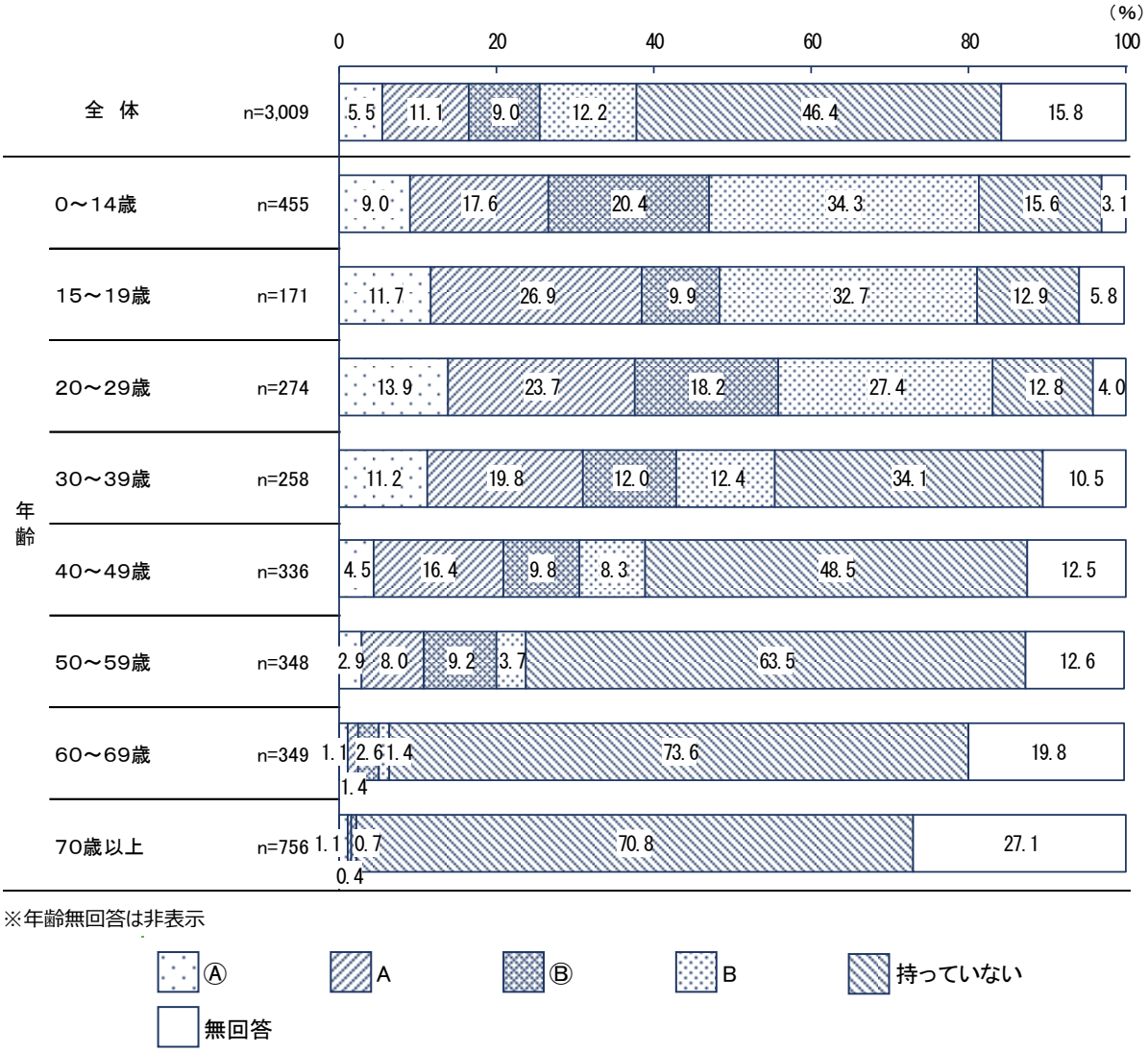
[SA]

## 問４ 療育手帳（○は１つ）

知的障害者でみると、「A」が 32.0%と最も高く、次いで「B」（25.6%）となっています。
障害児でみると、「B」が 34.8%と最も高く、次いで「A」（20.9%）となっています。



年齢別でみると、「０～１４歳」、「１５～１９歳」、「２０～２９歳」の養育手帳所持者は約８割強となっています。



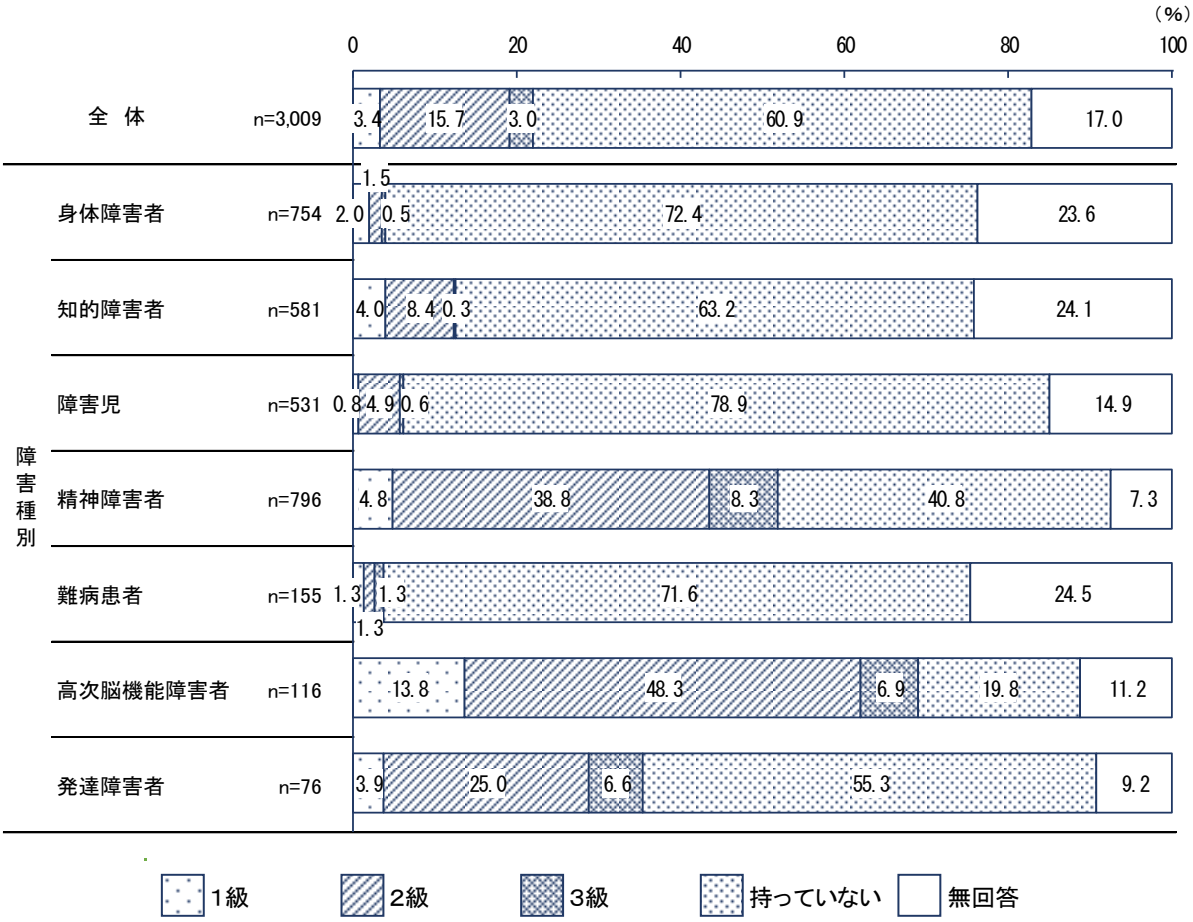

※年齢無回答は非表示

[SA]

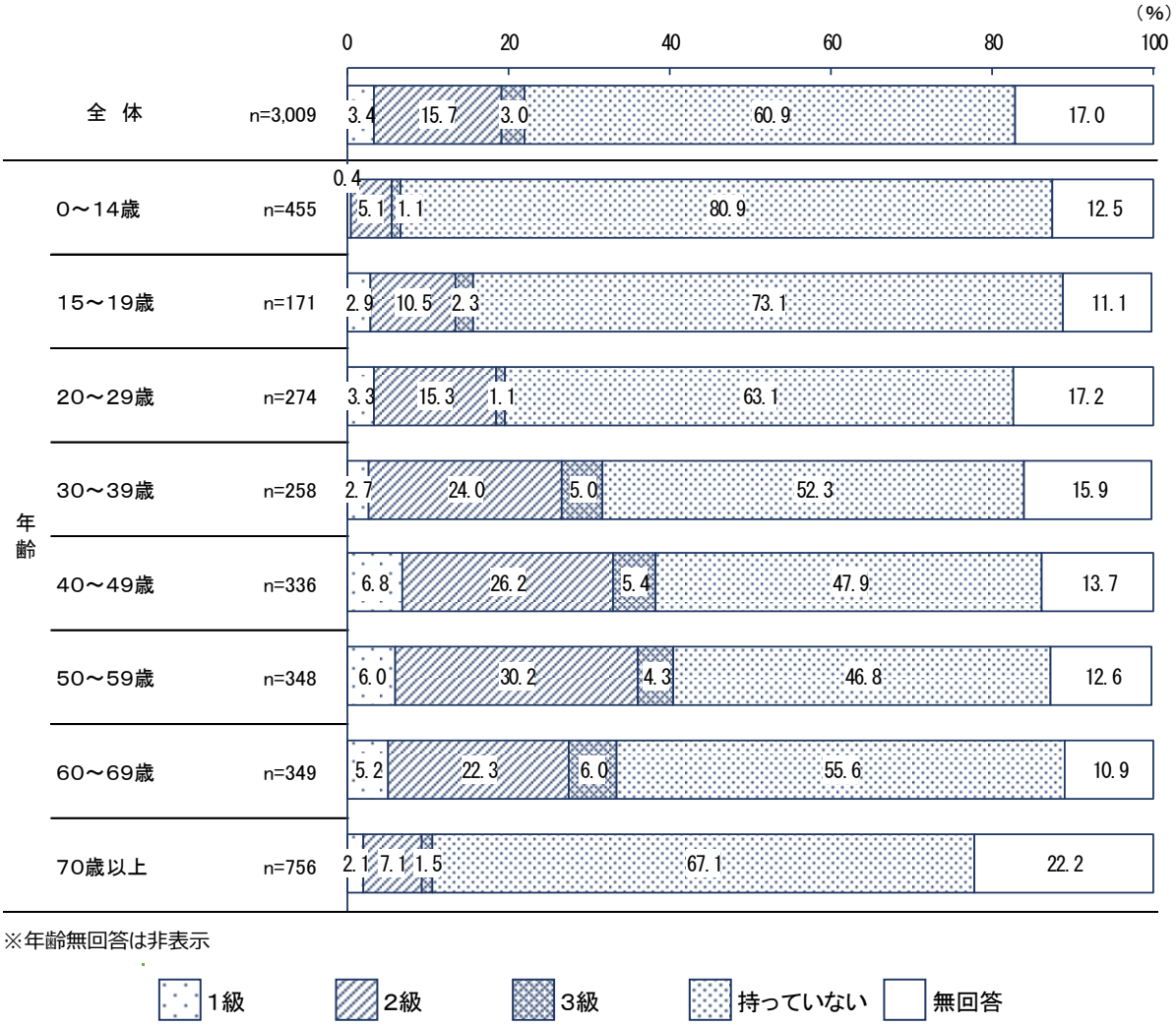
## 問４ 精神障害者保健福祉手帳（○は１つ）

精神障害者でみると、「２級」が 38.8%と最も高くなっています。

高次脳機能障害者でみると、「２級」が 48.3%と最も高く、次いで「1 級」（13.8%）となっています。



年齢別でみると、「４０～４９歳」、「５０～５９歳」の精神障害者保健福祉手帳所持者は約４割となっています。

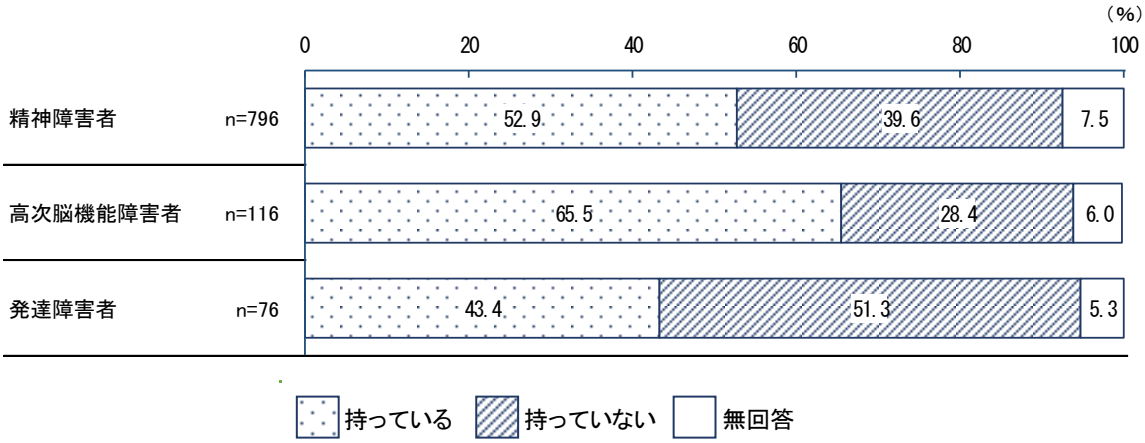


[SA]

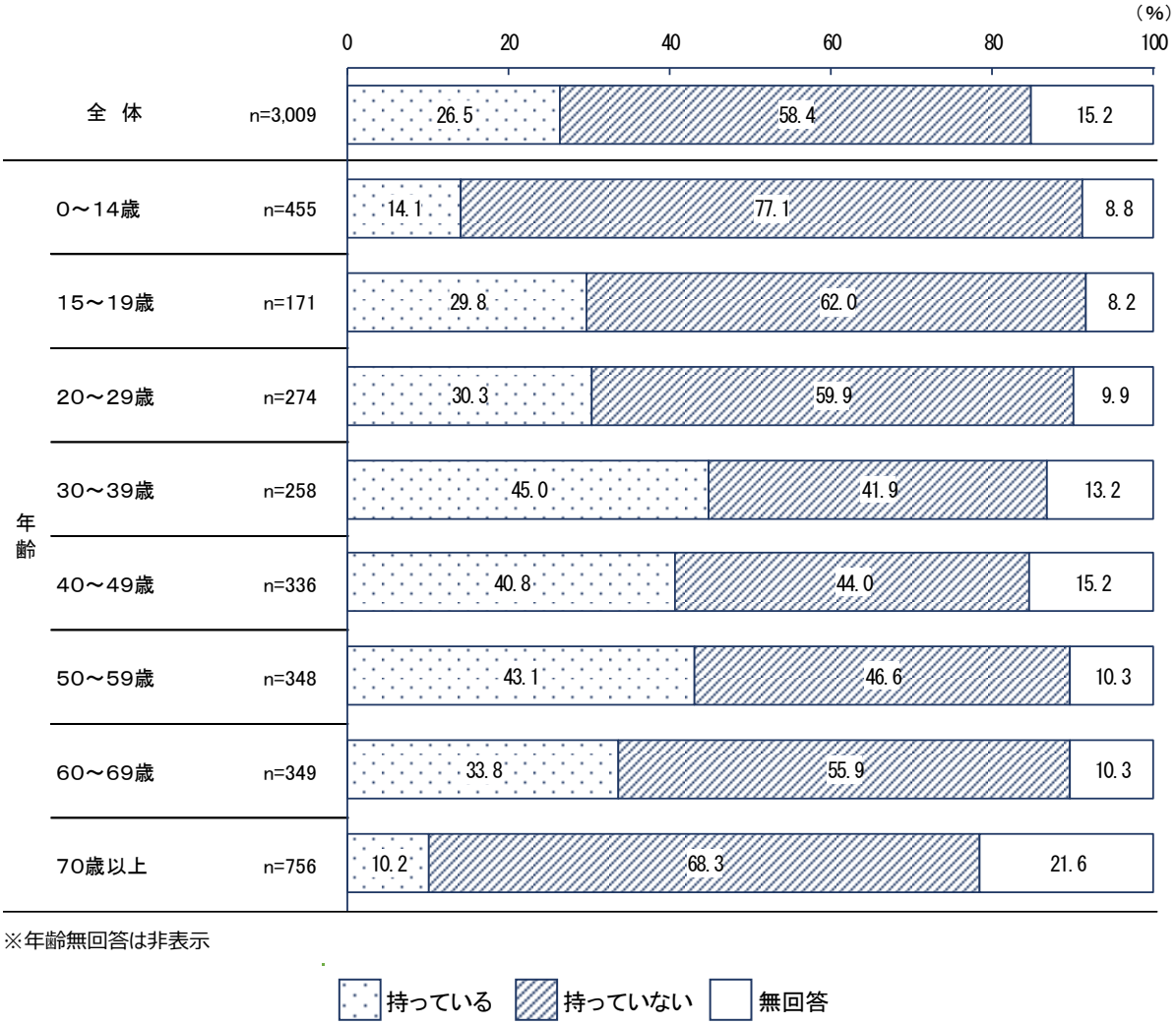
## 問４　自立支援医療（精神通院）受給者証

精神障害者でみると、「持っている」は 52.9%となっています。

高次脳機能障害者でみると、「持っている」は 65.5%となっています。



年齢別でみると、「３０～３９歳」、「４０～４９歳」、「５０～５９歳」の自立支援医療（精神通院）受給者証所持者は約４割強となっています。

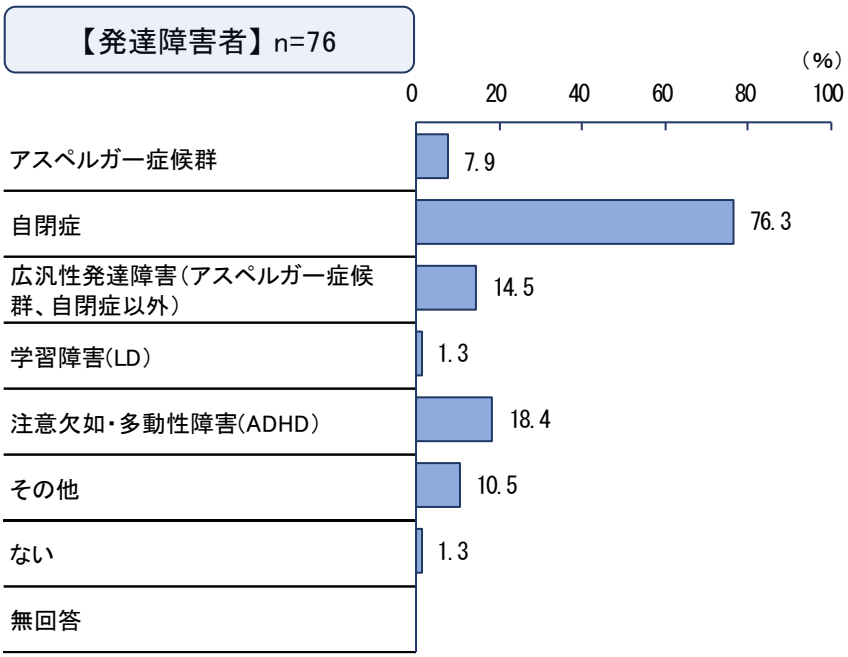



※年齢無回答は非表示

[MA]

## 問４　発達障害（発達障害の診断名）（○はいくつでも）

発達障害（発達障害の診断名）をみると、「自閉症」が 76.3%と最も高くなっています。次いで「注意欠如・多動性障害（ADHD）」（18.4%）、「アスペルガー症候群、自閉症以外の広汎性発達障害」（14.5%）となっています。

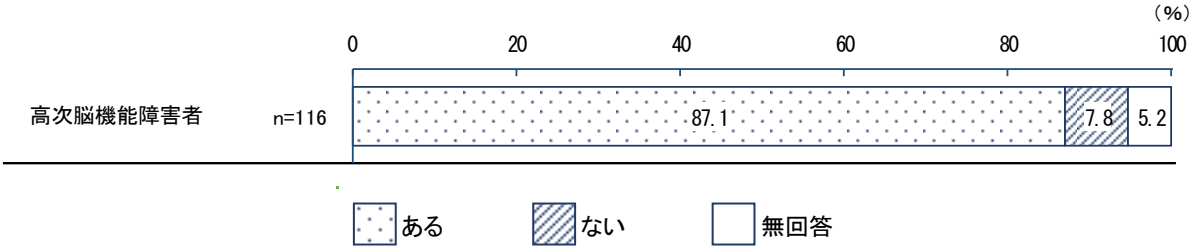



| その他の内容 | 件数 |
|---|---|
| 知的障害 | 5 |
| 精神発達障害 | 2 |
| ASD（自閉症） | 2 |

[SA]

## 問４　高次脳機能障害

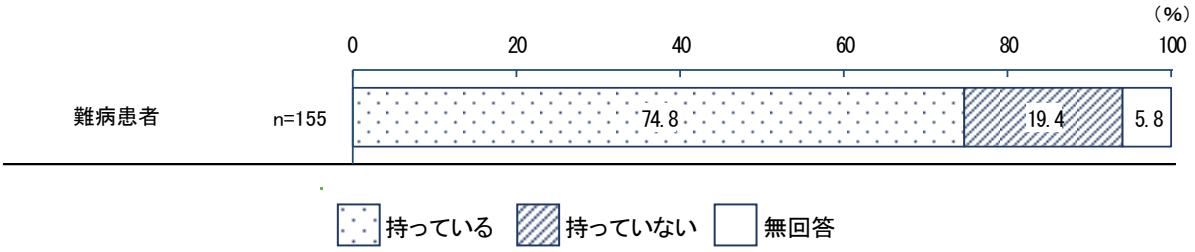
高次脳機能障害者でみると、「ある」が 87.1%となっています。




[SA]

## 問４　特定医療費（指定難病）受給者証

難病患者でみると、「持っている」が 74.8%となっています。

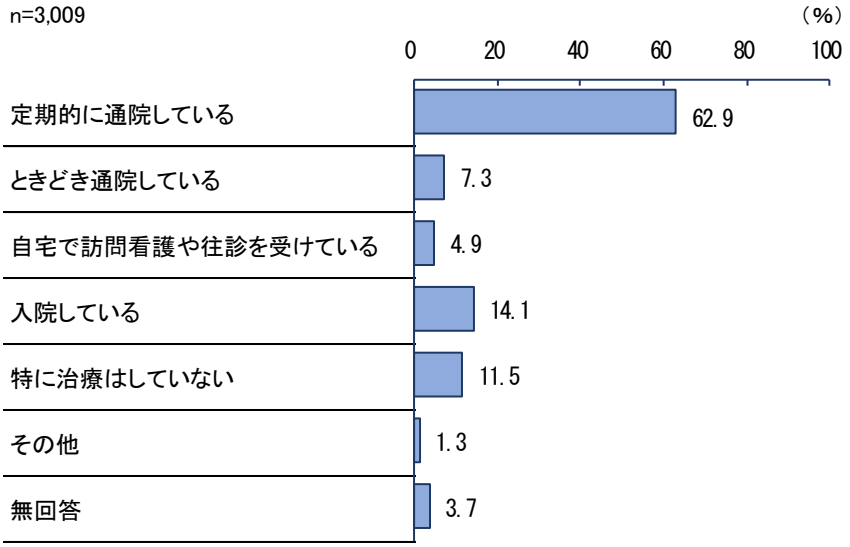


## 2 共通項目の結果

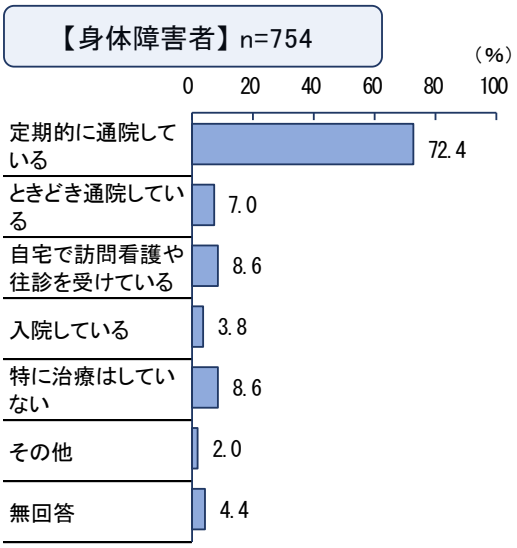
[SA]

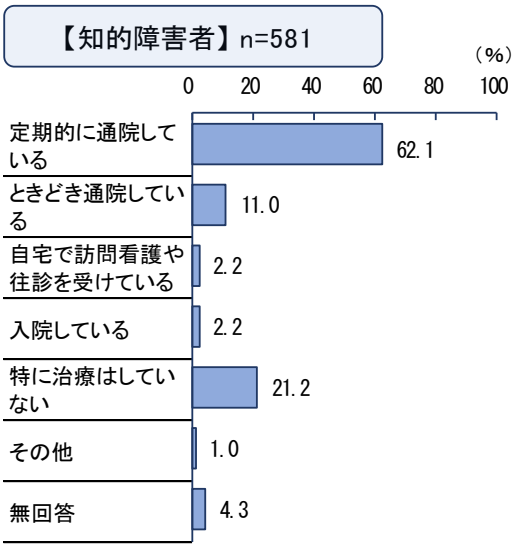
### 問 5 現在、医師の治療を受けていますか。（○はいくつでも）

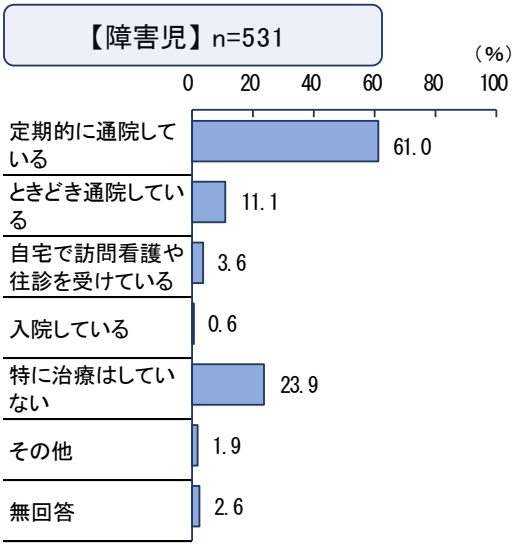
全体でみると、「定期的に通院している」が 62.9%と最も高くなっています。次いで「入院している」（14.1%）、「特に治療はしていない」（11.5%）となっています。

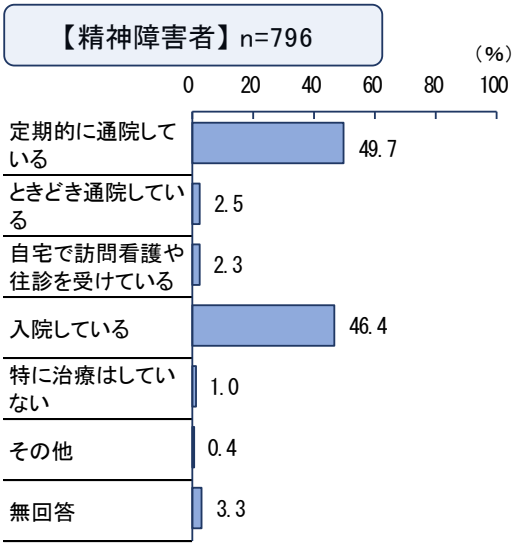


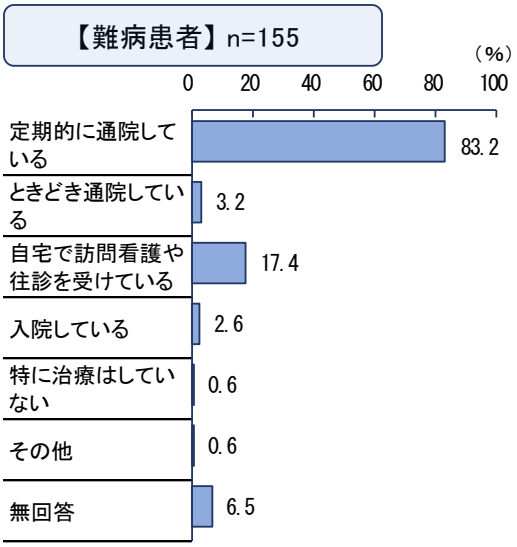

障害種別における回答状況は次のとおりとなっています。

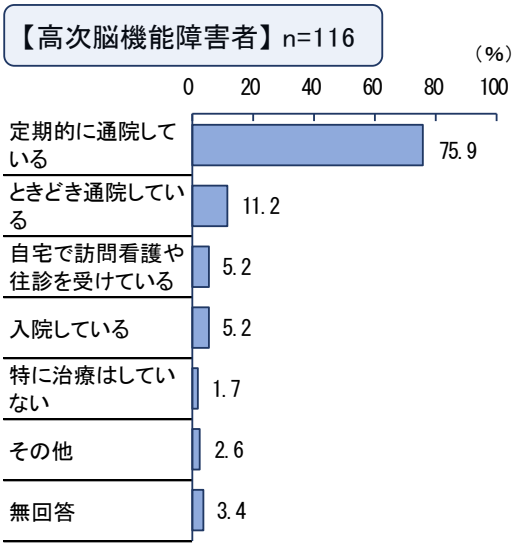


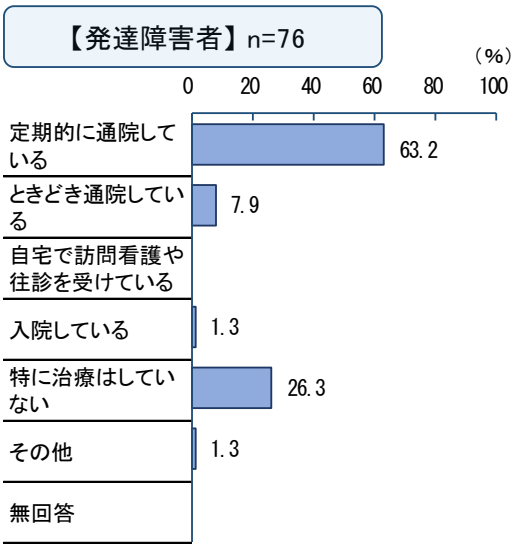





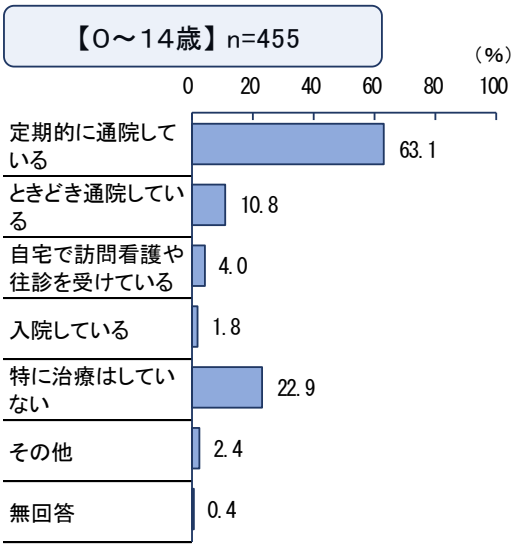



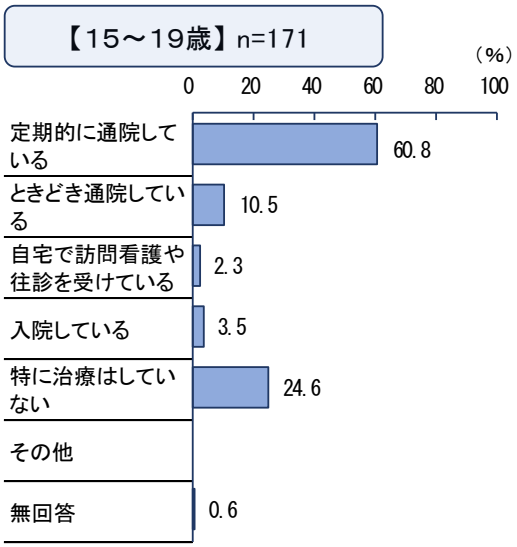



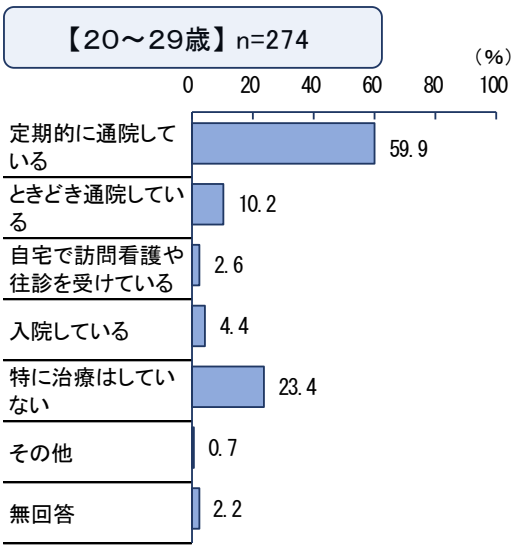



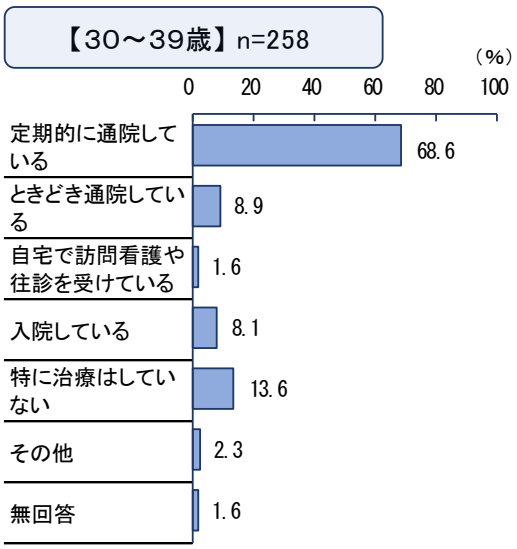

| その他の内容 | 件数 |
|---|---|
| 施設で往診を受けている | 6 |
| 施設入所 | 4 |
| 訪問リハビリ | 4 |
| 薬の処方 | 3 |
| その他 | 16 |

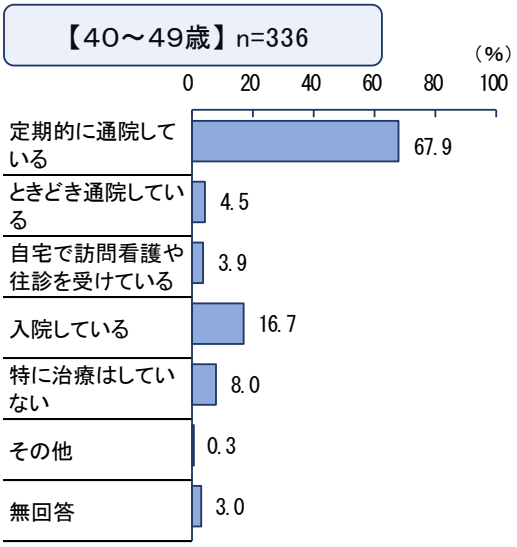
年齢別でみると、「０～１４歳」、「１５～１９歳」、「２０～２９歳」で「特に治療はしていない」は約２割強となっています。

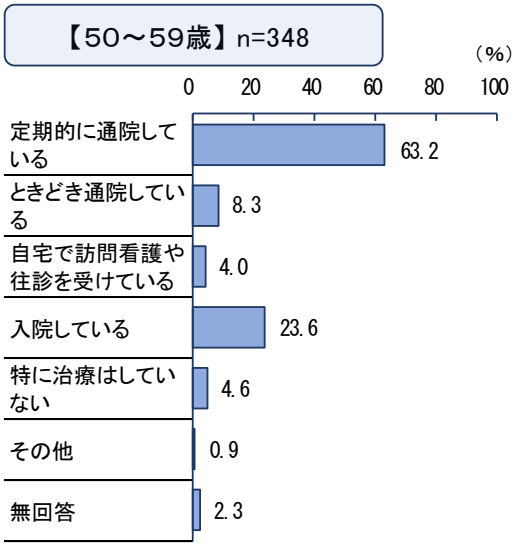


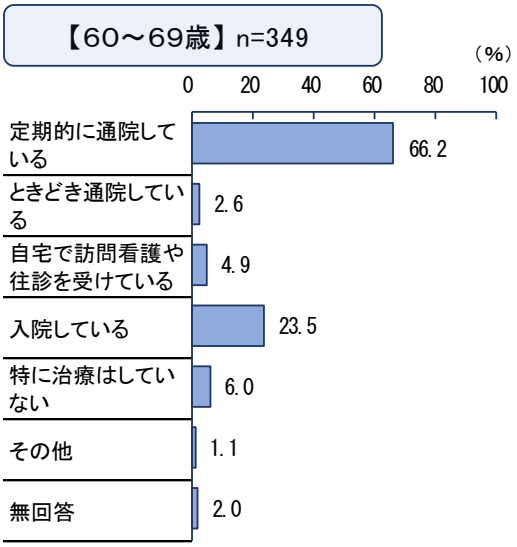



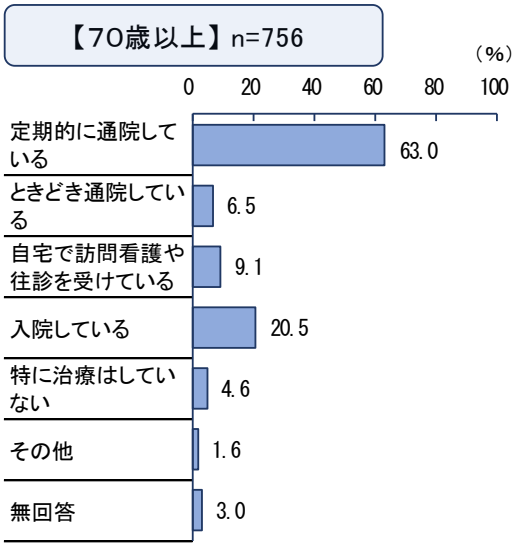




【40～49歳】n=336
（%）
0
20
40
60
80
100
定期的に通院している
67.9
ときどき通院している
4.5
自宅で訪問看護や往診を受けている
3.9
入院している
16.7
特に治療はしていない
8.0
その他
0.3
無回答
3.0


【50～59歳】n=348
（%）
0
20
40
60
80
100
定期的に通院している
63.2
ときどき通院している
8.3
自宅で訪問看護や往診を受けている
4.0
入院している
23.6
特に治療はしていない
4.6
その他
0.9
無回答
2.3


【60～69歳】n=349
（%）
0
20
40
60
80
100
定期的に通院している
66.2
ときどき通院している
2.6
自宅で訪問看護や往診を受けている
4.9
入院している
23.5
特に治療はしていない
6.0
その他
1.1
無回答
2.0

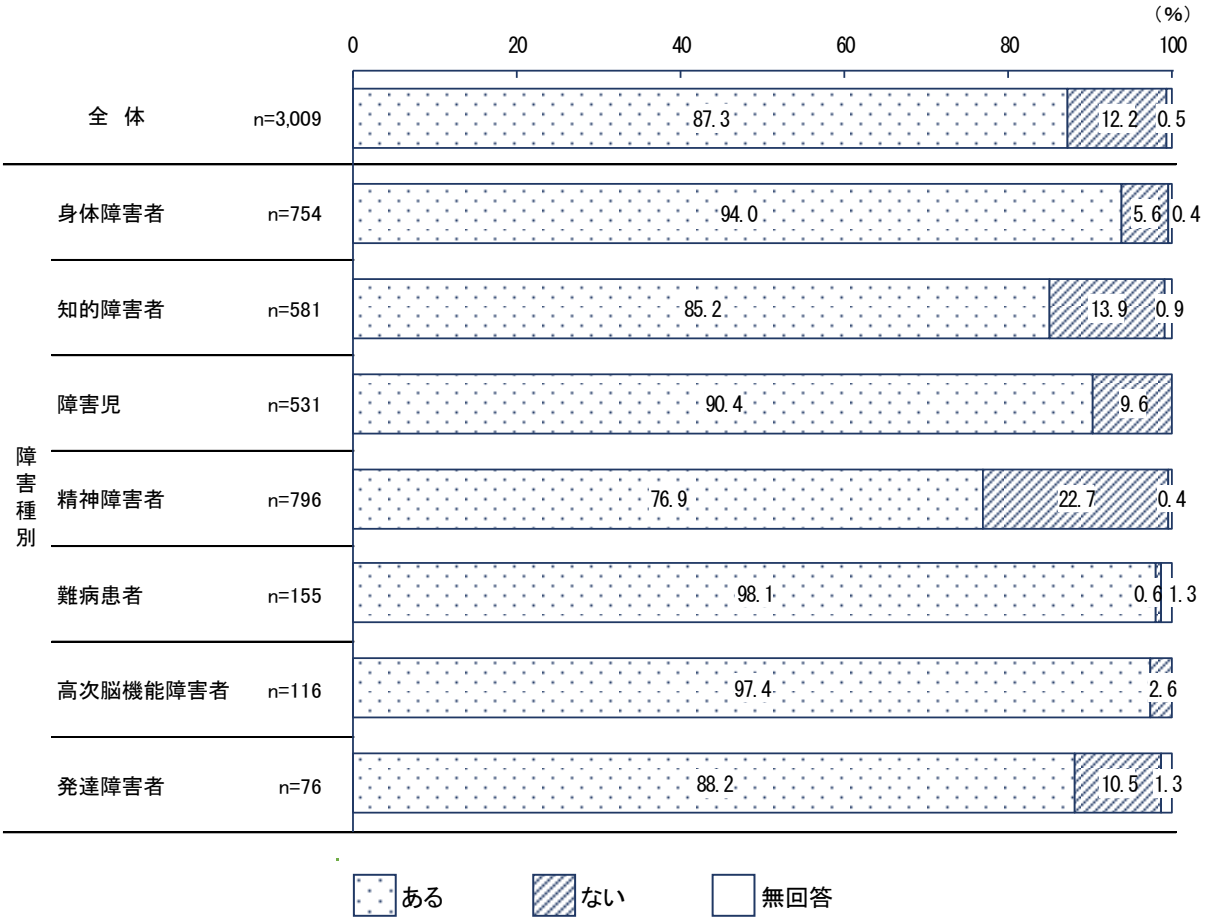

【70歳以上】n=756
（%）
0
20
40
60
80
100
定期的に通院している
63.0
ときどき通院している
6.5
自宅で訪問看護や往診を受けている
9.1
入院している
20.5
特に治療はしていない
4.6
その他
1.6
無回答
3.0

[SA]

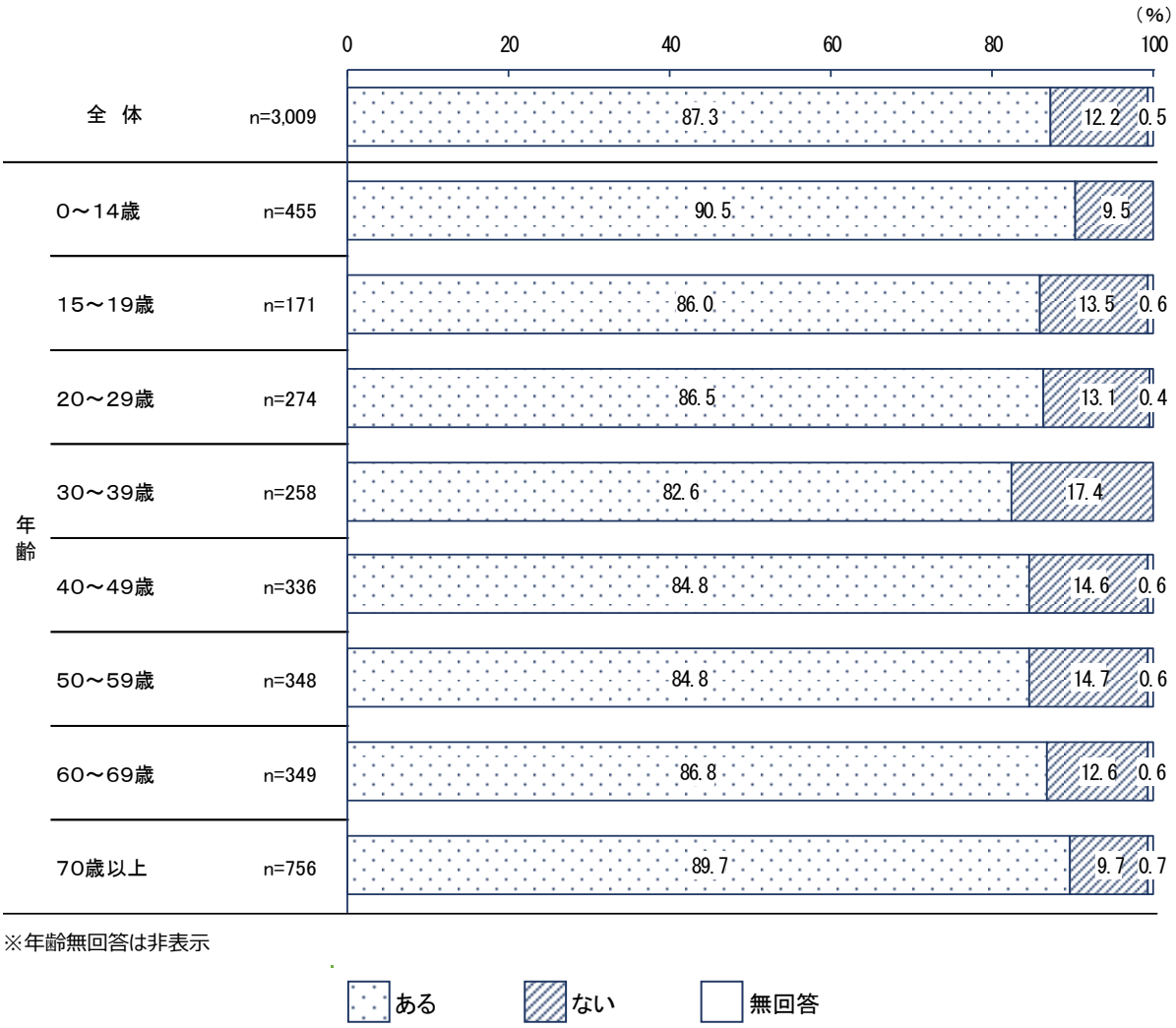
## 問 6　かかりつけの医療機関（歯科を除く）がありますか。

全体でみると、「ある」が 87.3%、「ない」が 12.2%となっています。

精神障害者でみると、「ない」が 22.7%となっています。



年齢別でみると、「３０～３９歳」で「ない」は 17.4%となっています。

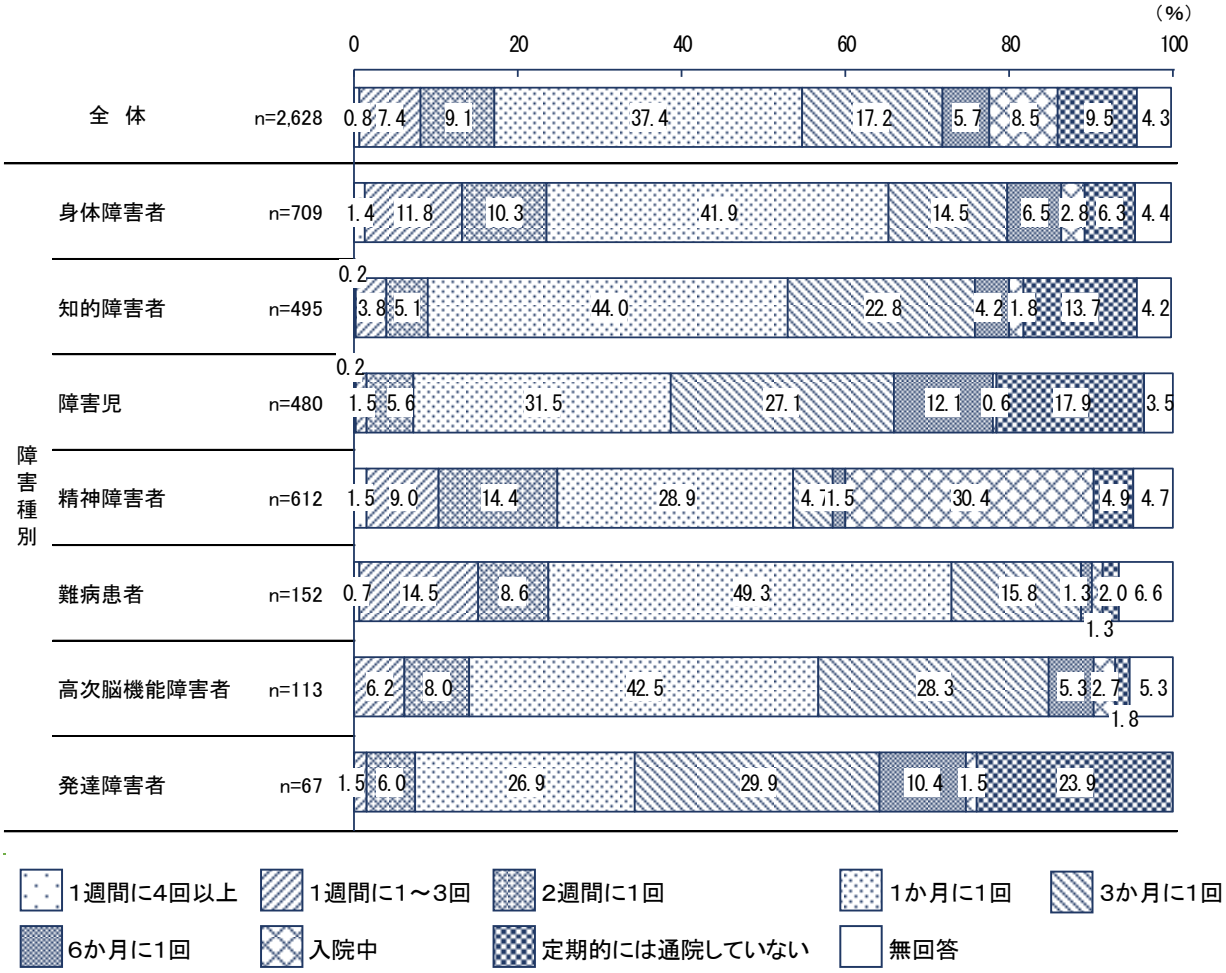



※年齢無回答は非表示

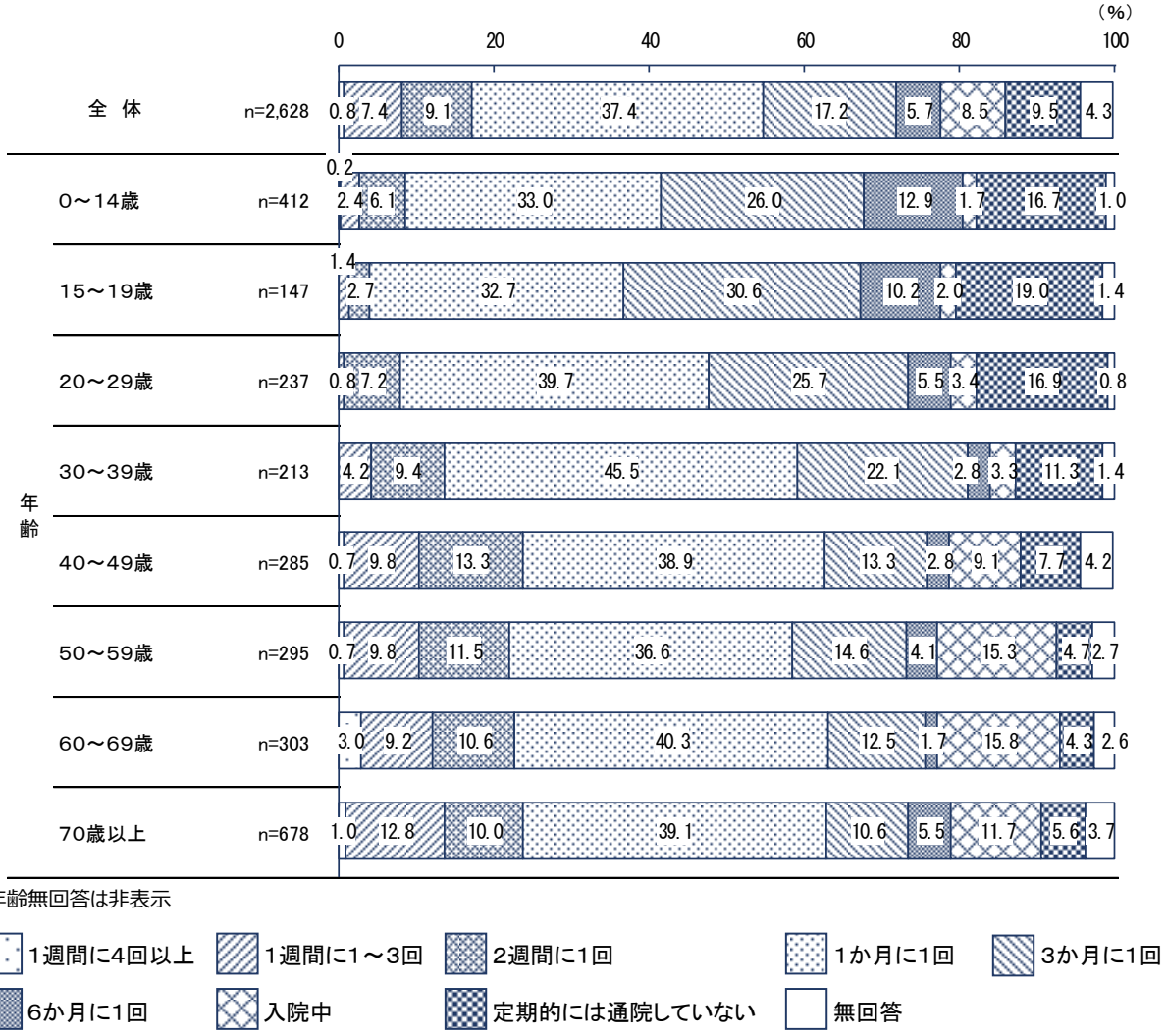
[SA]

## 問 6（1） 問 6 で「1．ある」に○をつけた方におたずねします。受診頻度について、最も近いものを教えてください。（○は１つ）

全体でみると、「１か月に１回」が 37.4%と最も高く、次いで「３か月に１回」（17.2%）となっています。



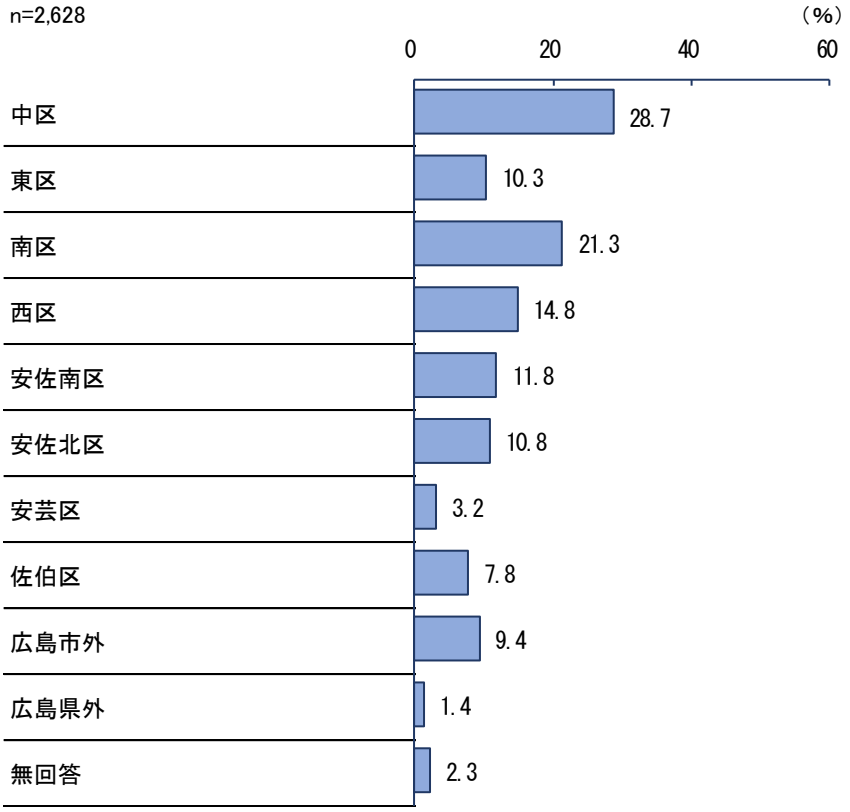
年齢別でみると、どの年齢においても「１か月に１回」が最も高くなっています。



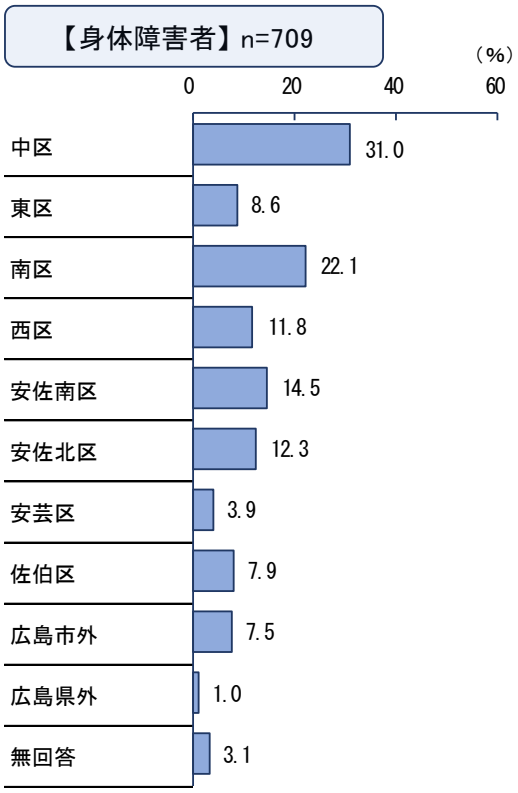
[MA]

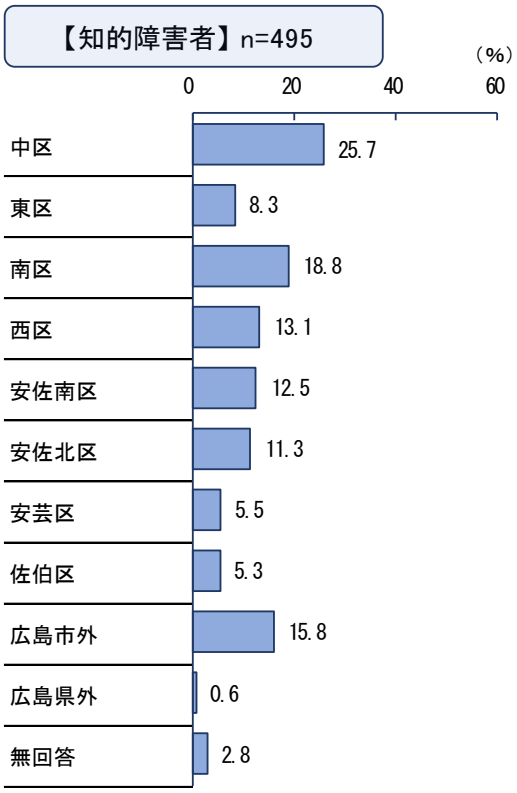
## 問６（2）　通院･入院している医療機関（歯科を除く）の場所はどこですか。（○はいくつでも）

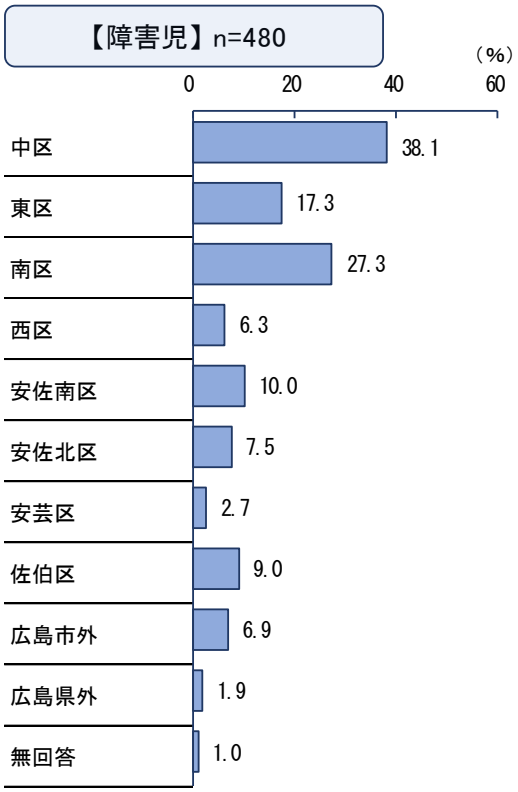
全体でみると、「中区」が 28.7%と最も高くなっています。次いで「南区」（21.3%）、「西区」（14.8%）となっています。

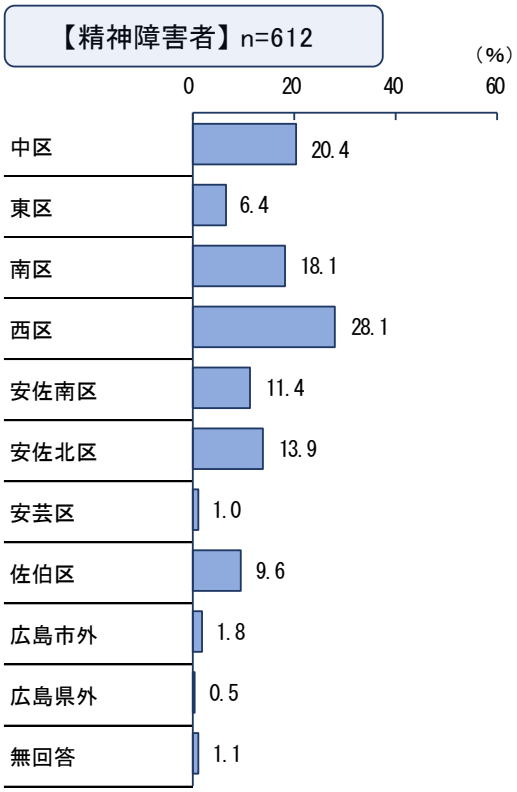


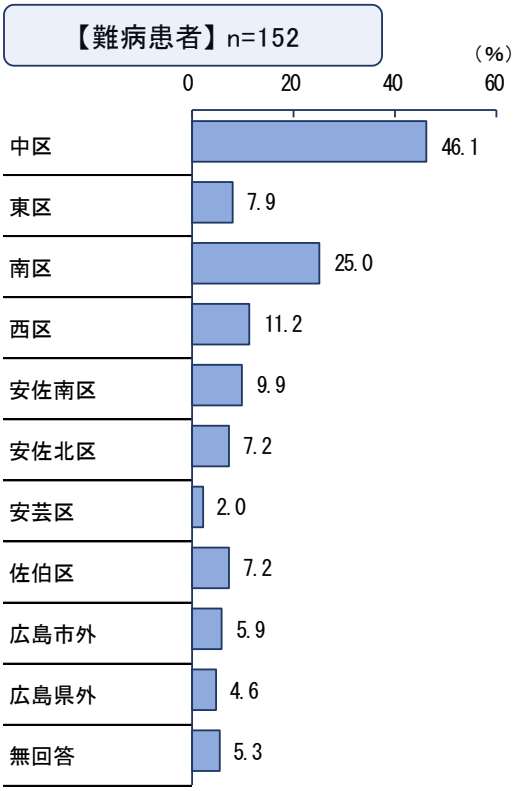
障害種別における回答状況は次のとおりとなっています。「難病患者」では「中区」、「高次脳機能障害」では「広島市外」の割合が他の場所に比べ高くなっています。

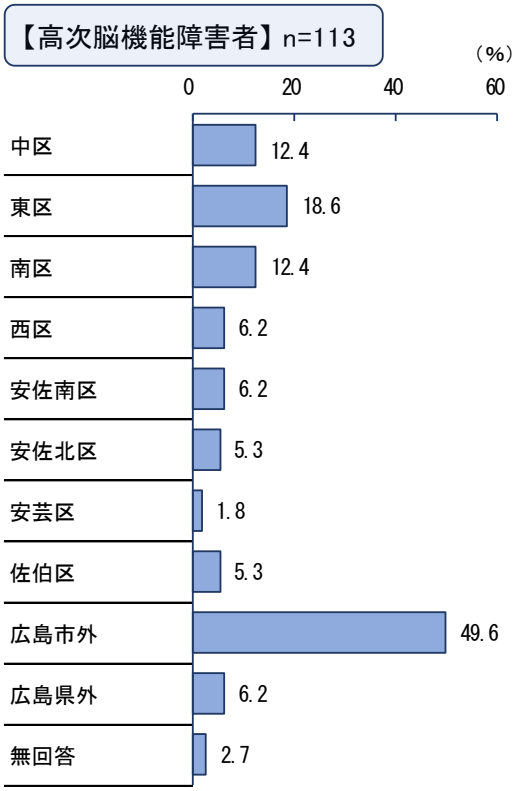


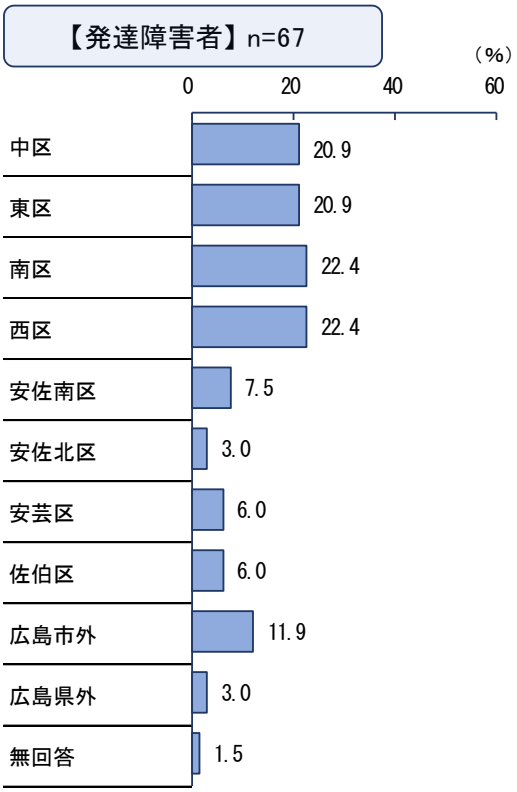



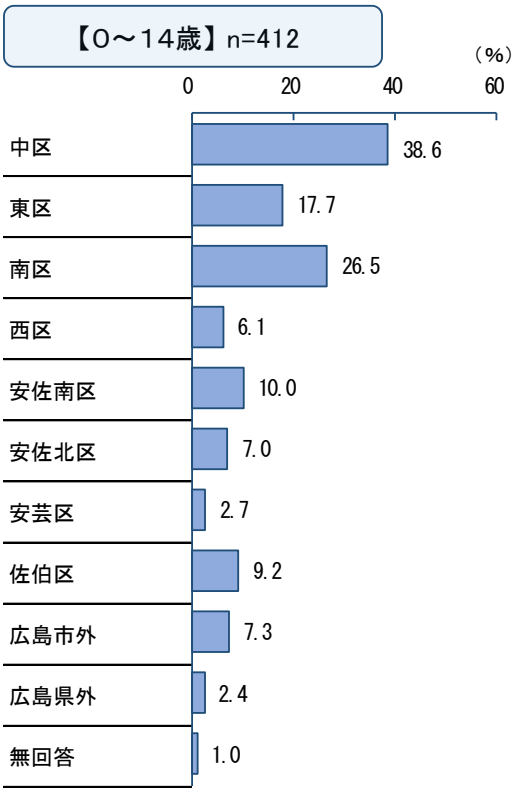



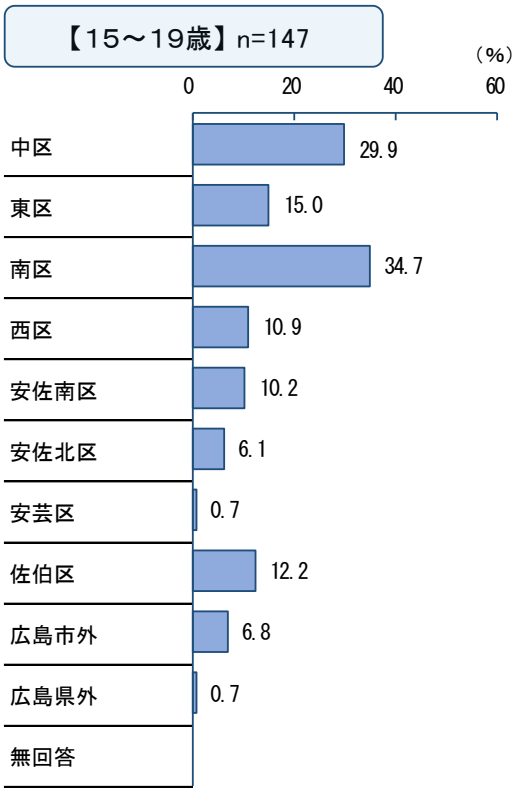

【難病患者】n=152
（%）
0
20
40
60
中区 46.1
東区 7.9
南区 25.0
西区 11.2
安佐南区 9.9
安佐北区 7.2
安芸区 2.0
佐伯区 7.2
広島市外 5.9
広島県外 4.6
無回答 5.3

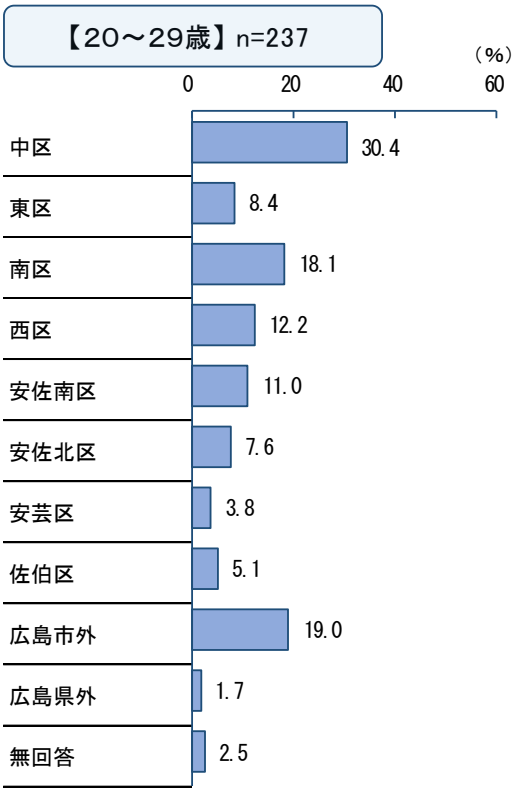

【高次脳機能障害者】n=113
（%）
0
20
40
60
中区 12.4
東区 18.6
南区 12.4
西区 6.2
安佐南区 6.2
安佐北区 5.3
安芸区 1.8
佐伯区 5.3
広島市外 49.6
広島県外 6.2
無回答 2.7

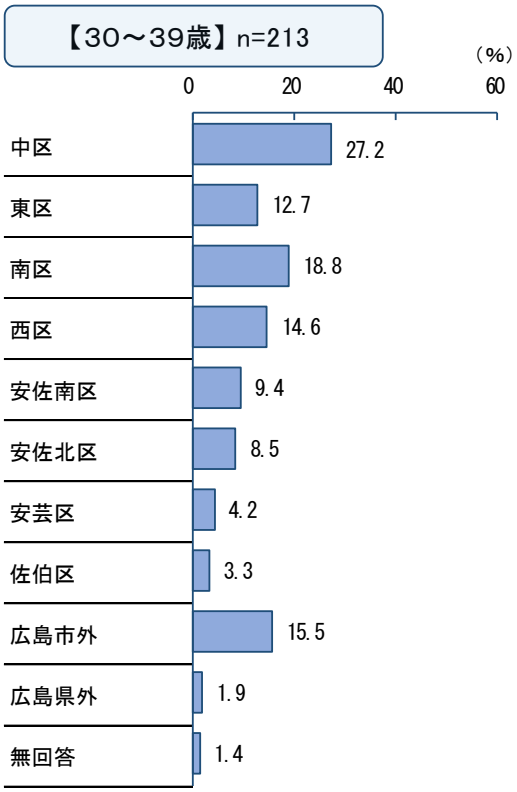

【発達障害者】n=67
（%）
0
20
40
60
中区 20.9
東区 20.9
南区 22.4
西区 22.4
安佐南区 7.5
安佐北区 3.0
安芸区 6.0
佐伯区 6.0
広島市外 11.9
広島県外 3.0
無回答 1.5

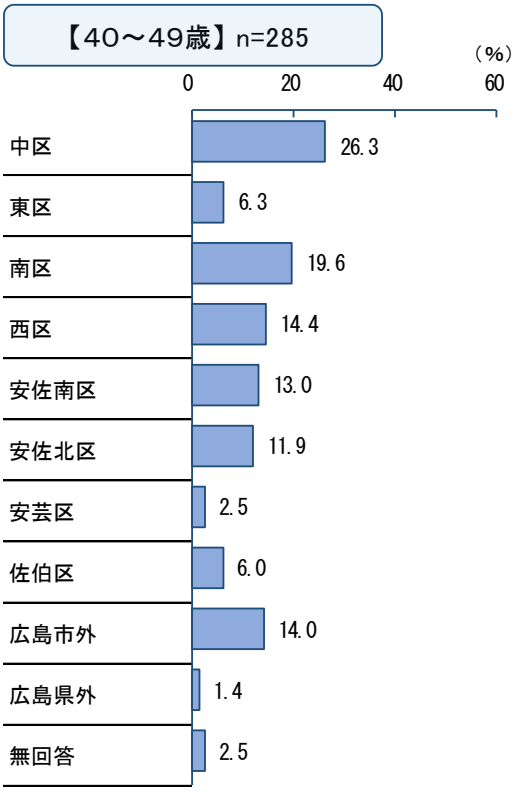
年齢別における回答状況は次のとおりとなっています。

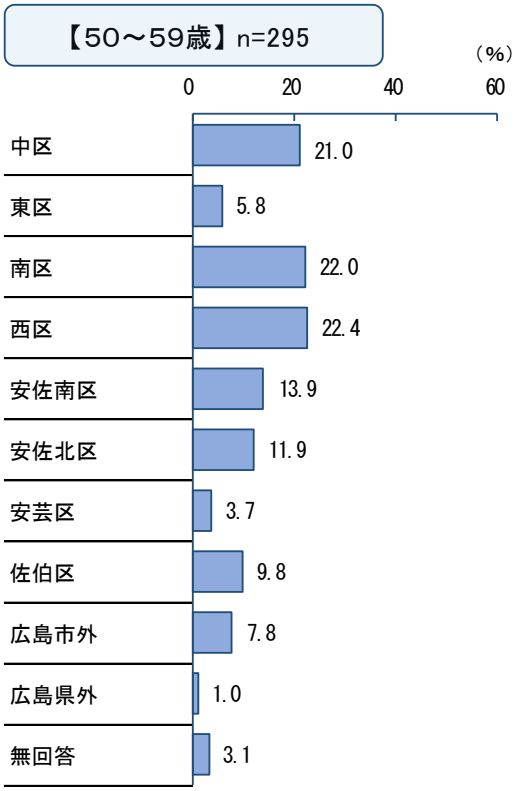


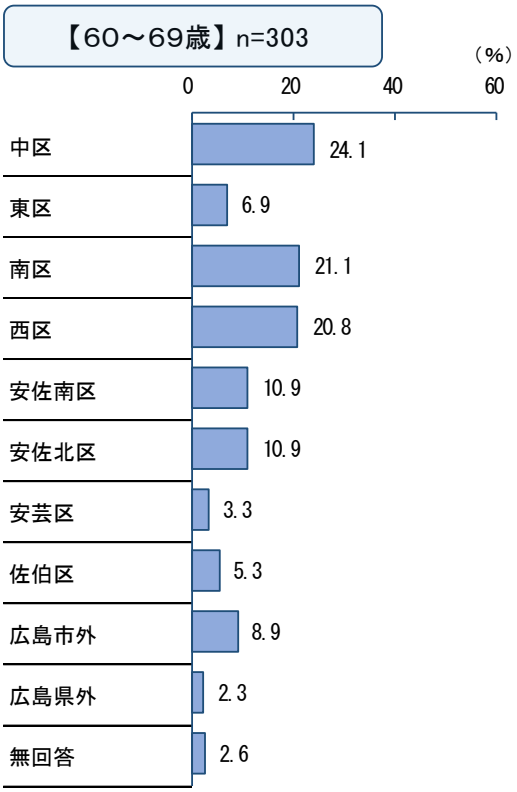




【40～49歳】n=285
（%）
0
20
40
60
中区 26.3
東区 6.3
南区 19.6
西区 14.4
安佐南区 13.0
安佐北区 11.9
安芸区 2.5
佐伯区 6.0
広島市外 14.0
広島県外 1.4
無回答 2.5


【50～59歳】n=295
（%）
0
20
40
60
中区 21.0
東区 5.8
南区 22.0
西区 22.4
安佐南区 13.9
安佐北区 11.9
安芸区 3.7
佐伯区 9.8
広島市外 7.8
広島県外 1.0
無回答 3.1

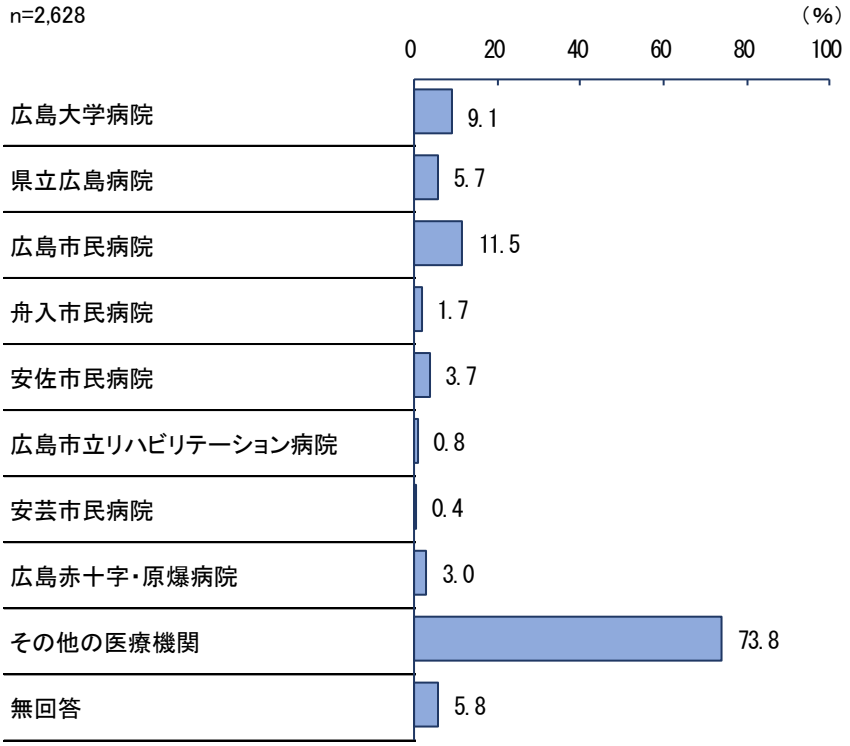

【60～69歳】n=303
（%）
0
20
40
60
中区 24.1
東区 6.9
南区 21.1
西区 20.8
安佐南区 10.9
安佐北区 10.9
安芸区 3.3
佐伯区 5.3
広島市外 8.9
広島県外 2.3
無回答 2.6

【70歳以上】n=678
（%）
0
20
40
60
中区 28.5
東区 10.0
南区 17.4
西区 16.1
安佐南区 13.4
安佐北区 15.2
安芸区 3.2
佐伯区 8.7
広島市外 5.3
広島県外 0.7
無回答 2.9

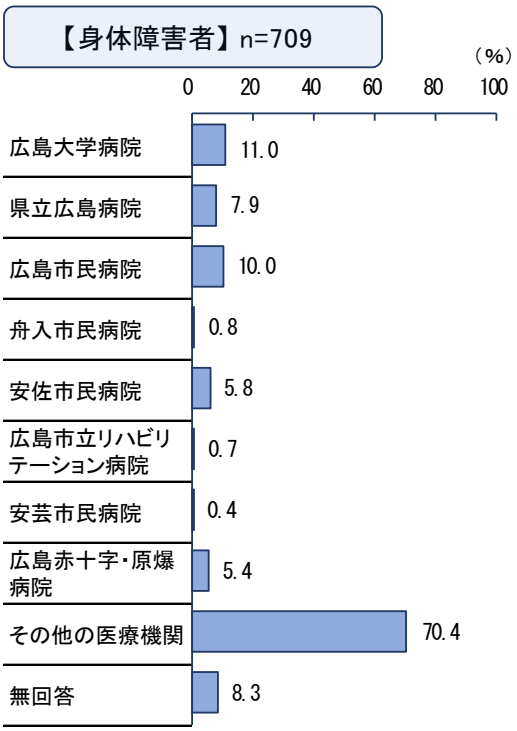
[MA]

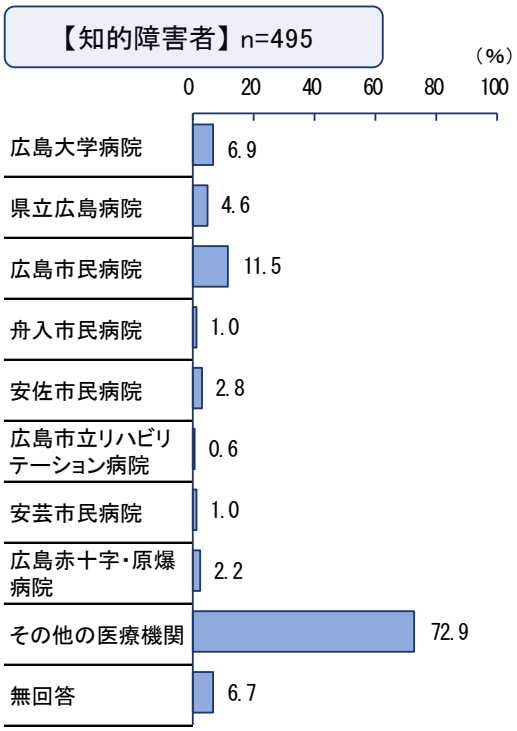
## 問６（３）　通院･入院している医療機関（歯科を除く）はどれですか。（○はいくつでも）

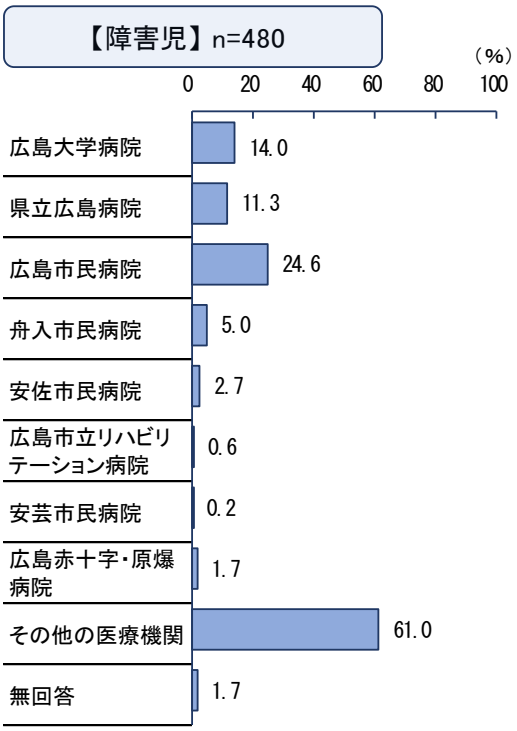
全体でみると、「その他の医療機関」が 73.8％と最も高くなっています。次いで「広島市民病院」（11.5％）、「広島大学病院」（9.1％）となっています。

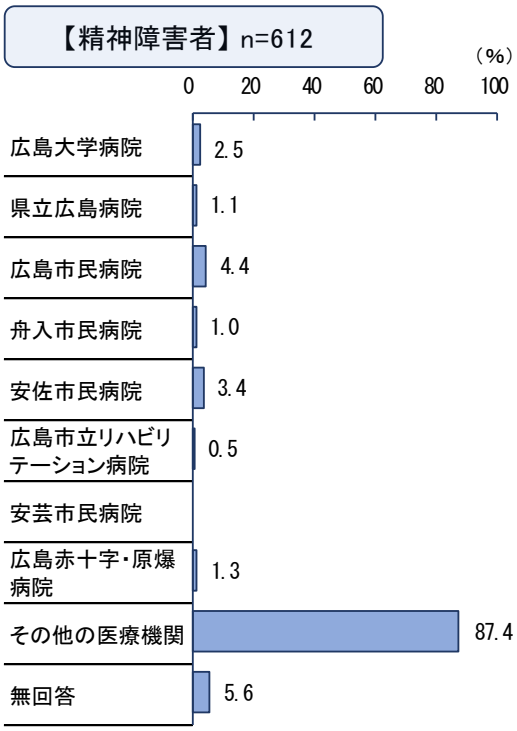


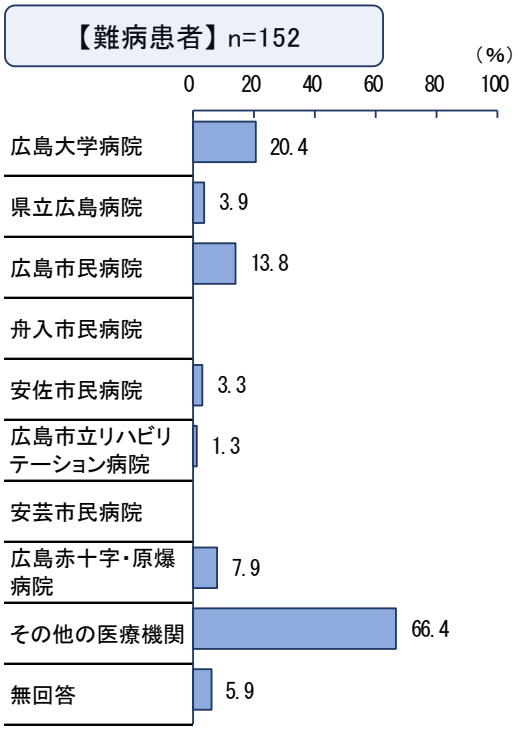
障害種別における回答状況は次のとおりとなっています。

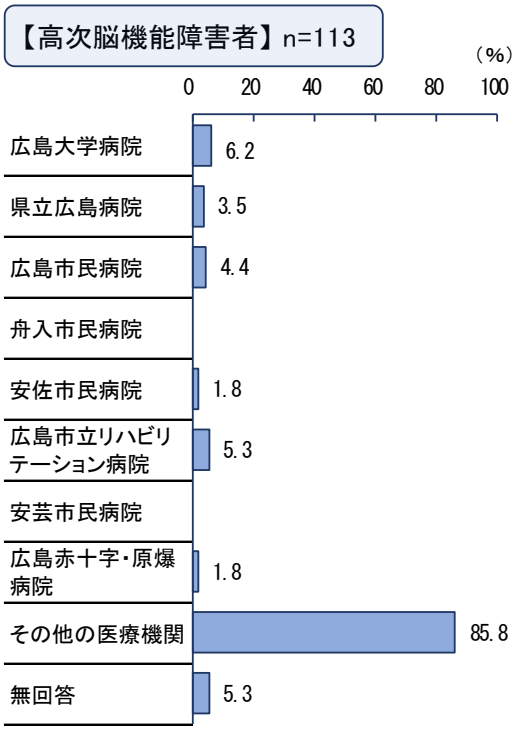


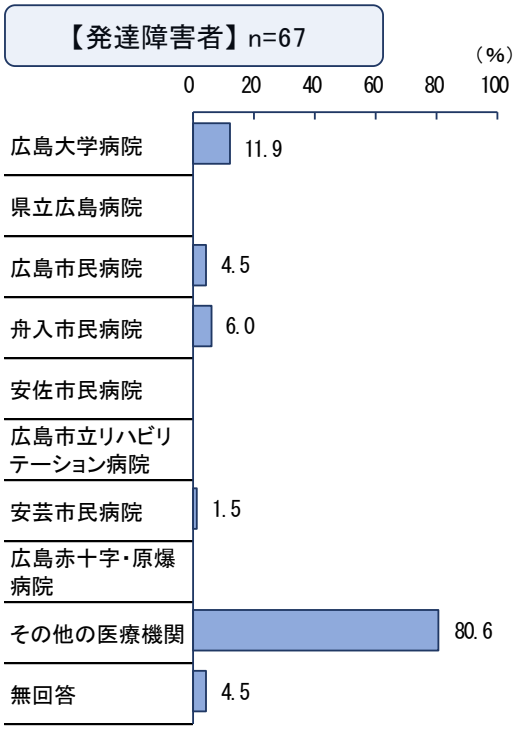



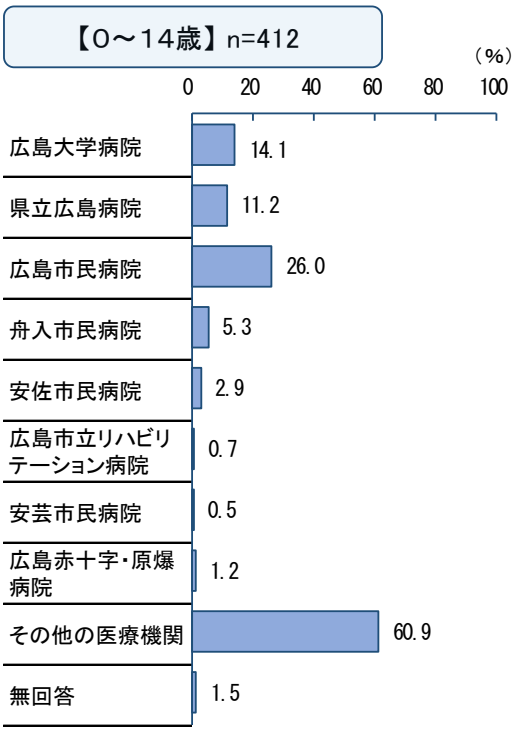



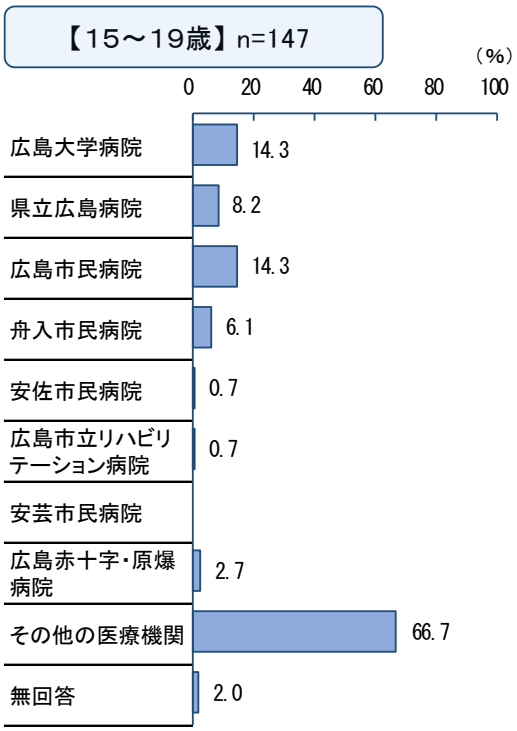

【難病患者】n=152
（%）
0
20
40
60
80
100
広島大学病院
20.4
県立広島病院
3.9
広島市民病院
13.8
舟入市民病院
安佐市民病院
3.3
広島市立リハビリテーション病院
1.3
安芸市民病院
広島赤十字・原爆病院
7.9
その他の医療機関
66.4
無回答
5.9

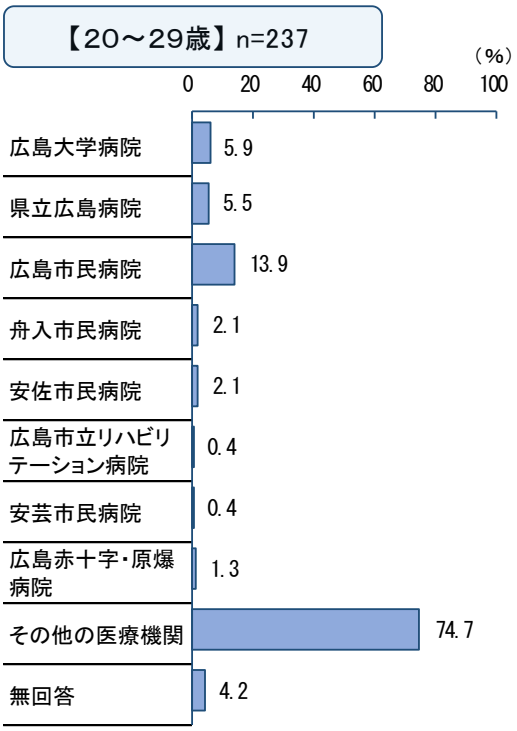

【高次脳機能障害者】n=113
（%）
0
20
40
60
80
100
広島大学病院
6.2
県立広島病院
3.5
広島市民病院
4.4
舟入市民病院
安佐市民病院
1.8
広島市立リハビリテーション病院
5.3
安芸市民病院
広島赤十字・原爆病院
1.8
その他の医療機関
85.8
無回答
5.3

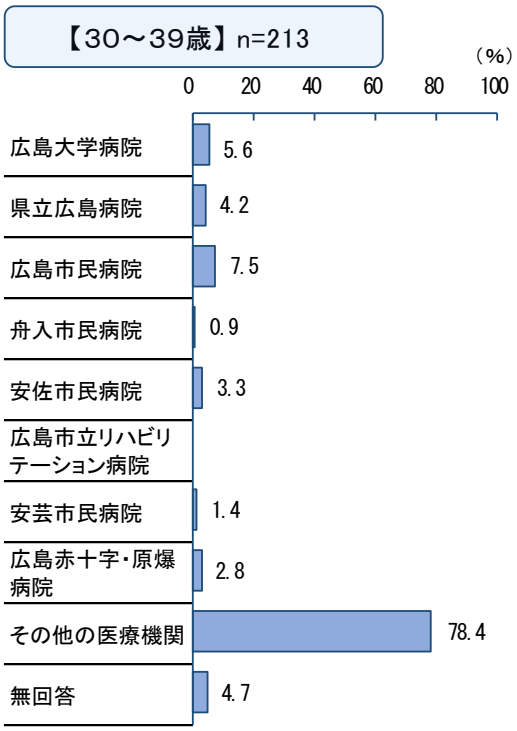

【発達障害者】n=67
（%）
0
20
40
60
80
100
広島大学病院
11.9
県立広島病院
広島市民病院
4.5
舟入市民病院
6.0
安佐市民病院
広島市立リハビリテーション病院
安芸市民病院
1.5
広島赤十字・原爆病院
その他の医療機関
80.6
無回答
4.5

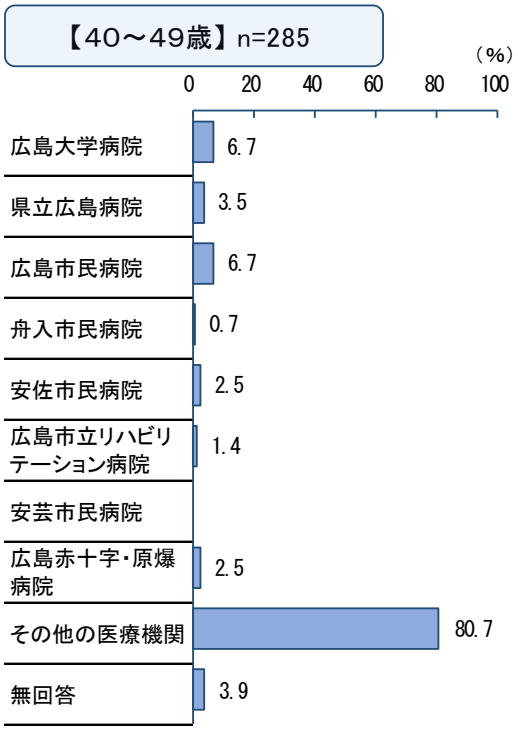
年齢別における回答状況は次のとおりとなっています。

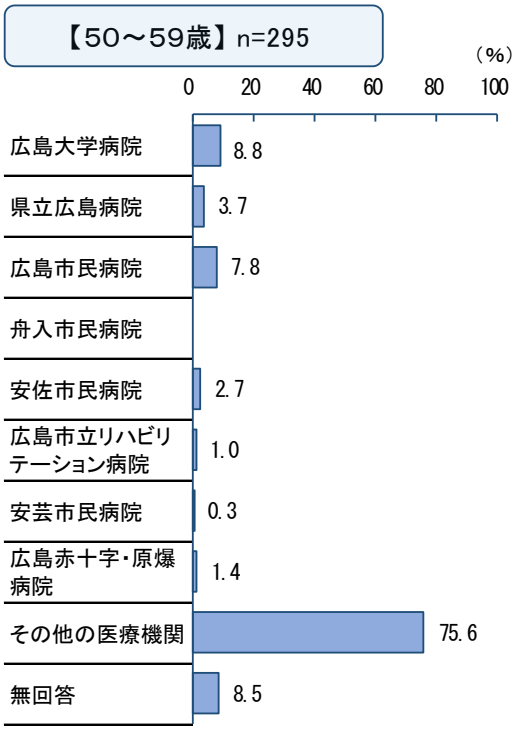


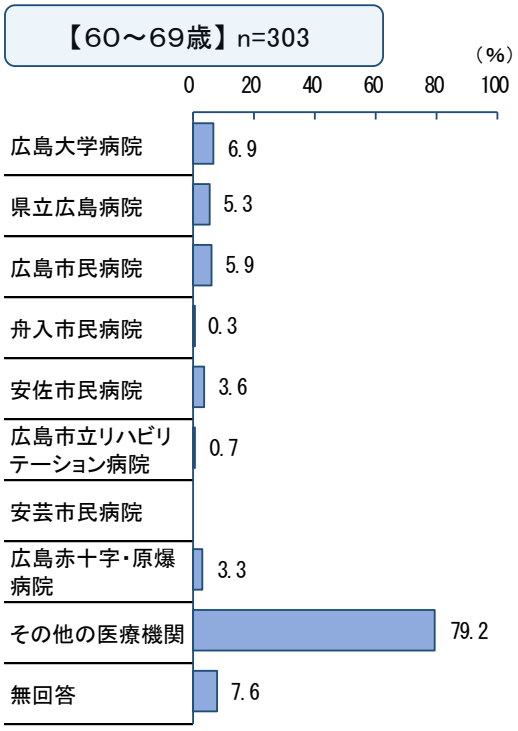



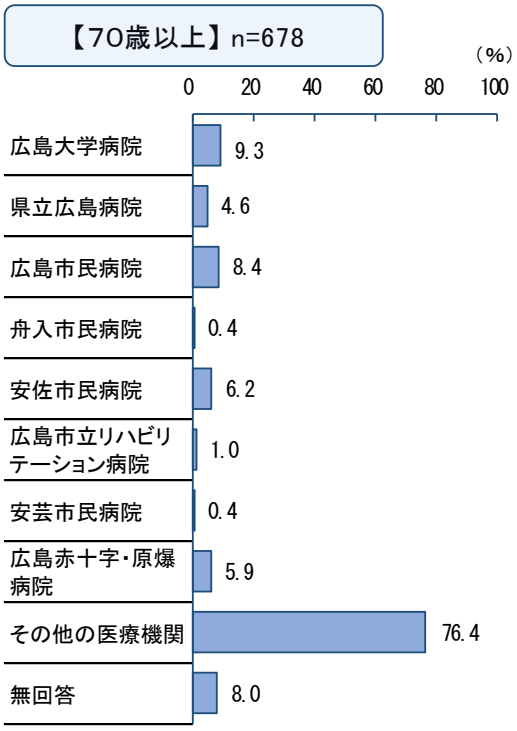




【40～49歳】n=285
（%）
0 20 40 60 80 100
広島大学病院 6.7
県立広島病院 3.5
広島市民病院 6.7
舟入市民病院 0.7
安佐市民病院 2.5
広島市立リハビリテーション病院 1.4
安芸市民病院
広島赤十字・原爆病院 2.5
その他の医療機関 80.7
無回答 3.9


【50～59歳】n=295
（%）
0 20 40 60 80 100
広島大学病院 8.8
県立広島病院 3.7
広島市民病院 7.8
舟入市民病院
安佐市民病院 2.7
広島市立リハビリテーション病院 1.0
安芸市民病院 0.3
広島赤十字・原爆病院 1.4
その他の医療機関 75.6
無回答 8.5

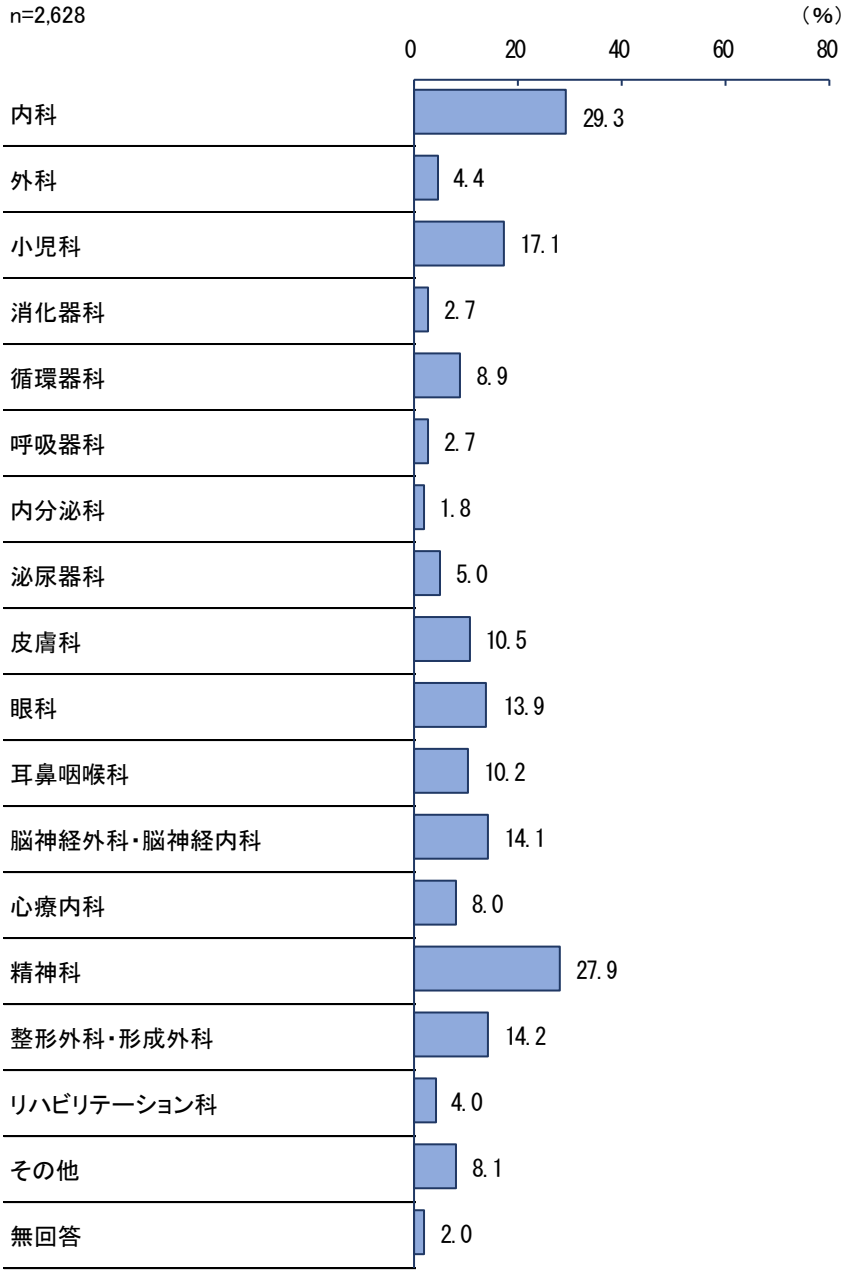

【60～69歳】n=303
（%）
0 20 40 60 80 100
広島大学病院 6.9
県立広島病院 5.3
広島市民病院 5.9
舟入市民病院 0.3
安佐市民病院 3.6
広島市立リハビリテーション病院 0.7
安芸市民病院
広島赤十字・原爆病院 3.3
その他の医療機関 79.2
無回答 7.6


【70歳以上】n=678
（%）
0 20 40 60 80 100
広島大学病院 9.3
県立広島病院 4.6
広島市民病院 8.4
舟入市民病院 0.4
安佐市民病院 6.2
広島市立リハビリテーション病院 1.0
安芸市民病院 0.4
広島赤十字・原爆病院 5.9
その他の医療機関 76.4
無回答 8.0

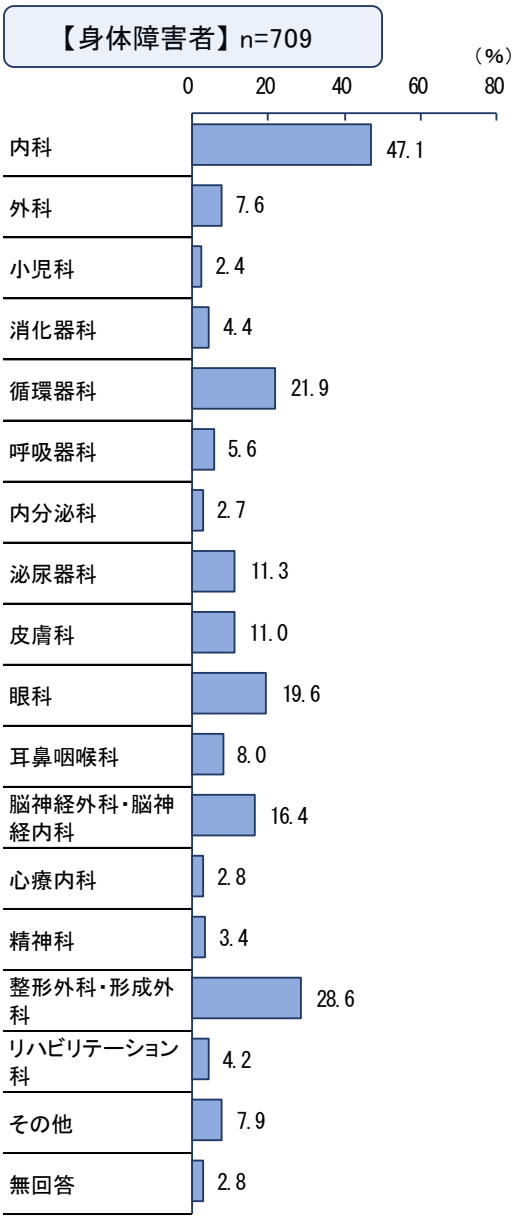
[MA]

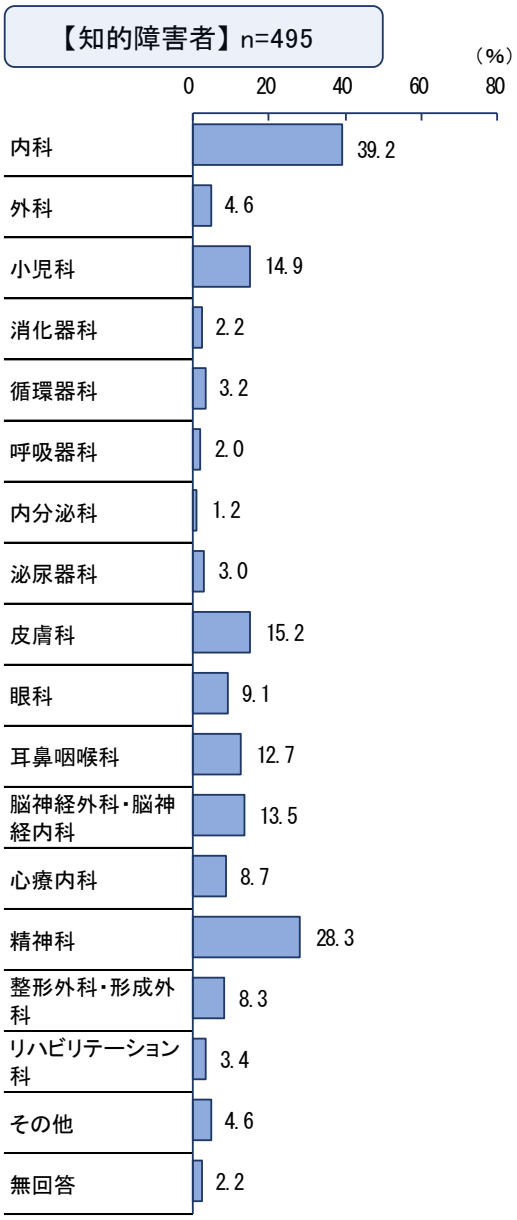
## 問６（４）　どの診療科を受診していますか。（○はいくつでも）

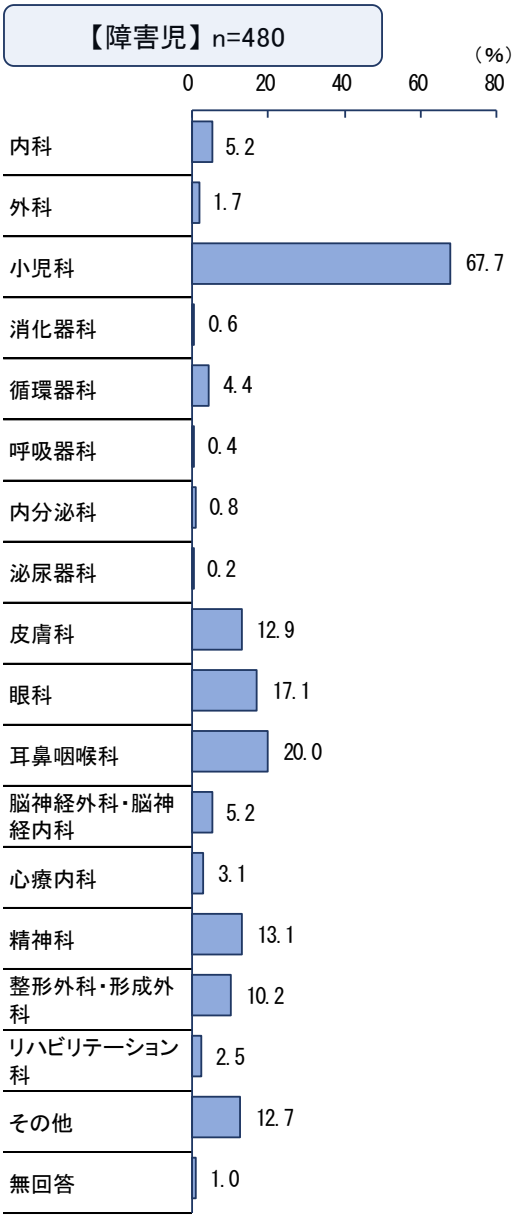
全体でみると、「内科」が 29.3%と最も高くなっています。次いで「精神科」（27.9%）、「小児科」（17.1%）となっています。

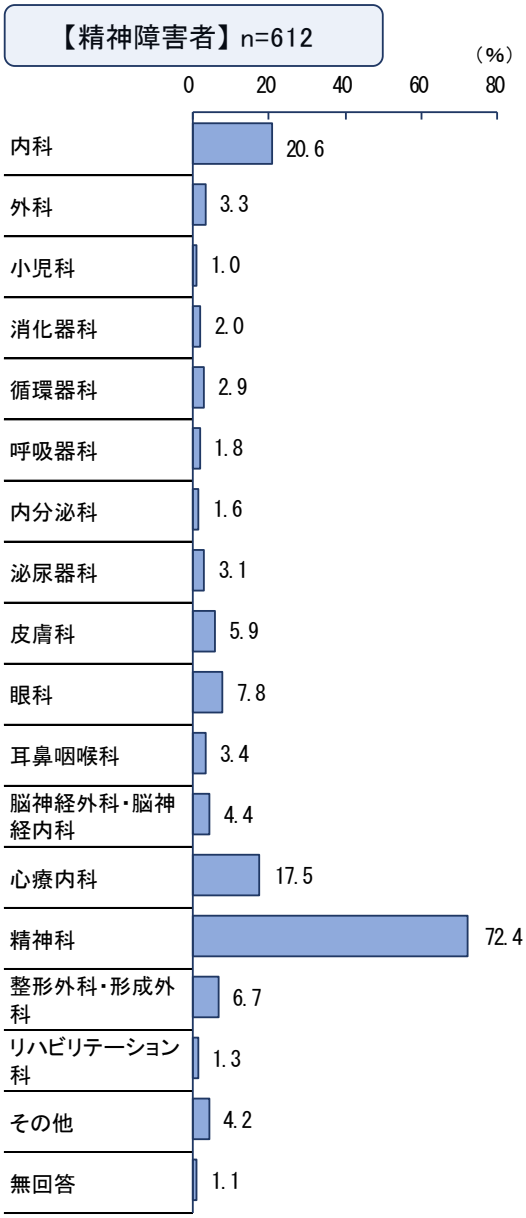


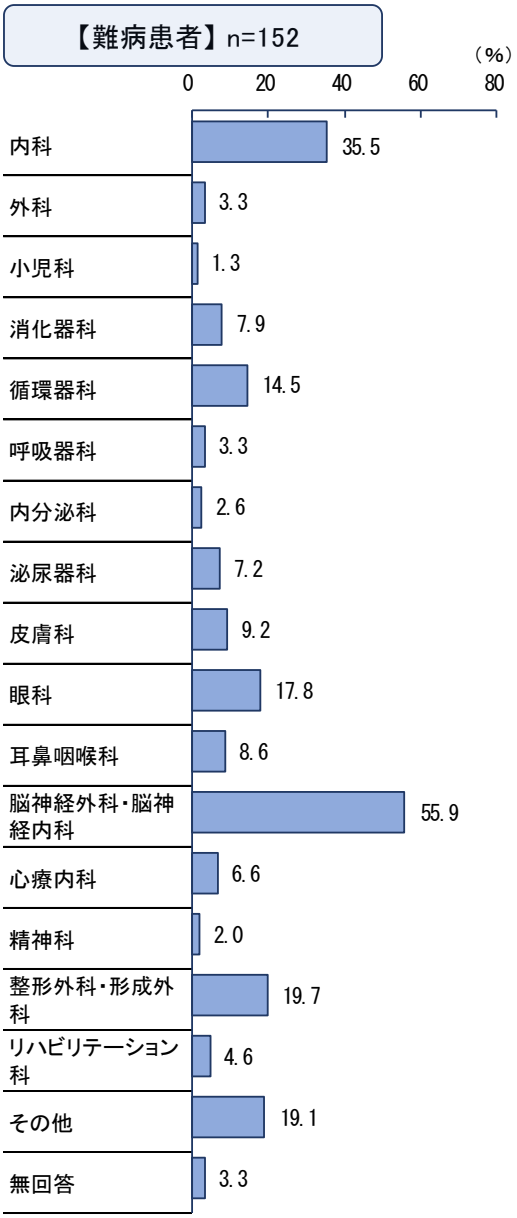
障害種別における回答状況は次のとおりとなっています。

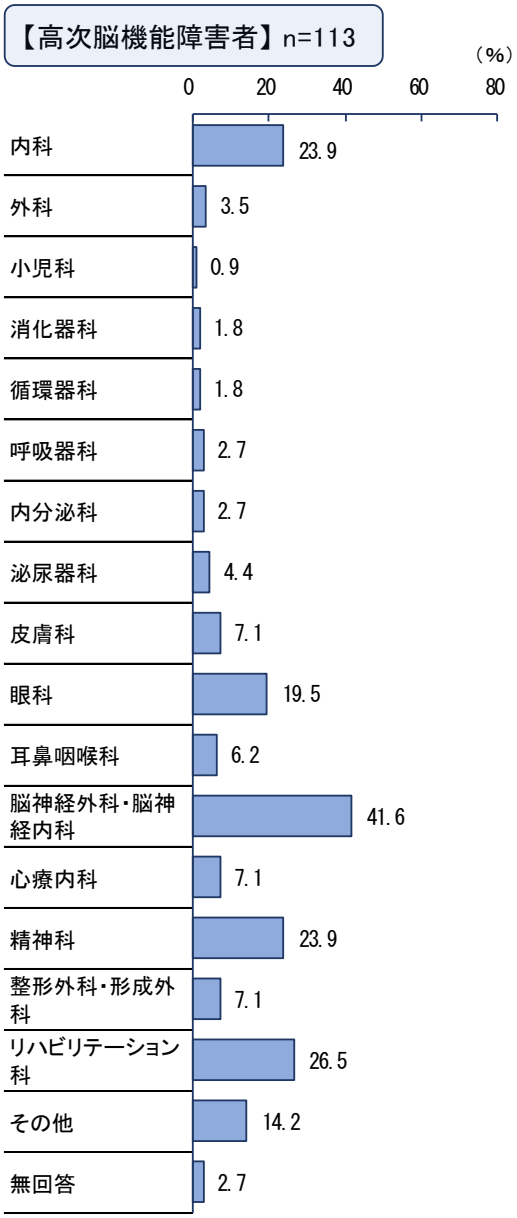


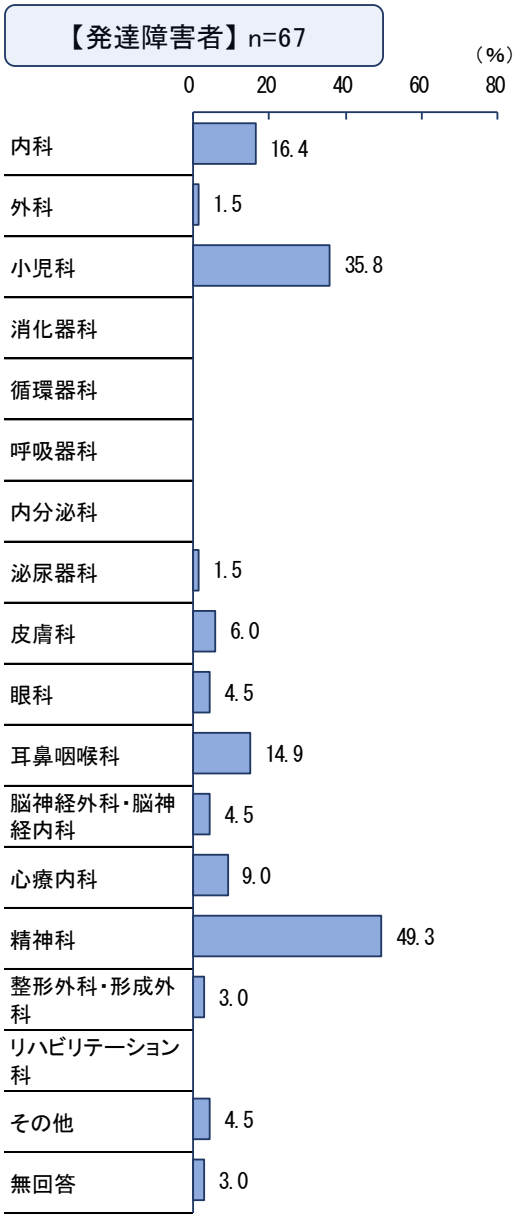




【障害児】n=480
（%）
0
20
40
60
80
内科 5.2
外科 1.7
小児科 67.7
消化器科 0.6
循環器科 4.4
呼吸器科 0.4
内分泌科 0.8
泌尿器科 0.2
皮膚科 12.9
眼科 17.1
耳鼻咽喉科 20.0
脳神経外科・脳神経内科 5.2
心療内科 3.1
精神科 13.1
整形外科・形成外科 10.2
リハビリテーション科 2.5
その他 12.7
無回答 1.0

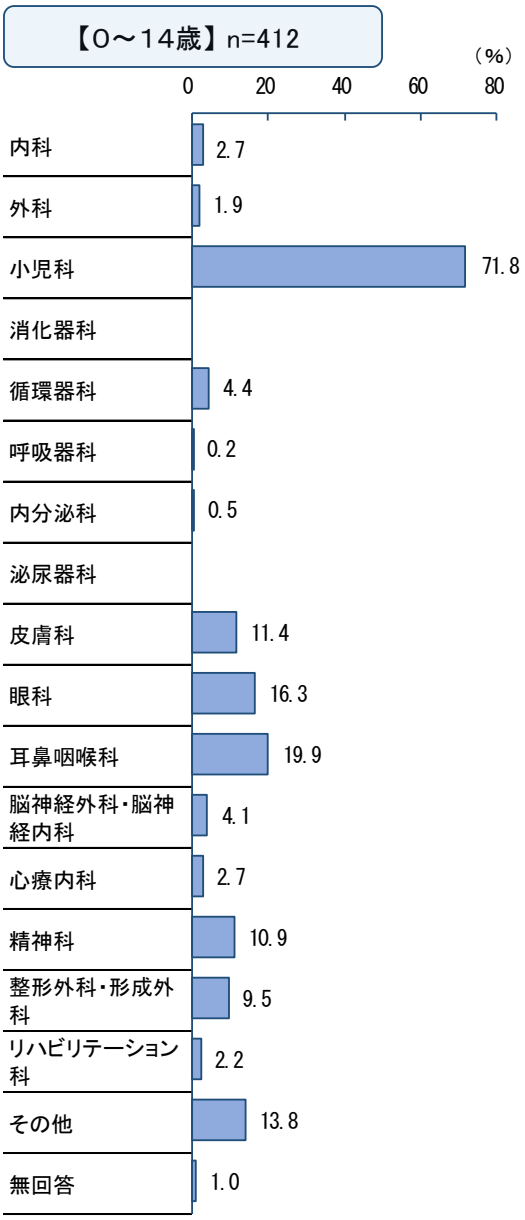

【精神障害者】n=612
（%）
0
20
40
60
80
内科 20.6
外科 3.3
小児科 1.0
消化器科 2.0
循環器科 2.9
呼吸器科 1.8
内分泌科 1.6
泌尿器科 3.1
皮膚科 5.9
眼科 7.8
耳鼻咽喉科 3.4
脳神経外科・脳神経内科 4.4
心療内科 17.5
精神科 72.4
整形外科・形成外科 6.7
リハビリテーション科 1.3
その他 4.2
無回答 1.1

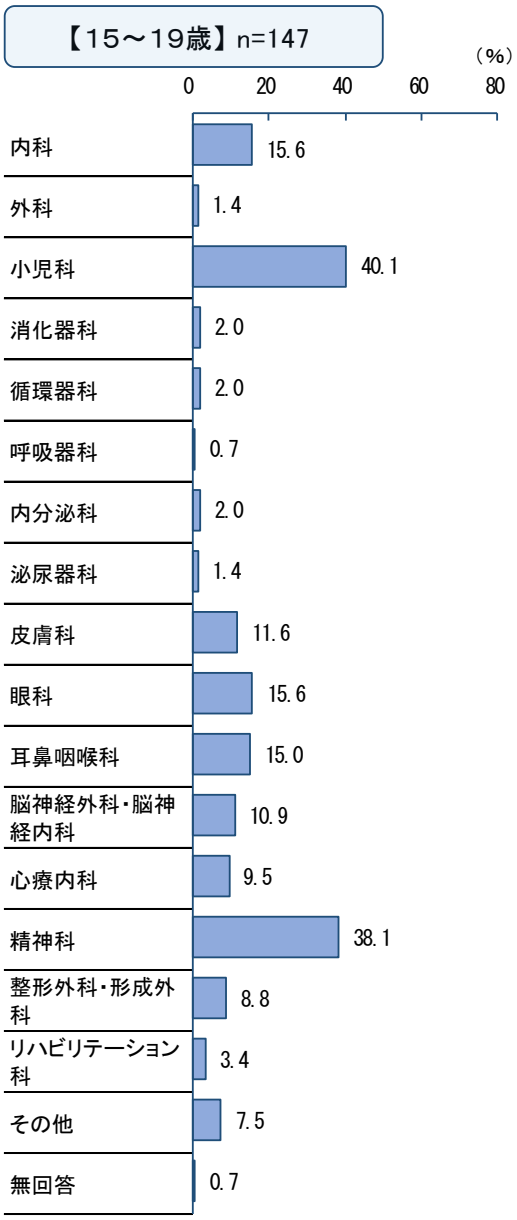

【難病患者】n=152
（%）
0
20
40
60
80
内科 35.5
外科 3.3
小児科 1.3
消化器科 7.9
循環器科 14.5
呼吸器科 3.3
内分泌科 2.6
泌尿器科 7.2
皮膚科 9.2
眼科 17.8
耳鼻咽喉科 8.6
脳神経外科・脳神経内科 55.9
心療内科 6.6
精神科 2.0
整形外科・形成外科 19.7
リハビリテーション科 4.6
その他 19.1
無回答 3.3

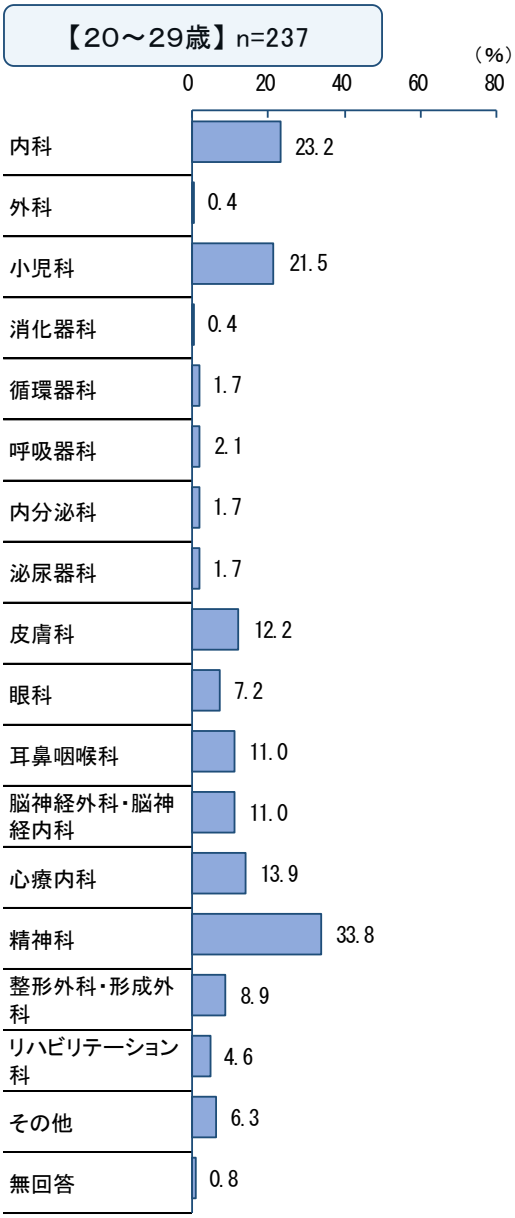

【高次脳機能障害者】n=113
（%）
0
20
40
60
80
内科 23.9
外科 3.5
小児科 0.9
消化器科 1.8
循環器科 1.8
呼吸器科 2.7
内分泌科 2.7
泌尿器科 4.4
皮膚科 7.1
眼科 19.5
耳鼻咽喉科 6.2
脳神経外科・脳神経内科 41.6
心療内科 7.1
精神科 23.9
整形外科・形成外科 7.1
リハビリテーション科 26.5
その他 14.2
無回答 2.7

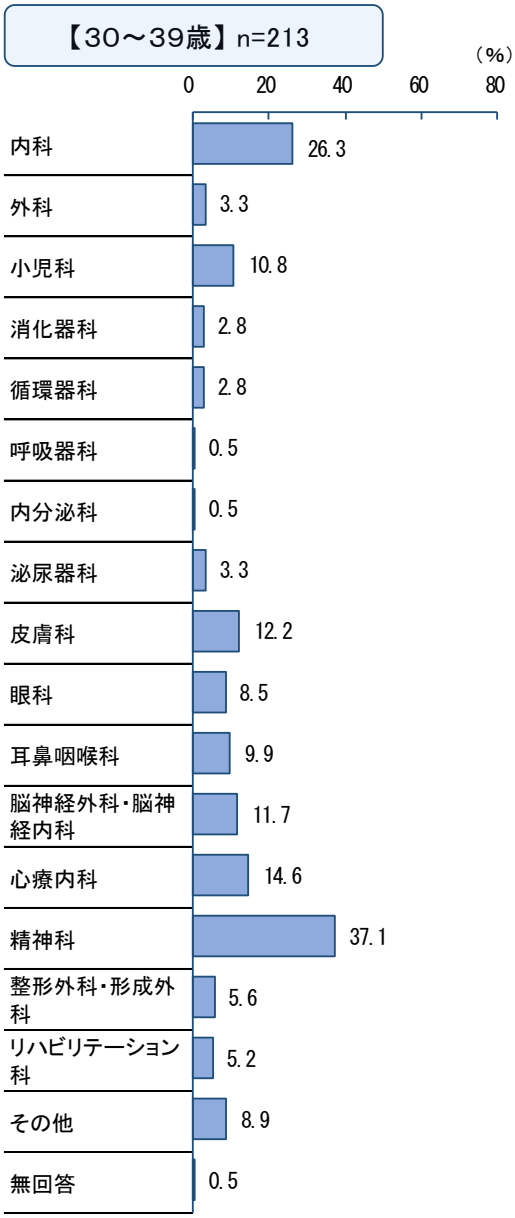

【発達障害者】n=67
（%）
0
20
40
60
80
内科
16.4
外科
1.5
小児科
35.8
消化器科
循環器科
呼吸器科
内分泌科
泌尿器科
1.5
皮膚科
6.0
眼科
4.5
耳鼻咽喉科
14.9
脳神経外科・脳神経内科
4.5
心療内科
9.0
精神科
49.3
整形外科・形成外科
3.0
リハビリテーション科
その他
4.5
無回答
3.0

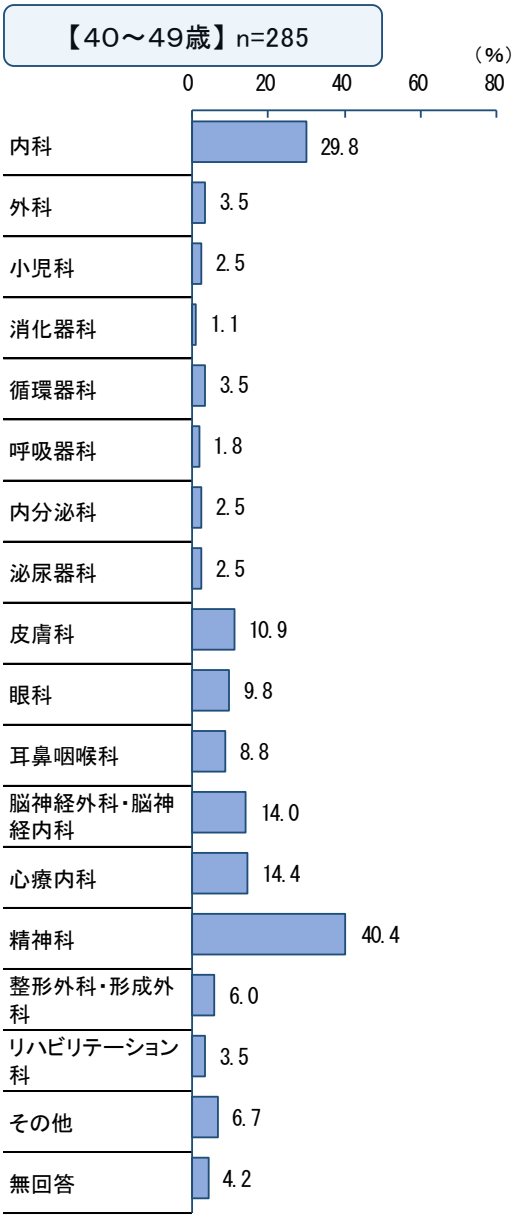
年齢別における回答状況は次のとおりとなっています。

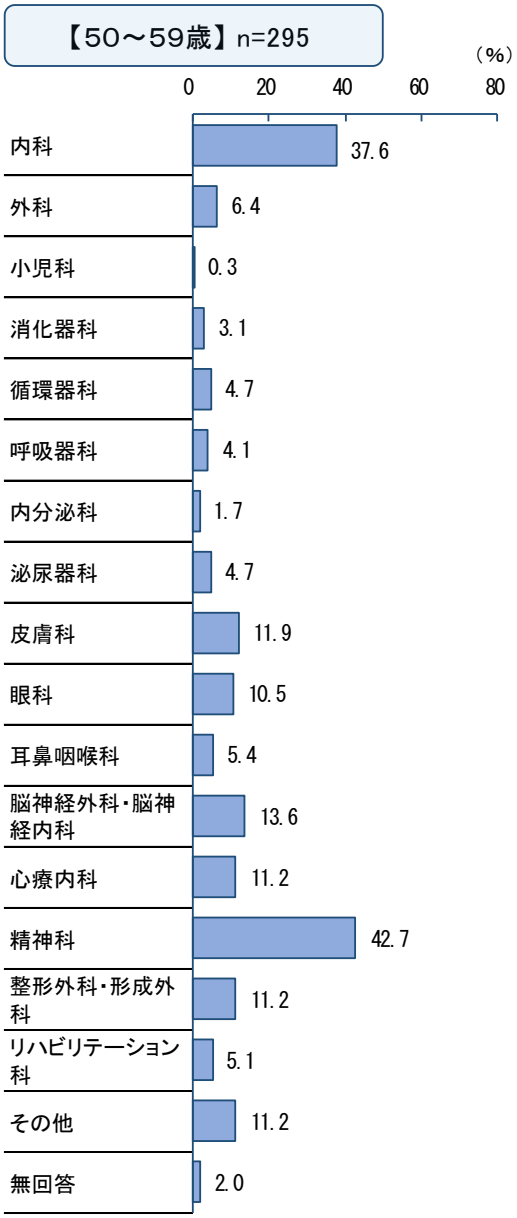


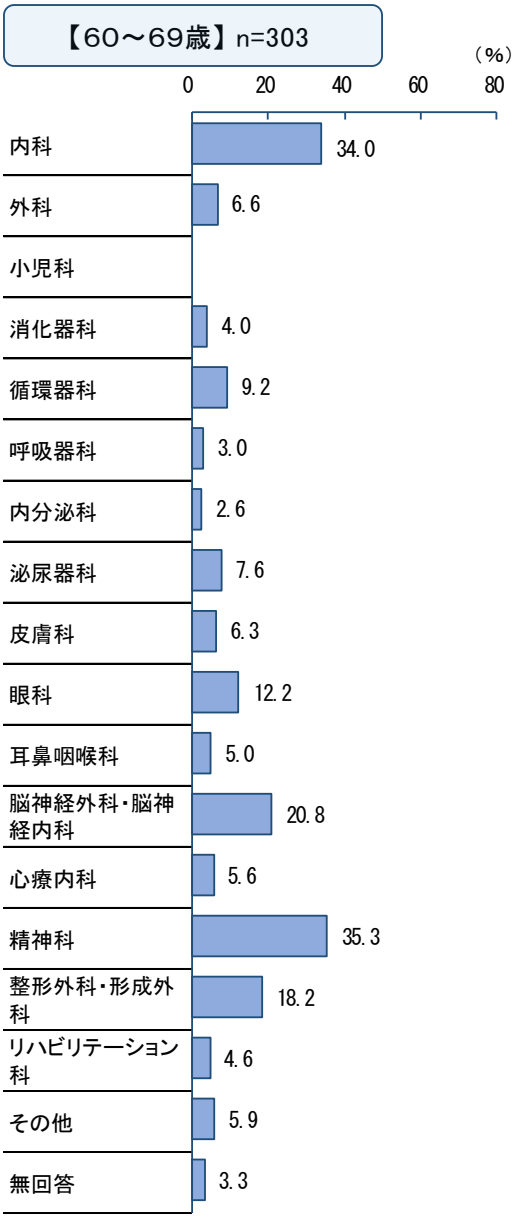



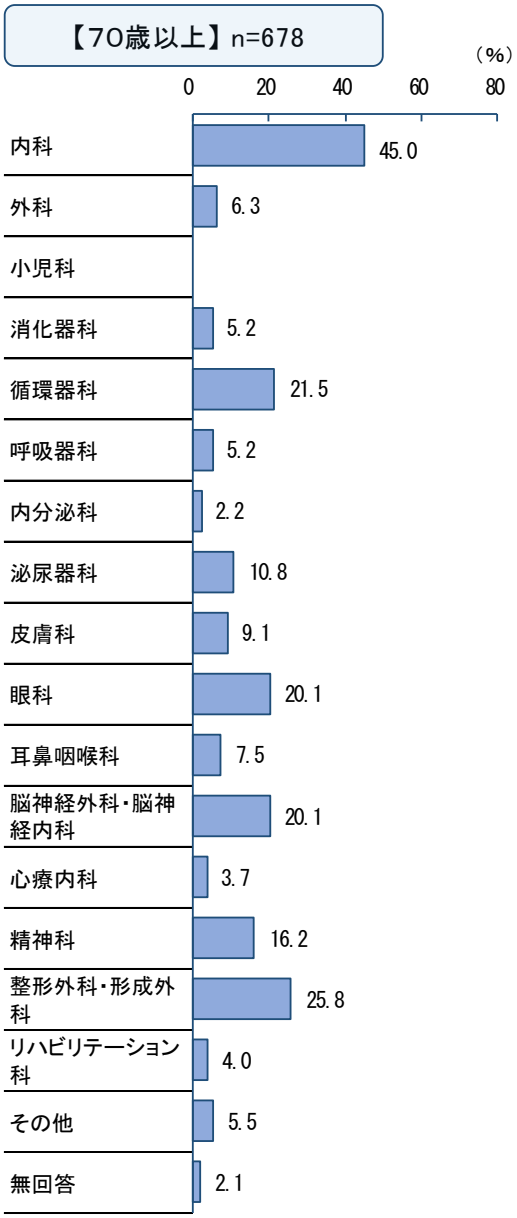

【20～29歳】n=237
（%）
0
20
40
60
80
内科 23.2
外科 0.4
小児科 21.5
消化器科 0.4
循環器科 1.7
呼吸器科 2.1
内分泌科 1.7
泌尿器科 1.7
皮膚科 12.2
眼科 7.2
耳鼻咽喉科 11.0
脳神経外科・脳神経内科 11.0
心療内科 13.9
精神科 33.8
整形外科・形成外科 8.9
リハビリテーション科 4.6
その他 6.3
無回答 0.8


【30～39歳】n=213
（%）
0
20
40
60
80
内科 26.3
外科 3.3
小児科 10.8
消化器科 2.8
循環器科 2.8
呼吸器科 0.5
内分泌科 0.5
泌尿器科 3.3
皮膚科 12.2
眼科 8.5
耳鼻咽喉科 9.9
脳神経外科・脳神経内科 11.7
心療内科 14.6
精神科 37.1
整形外科・形成外科 5.6
リハビリテーション科 5.2
その他 8.9
無回答 0.5


【40～49歳】n=285
（%）
0
20
40
60
80
内科 29.8
外科 3.5
小児科 2.5
消化器科 1.1
循環器科 3.5
呼吸器科 1.8
内分泌科 2.5
泌尿器科 2.5
皮膚科 10.9
眼科 9.8
耳鼻咽喉科 8.8
脳神経外科・脳神経内科 14.0
心療内科 14.4
精神科 40.4
整形外科・形成外科 6.0
リハビリテーション科 3.5
その他 6.7
無回答 4.2


【50～59歳】n=295
（%）
0
20
40
60
80
内科 37.6
外科 6.4
小児科 0.3
消化器科 3.1
循環器科 4.7
呼吸器科 4.1
内分泌科 1.7
泌尿器科 4.7
皮膚科 11.9
眼科 10.5
耳鼻咽喉科 5.4
脳神経外科・脳神経内科 13.6
心療内科 11.2
精神科 42.7
整形外科・形成外科 11.2
リハビリテーション科 5.1
その他 11.2
無回答 2.0


【60～69歳】n=303
（%）
0
20
40
60
80
内科 34.0
外科 6.6
小児科
消化器科 4.0
循環器科 9.2
呼吸器科 3.0
内分泌科 2.6
泌尿器科 7.6
皮膚科 6.3
眼科 12.2
耳鼻咽喉科 5.0
脳神経外科・脳神経内科 20.8
心療内科 5.6
精神科 35.3
整形外科・形成外科 18.2
リハビリテーション科 4.6
その他 5.9
無回答 3.3

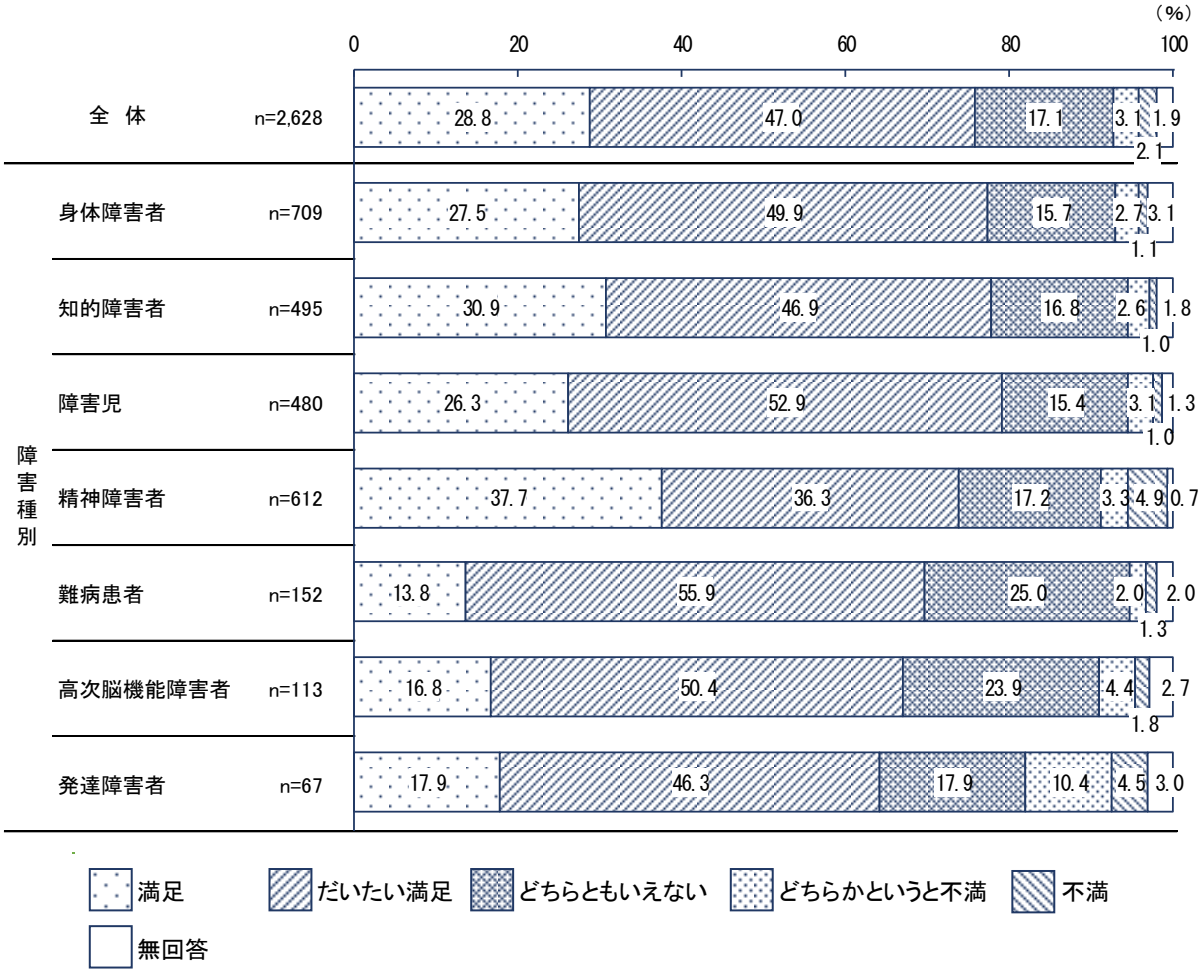

【70歳以上】n=678
（%）
0
20
40
60
80
内科 45.0
外科 6.3
小児科
消化器科 5.2
循環器科 21.5
呼吸器科 5.2
内分泌科 2.2
泌尿器科 10.8
皮膚科 9.1
眼科 20.1
耳鼻咽喉科 7.5
脳神経外科・脳神経内科 20.1
心療内科 3.7
精神科 16.2
整形外科・形成外科 25.8
リハビリテーション科 4.0
その他 5.5
無回答 2.1

[MA]

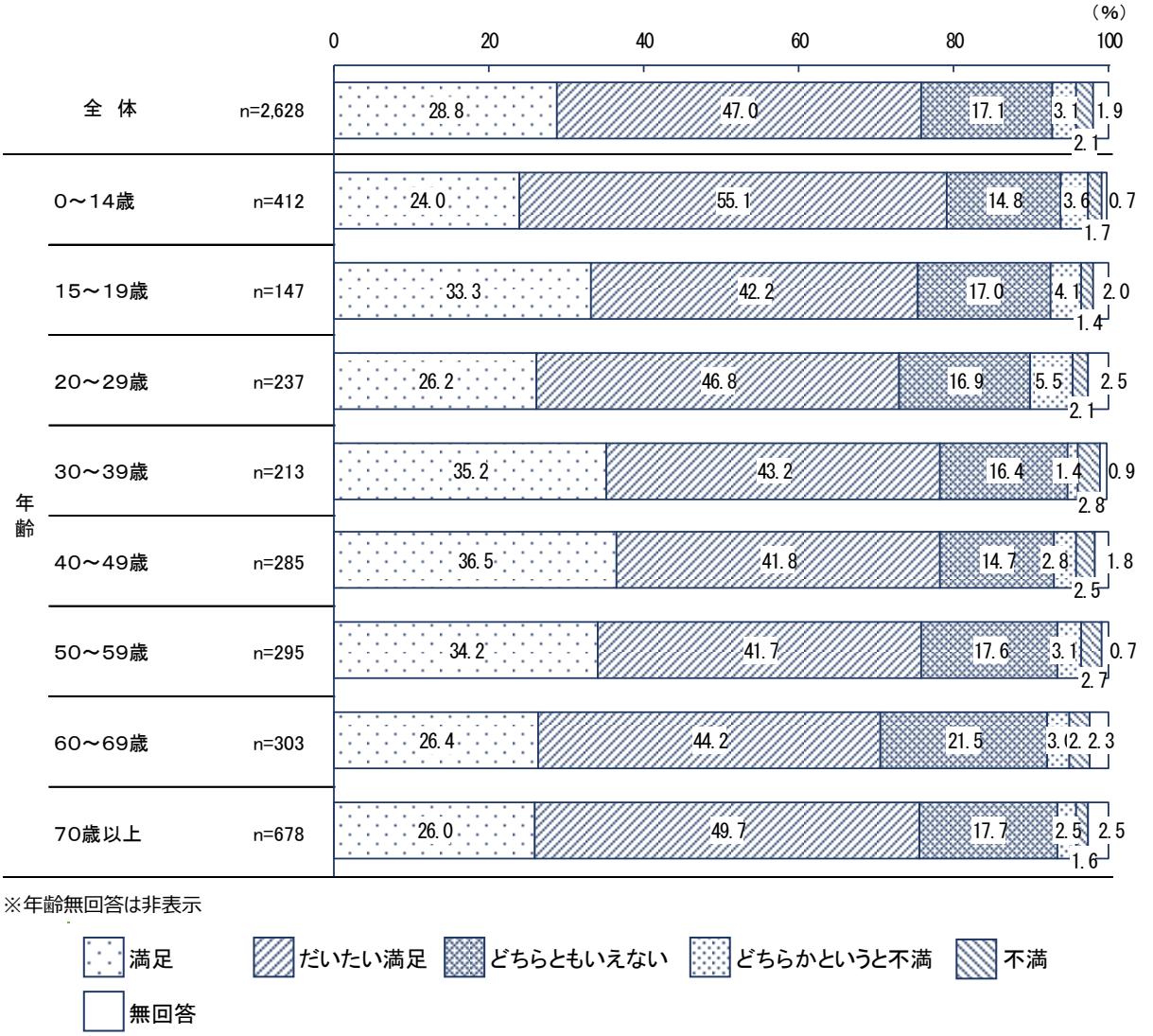
## 問 6（5） 医療機関での治療や療養についての満足度を教えてください。（○はいくつでも）

全体でみると、「満足」と「だいたい満足」を合わせた割合は 75.8%となっています。

障害種別でみると、「障害児」で「満足」と「だいたい満足」を合わせた割合が 79.2%となっています。



年齢別でみると、「０～１４歳」、「３０～３９歳」、「４０～４９歳」で「満足」と「だいたい満足」を合わせた割合は約８割弱となっています。



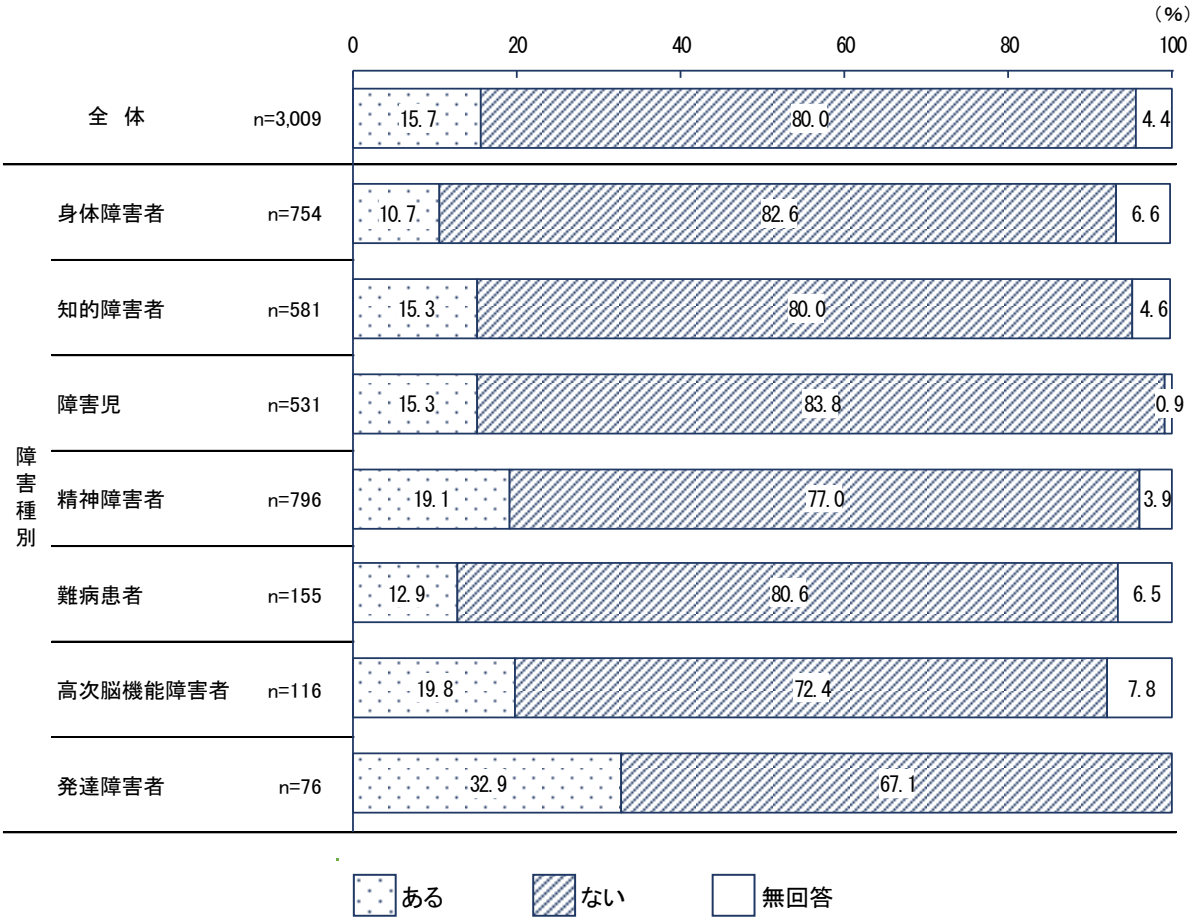

※年齢無回答は非表示

[SA]

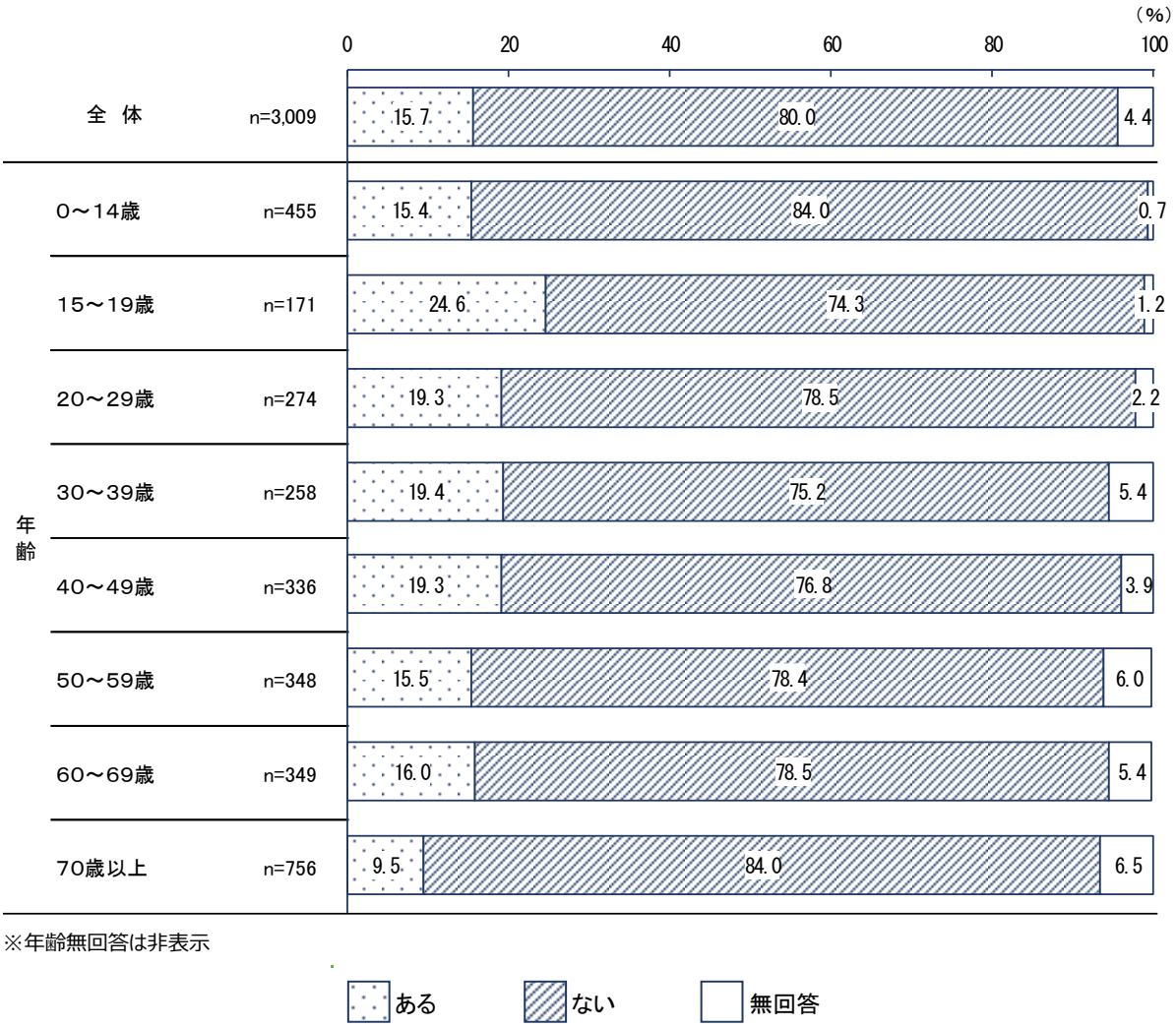
## 問 7　これまでに、医療機関の受診の必要を感じたが、受診できなかったことはありますか。

全体でみると、「ある」が 15.7%、「ない」が 80.0%となっています。

障害種別でみると、「発達障害者」で「ある」が 32.9%となっています。



年齢別でみると、「１５～１９歳」で「ある」は 24.6%となっています。

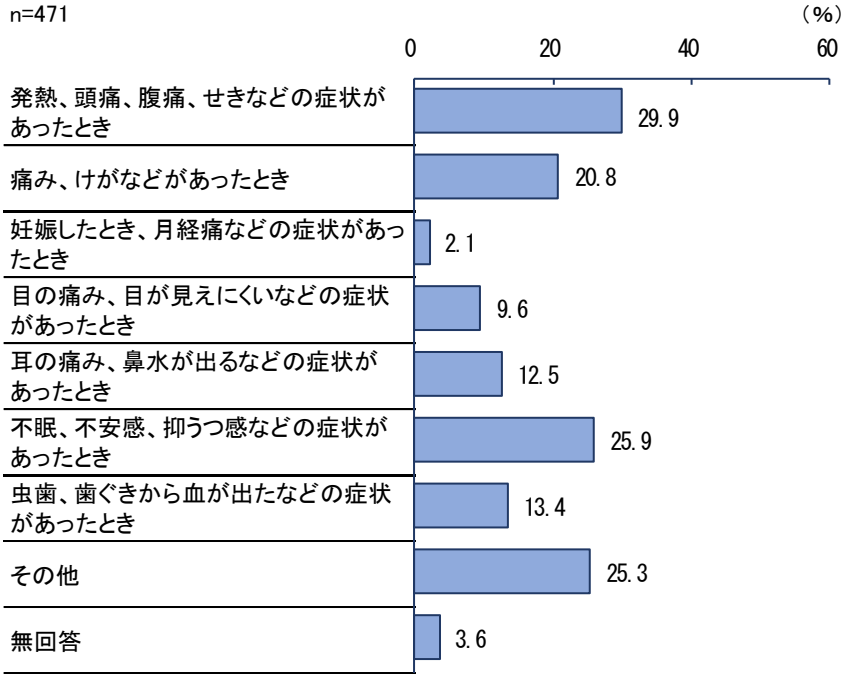



※年齢無回答は非表示

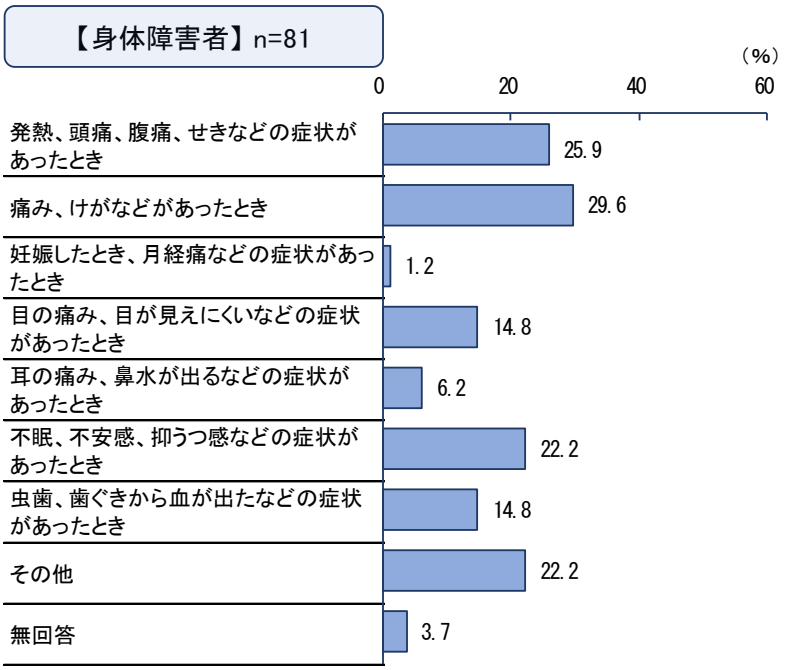
[MA]

## 問７（1）　問７で「１．ある」に○をつけた方におたずねします。医療機関の受診の必要を感じたが、受診できなかったのは、どのようなときでしたか。（○はいくつでも）

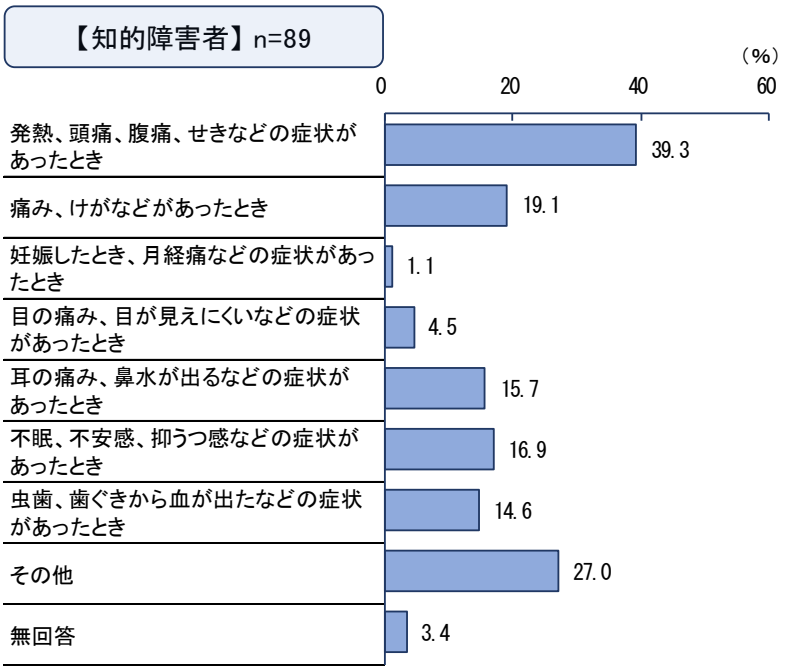
全体でみると、「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」が 29.9%と最も高くなっています。次いで「不眠、不安感、抑うつ感などの症状があったとき」（25.9%）、「痛み、けがなどがあったとき」（20.8%）となっています。



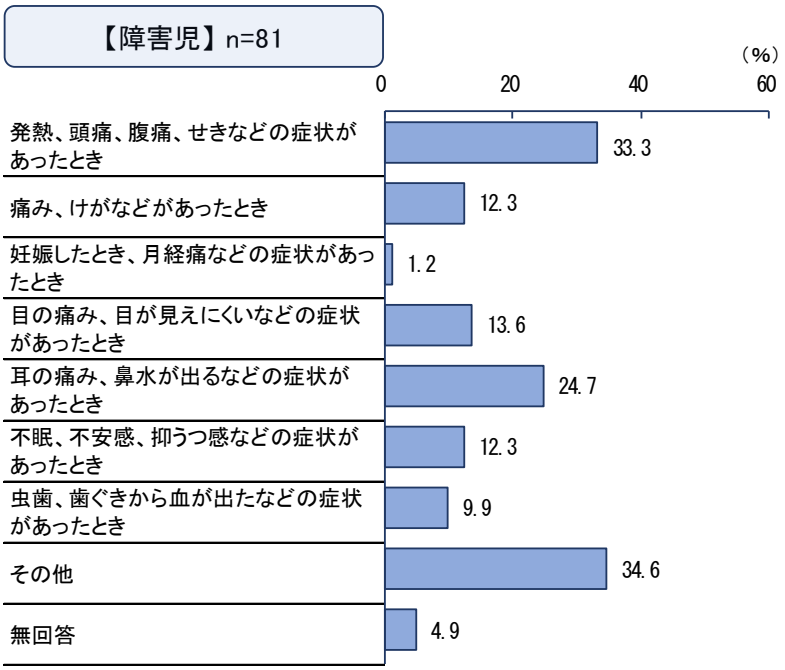
身体障害者でみると、「痛み、けがなどがあったとき」が 29.6%と最も高く、次いで「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」（25.9%）となっています。



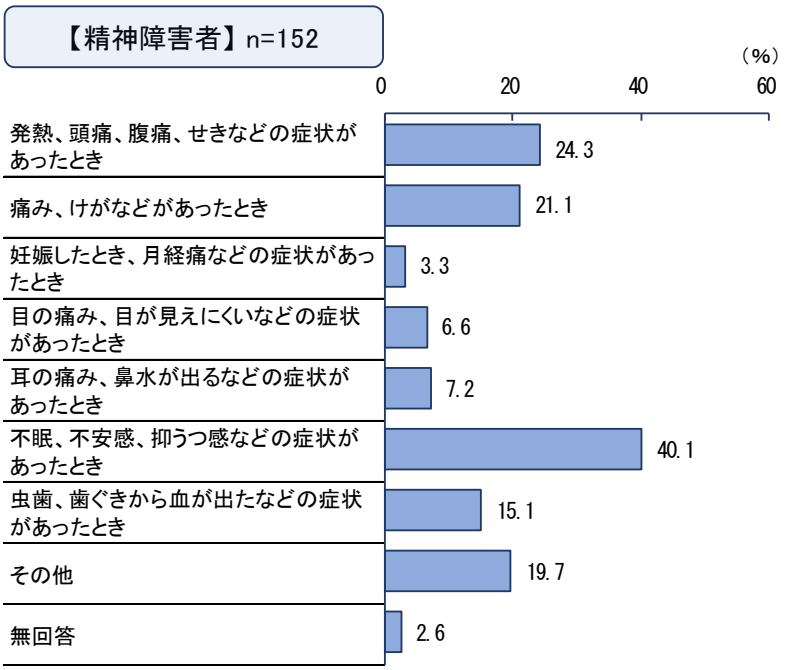

知的障害者でみると、「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」が 39.3%と最も高く、次いで「痛み、けがなどがあったとき」（19.1%）となっています。



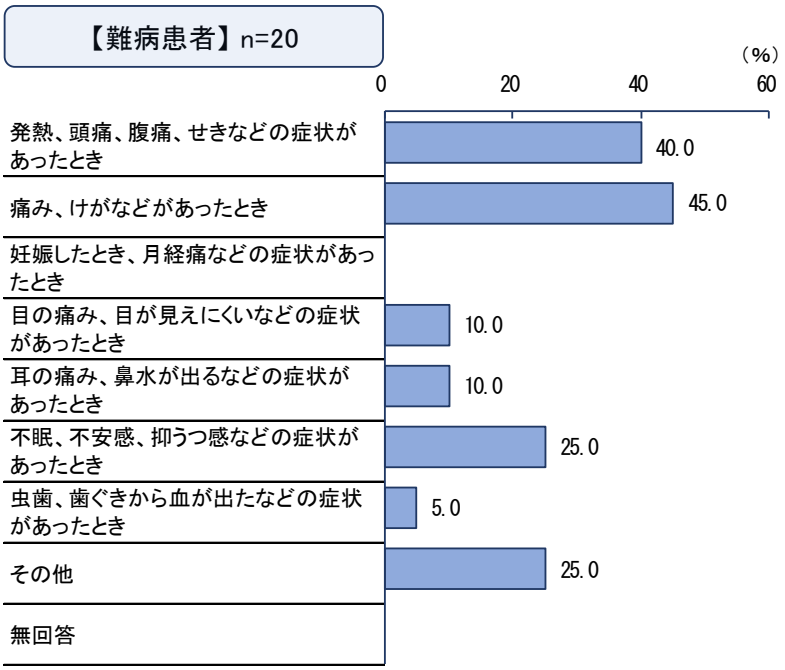
障害児でみると、「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」が 33.3%と最も高く、次いで「耳の痛み、鼻水が出るなどの症状があったとき」（24.7%）となっています。



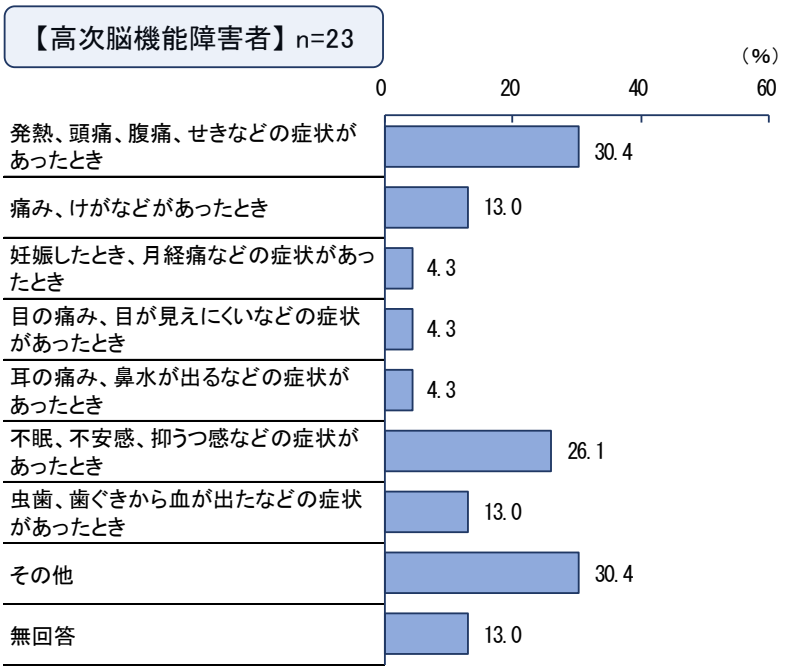

精神障害者でみると、「不眠、不安感、抑うつ感などの症状があったとき」が 40.1%と最も高く、次いで「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」（24.3%）となっています。



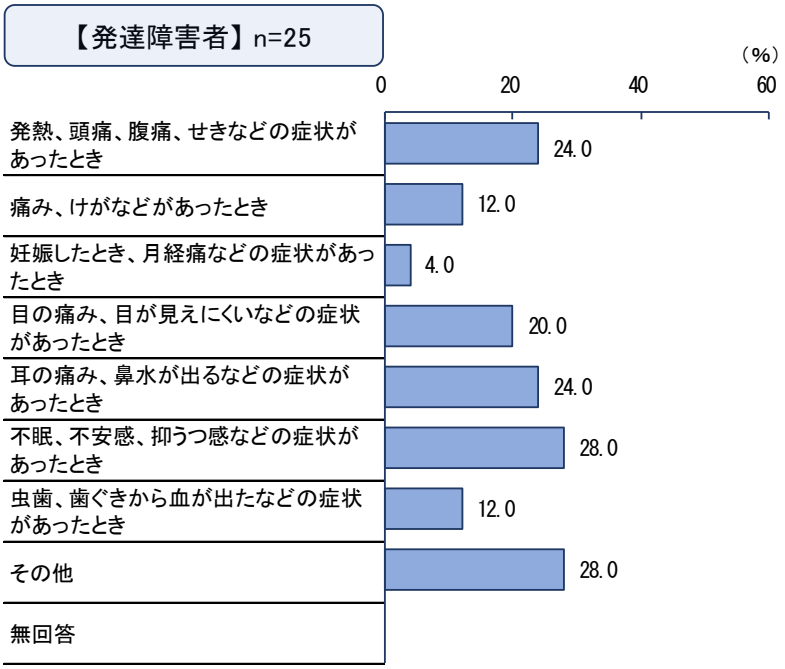
難病患者でみると、「痛み、けがなどがあったとき」が 45.0%と最も高く、次いで「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」（40.0%）となっています。



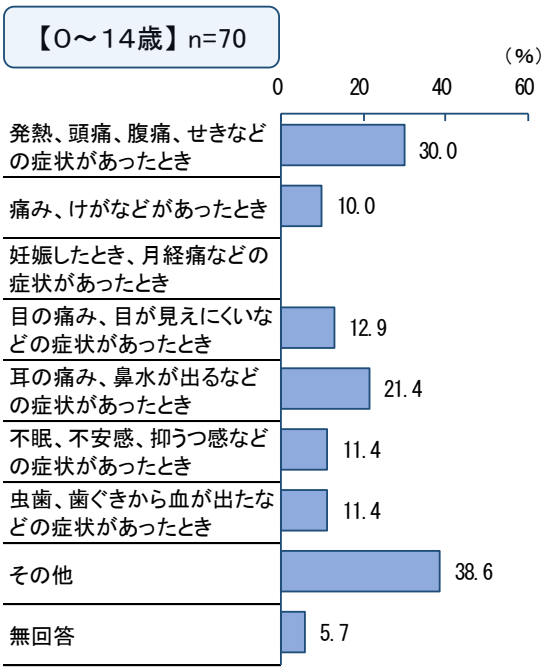

高次脳機能障害者でみると、「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」が 30.4%と最も高く、次いで「不眠、不安感、抑うつ感などの症状があったとき」（26.1%）となっています。

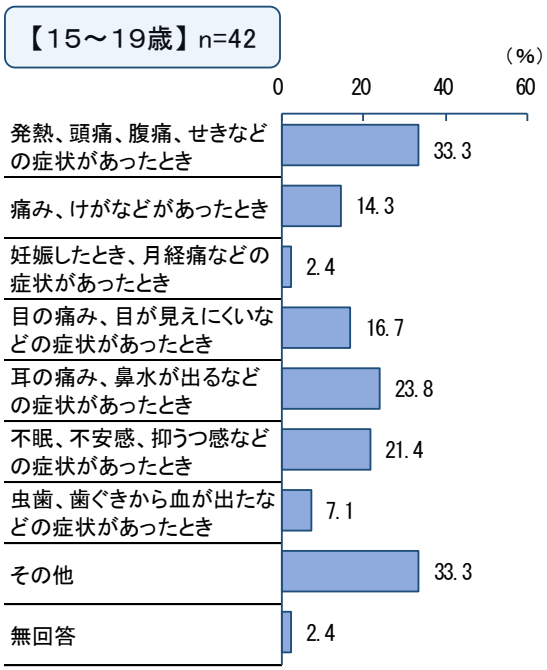


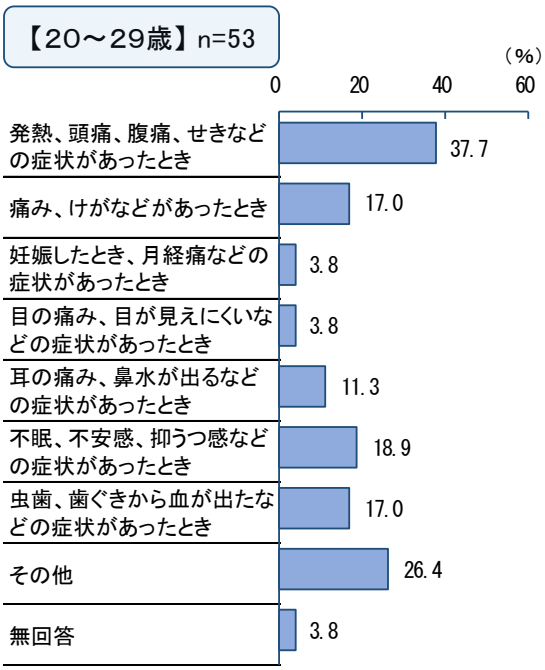
発達障害者でみると、「不眠、不安感、抑うつ感などの症状があったとき」が 28.0%と最も高く、次いで「発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき」、「耳の痛み、鼻水が出るなどの症状があったとき」（24.0%）となっています。

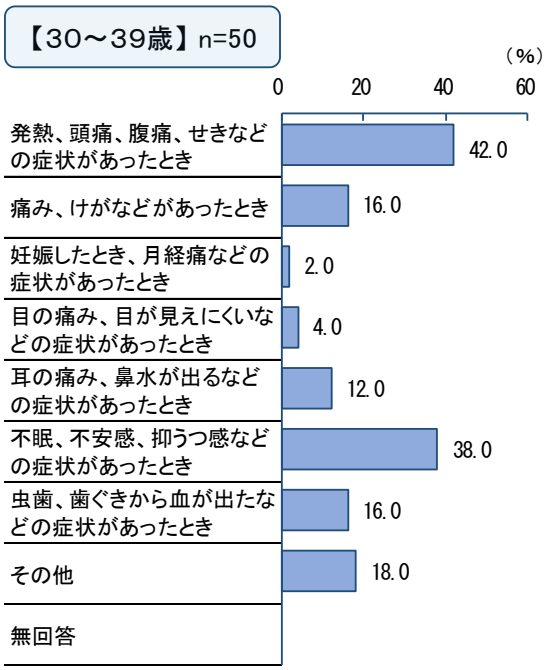


年齢別における回答状況は次のとおりとなっています。

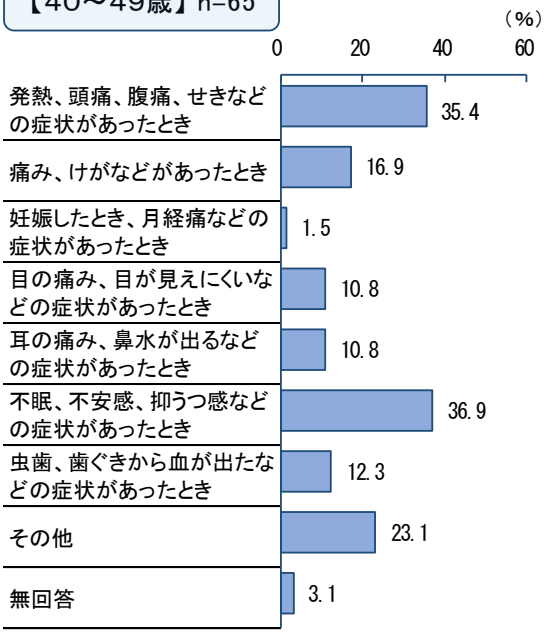


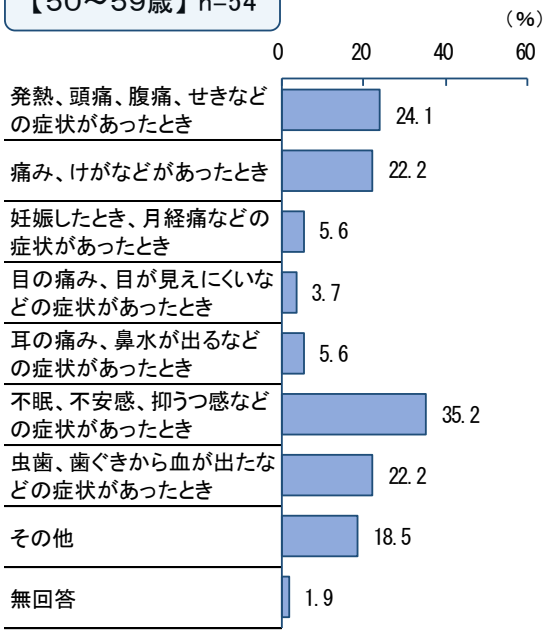



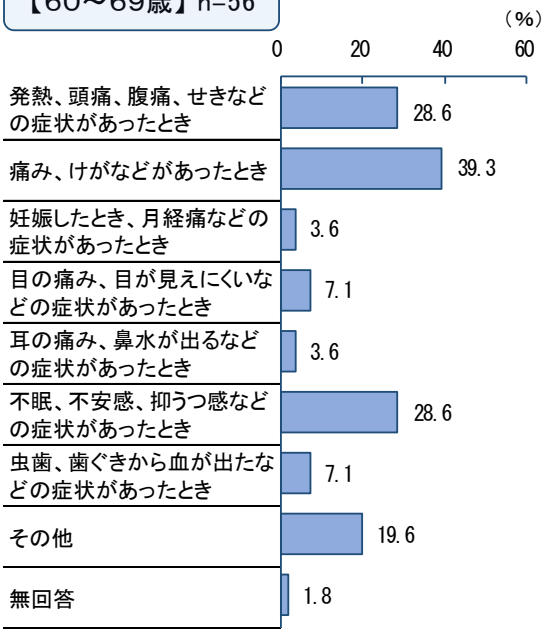
【40～49歳】n=65



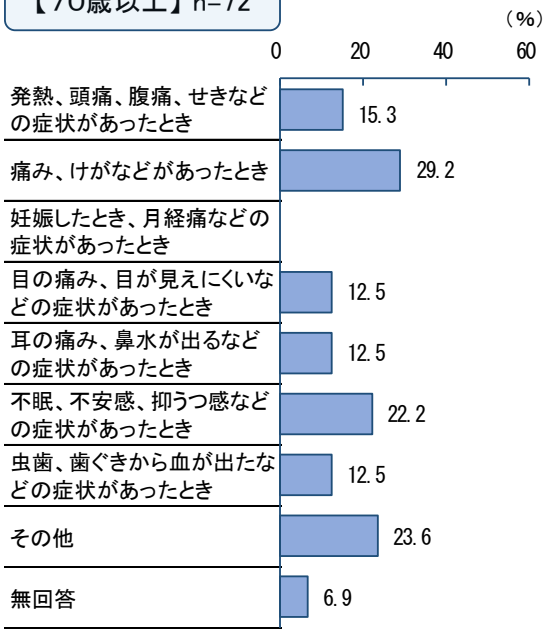

【50～59歳】n=54




【60～69歳】n=56



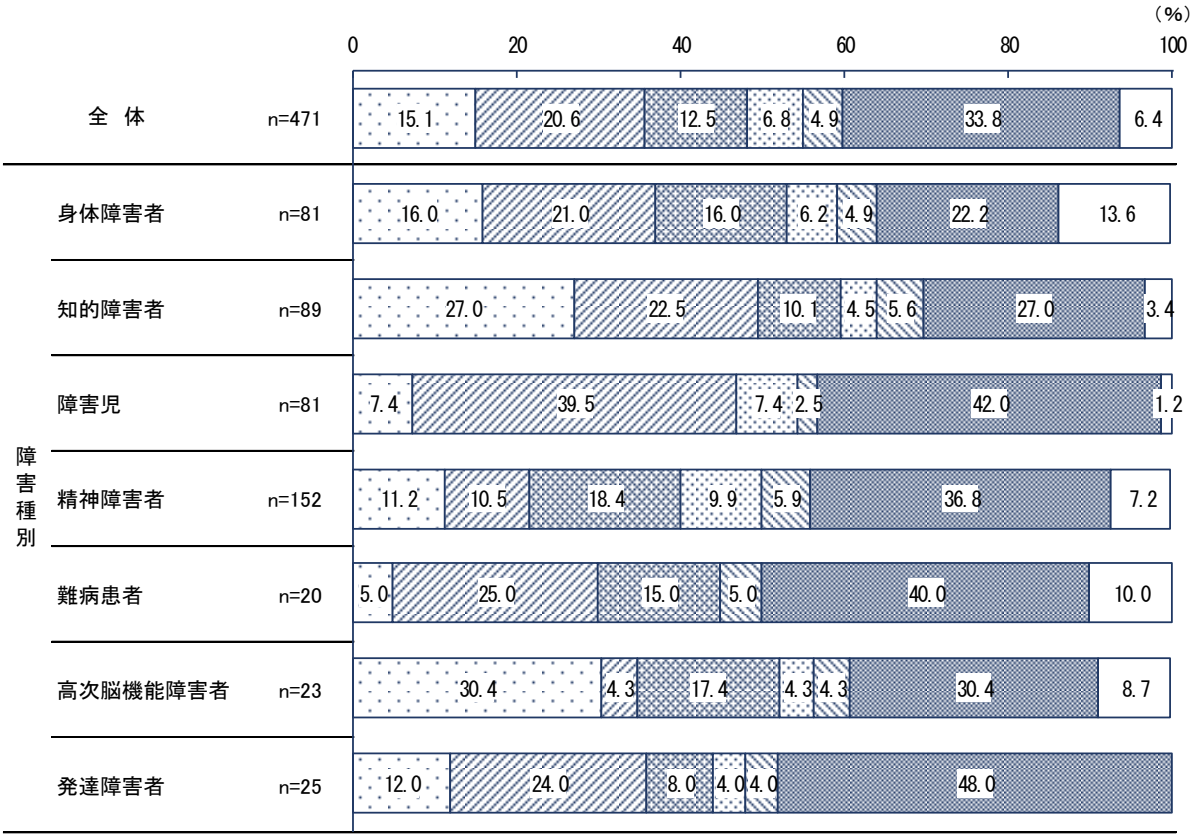

【70歳以上】n=72



[SA]

## 問７（２）　(1)のときに、受診できなかった理由を教えてください。（○は１つ）また、１又は２を選択した場合は、可能な範囲で理由を書いてください。

全体でみると、「待ち時間が長いと受診することが難しいため（例：長時間座ることが難しいなど）」が20.6%と最も高く、次いで「病状を正確に伝えることが難しいため（例：医療用語が難しいなど）」（15.1%）、「受診する診療科や受診のタイミングが分からなかったため」（12.5%）となっています。




| その他の内容 | 件数 |
|---|---|
| 本人が嫌がる・怖がる | 19 |
| 予約が必要のため | 18 |
| 病院から断られた（紹介状が必要、障害に対応できない） | 15 |
| 新型コロナウイルスのため | 12 |
| 付き添い、１人での通院が難しいため | 11 |
| 診療時間外だったため | 10 |
| 障害のため診察が困難 | 9 |
| 体調不良のため動けなかった | 7 |
| 主治医・担当医が不在のため | 5 |
| 入院中のため | 3 |
| 診療先が分からなかった | 2 |
| その他 | 42 |

## 受診できなかった理由

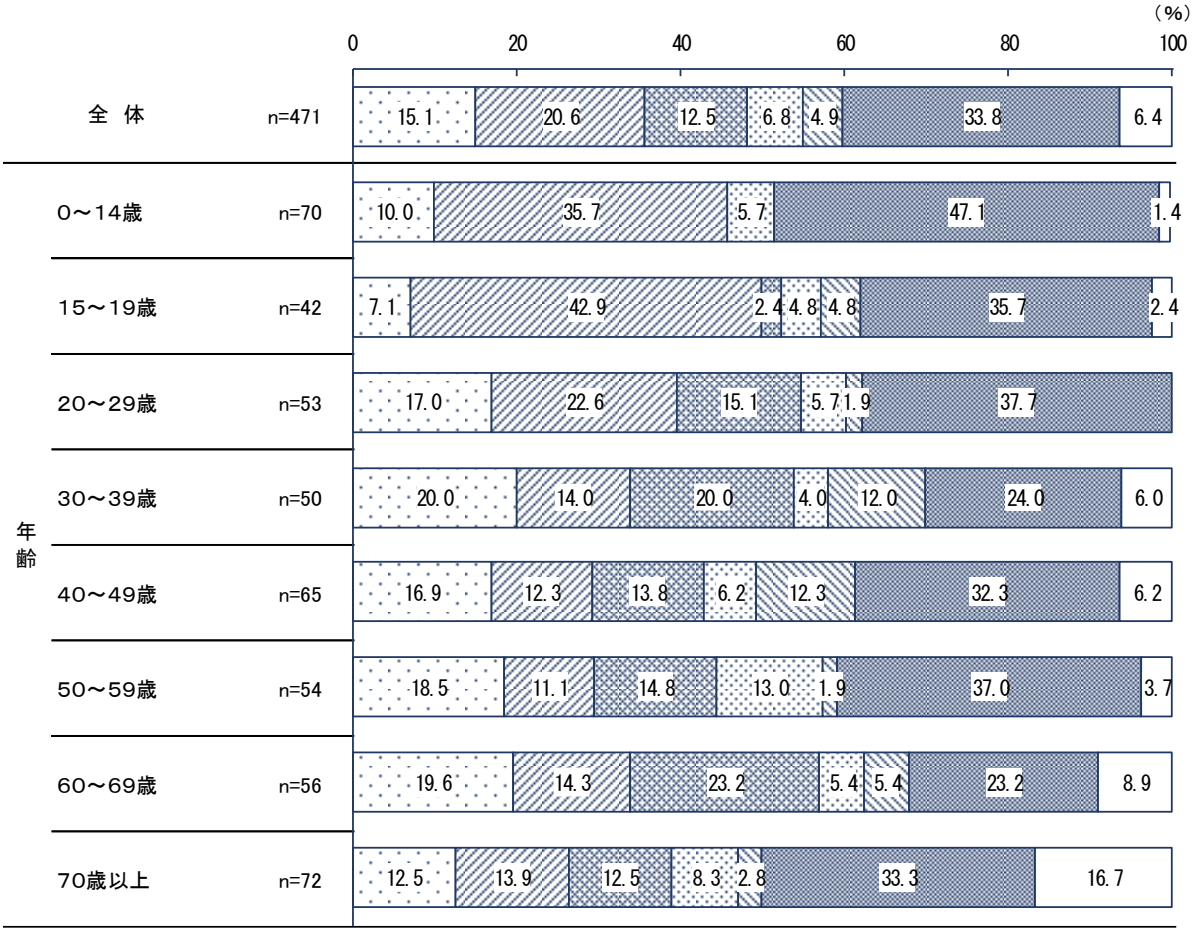
### 病状を正確に伝えることが難しいため（例：医療用語が難しいなど）

| 理由の内容 | 件数 |
|---|---|
| 伝える・話すことが困難 | 20 |
| 病院から断られた（紹介状が必要、障害に対応できない） | 6 |
| 本人が症状を自覚していない | 5 |
| 本人が嫌がる・怖がる | 4 |
| 医師の説明が理解できない | 3 |
| その他 | 13 |

### 待ち時間が長いと受診することが難しいため（例：長時間座ることが難しいなど）

| 理由の内容 | 件数 |
|---|---|
| 障害のため（騒いでしまう、体勢維持が困難） | 31 |
| 体調不良のため待てなかった | 8 |
| 本人が嫌がる・怖がる | 7 |
| 付き添い・介助が必要なため | 1 |
| その他 | 26 |

年齢別でみると、「１５～１９歳」で「待ち時間が長いと受診することが難しいため（例：長時間座ることが難しいなど）」は 42.9%となっています。



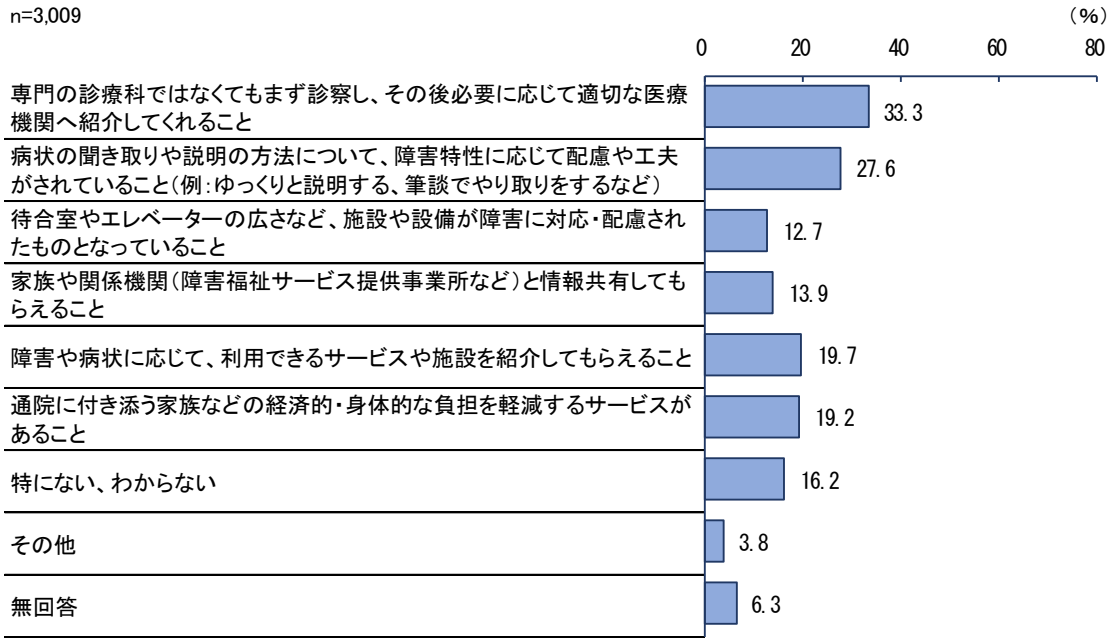

※年齢無回答は非表示

- 病状を正確に伝えることが難しいため（例：医療用語が難しいなど）
- 待ち時間が長いと受診することが難しいため（例：長時間座ることが難しいなど）
- 受診する診療科や受診のタイミングが分からなかったため
- 診察してくれる診療科が近くになかったため
- お金に余裕がなかったため
- その他
- 無回答

[MA]

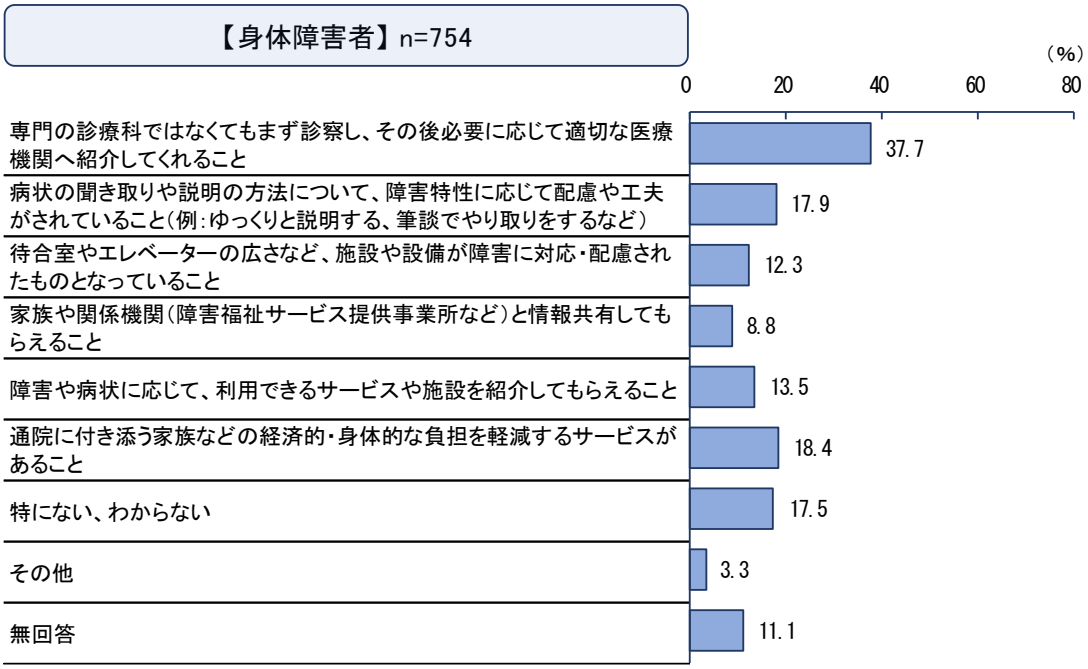
## 問 8 あなたが、医療機関をより受診しやすくなる又は適切な医療を受けやすくなるために、特に必要な対応はどれだと思いますか。（○は２つまで）

全体でみると、「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」が 33.3%と最も高くなっています。次いで「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」（27.6%）、「障害や病状に応じて、利用できるサービスや施設を紹介してもらえること」（19.7%）、「通院に付き添う家族などの経済的・身体的な負担を軽減するサービスがあること」（19.2%）となっています。

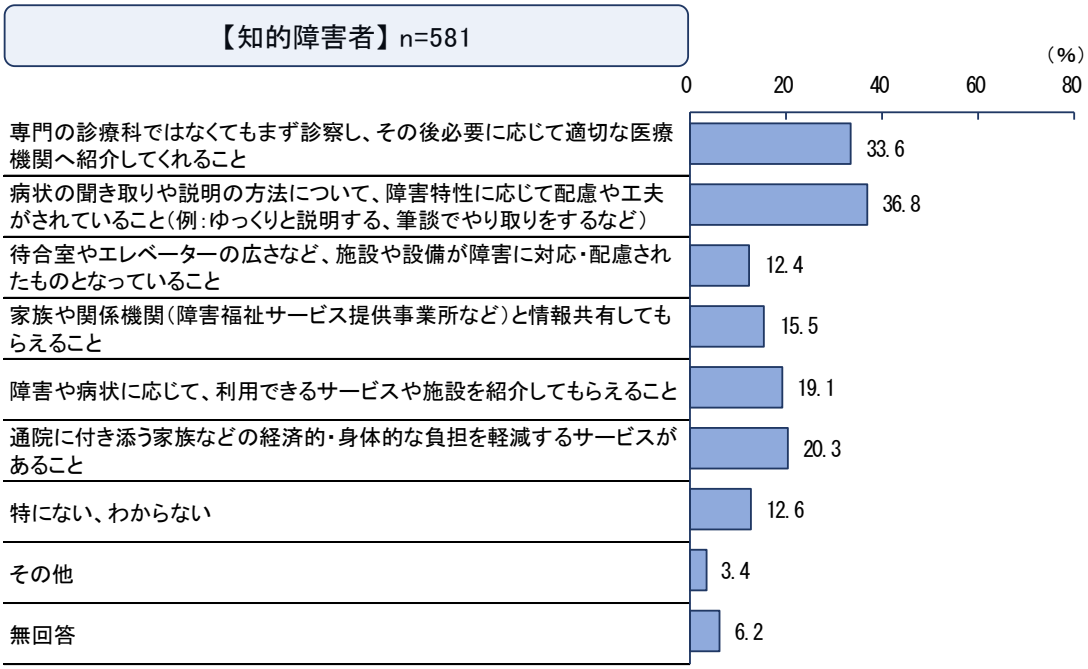



| その他の内容 | 件数 |
|---|---|
| 予約・待ち時間の改善 | 19 |
| 障害への対応・理解 | 13 |
| 病院職員の対応の改善 | 11 |
| 通院しやすい・通院手段の改善 | 8 |
| 障害者専用の時間・病院 | 6 |
| 症状などへの十分な説明・理解 | 5 |
| 相談先 | 4 |
| 付き添いの支援 | 4 |
| 緊急時に受診できること | 3 |
| 診療費の軽減 | 3 |
| 診療履歴の情報共有 | 3 |
| その他 | 25 |

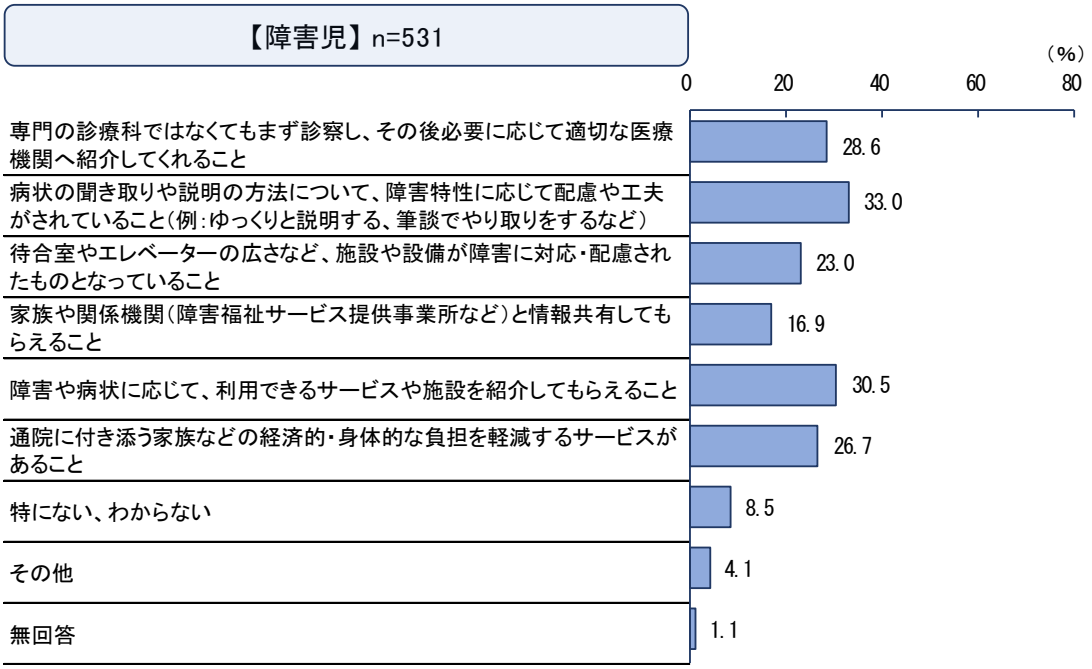
身体障害者でみると、「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」が 37.7%と最も高く、次いで「通院に付き添う家族などの経済的・身体的な負担を軽減するサービスがあること」（18.4%）となっています。



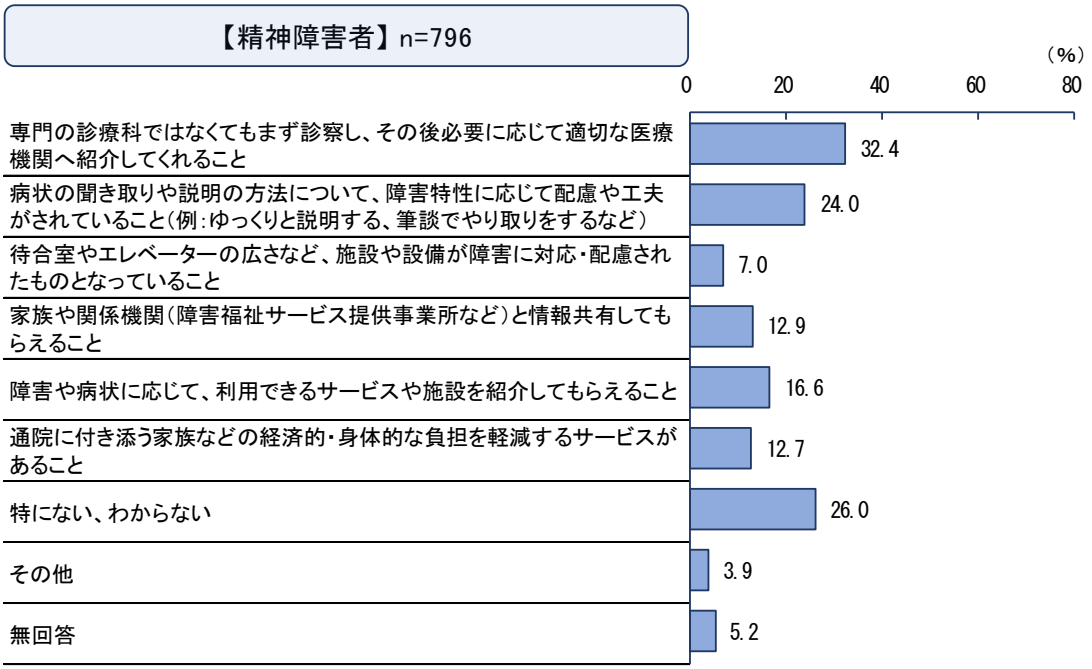

知的障害者でみると、「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」が 36.8%と最も高く、次いで「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」（33.6%）となっています。



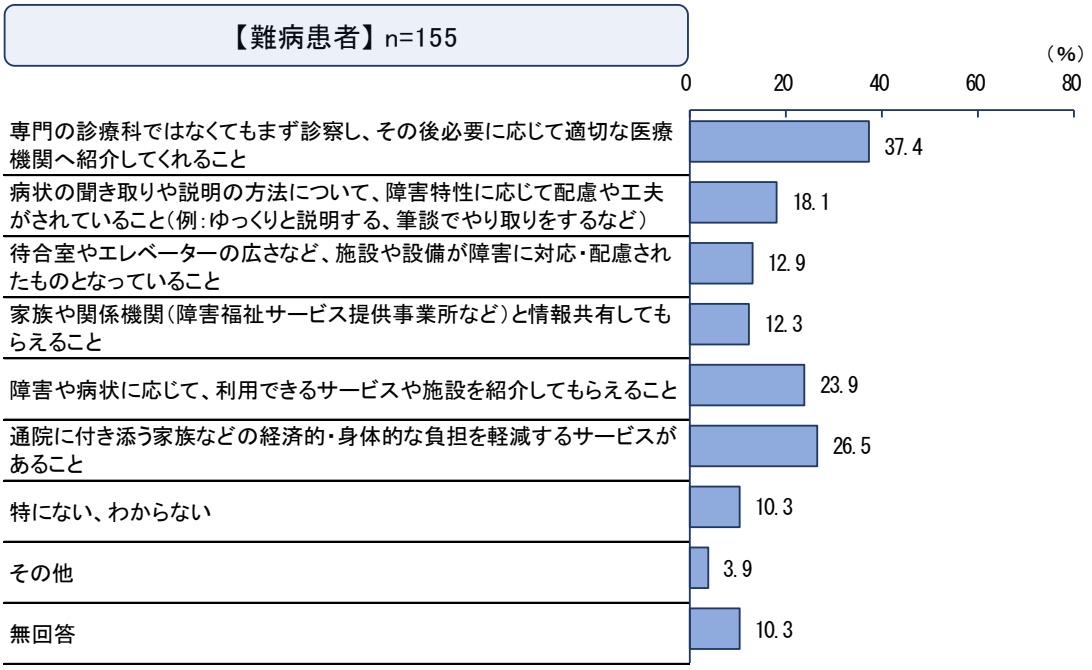
障害児でみると、「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」が 33.0%と最も高く、次いで「障害や病状に応じて、利用できるサービスや施設を紹介してもらえること」（30.5%）となっています。



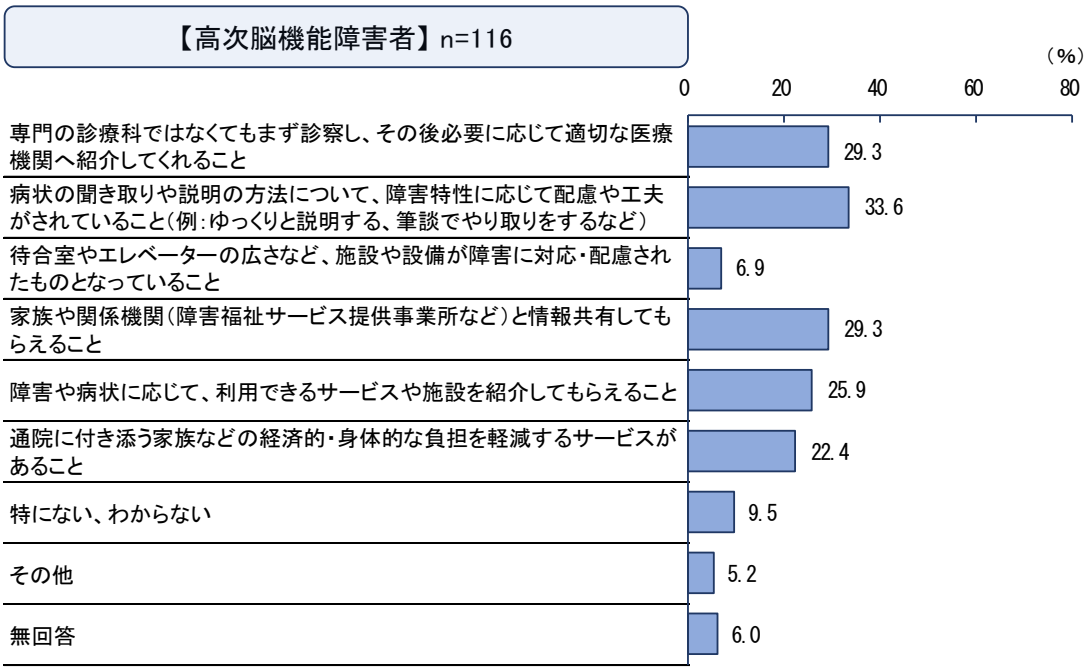

精神障害者でみると、「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」が 32.4%と最も高く、次いで「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」（24.0%）となっています。



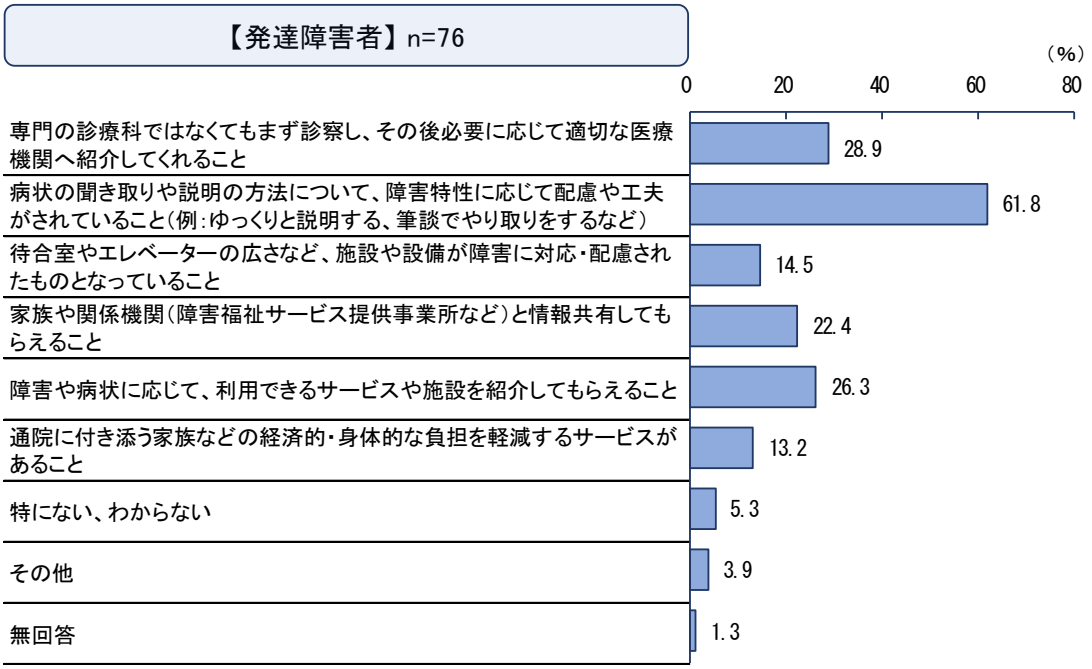
難病患者でみると、「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」が 37.4%と最も高く、次いで「通院に付き添う家族などの経済的・身体的な負担を軽減するサービスがあること」（26.5%）となっています。




高次脳機能障害者でみると、「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」が 33.6%と最も高く、次いで「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」、「家族や関係機関（障害福祉サービス提供事業所など）と情報共有してもらえること」（29.3%）となっています。

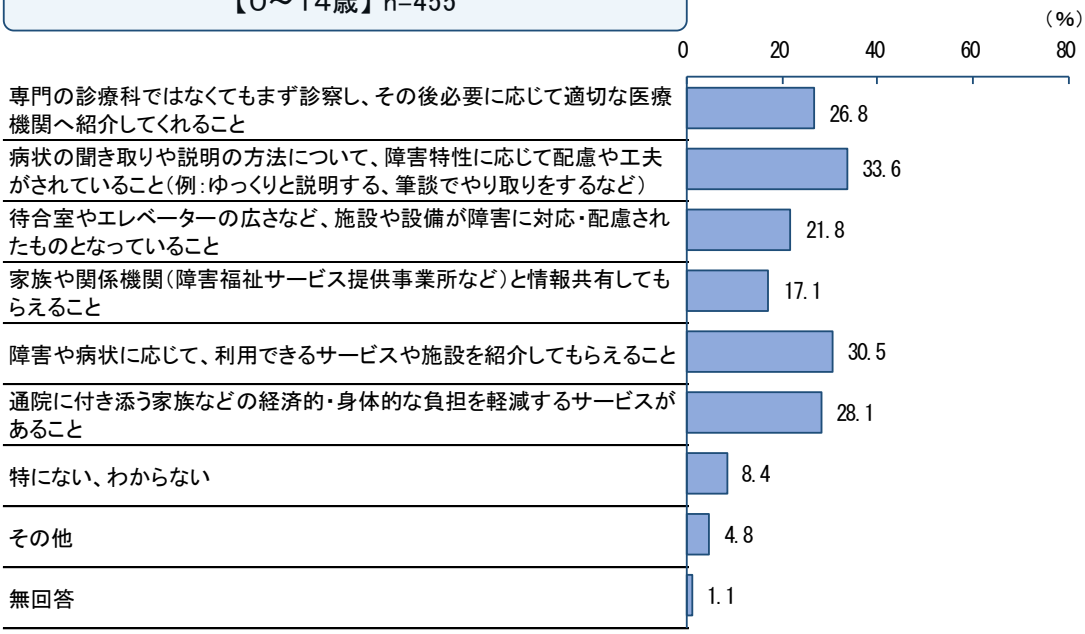


発達障害者でみると、「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」が 61.8%と最も高く、次いで「専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること」（28.9%）となっています。

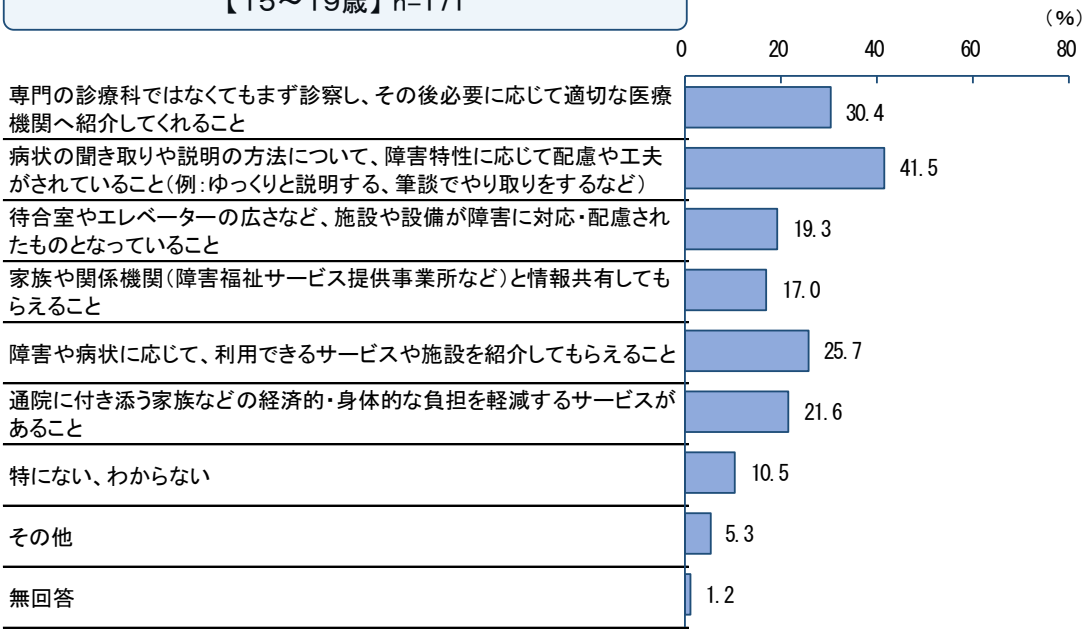


年齢別における回答状況は次のとおりとなっています。

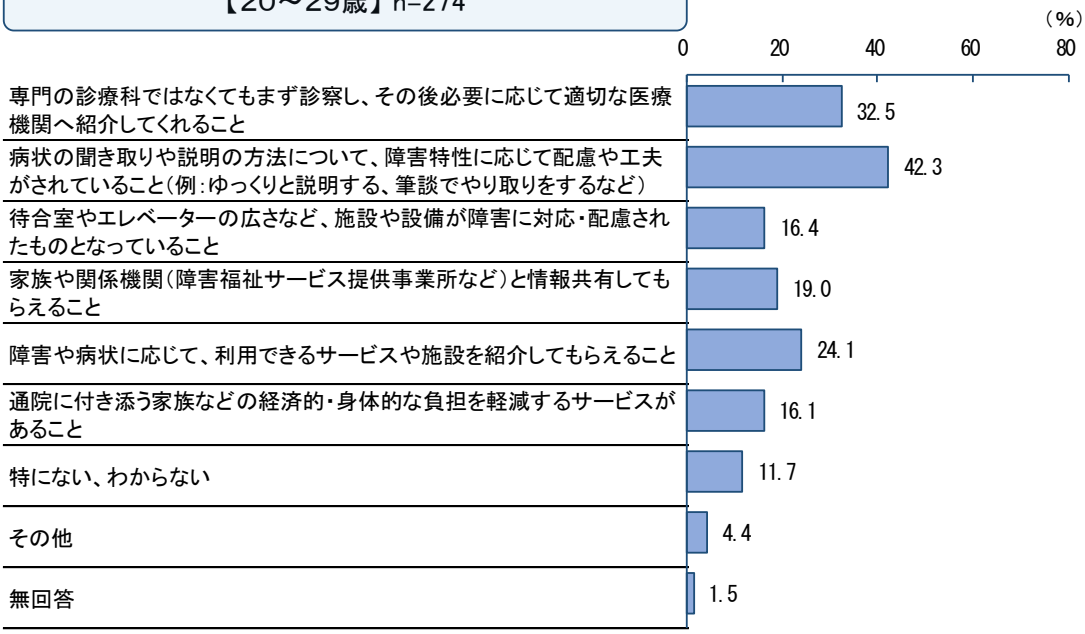
【0～14歳】n=455



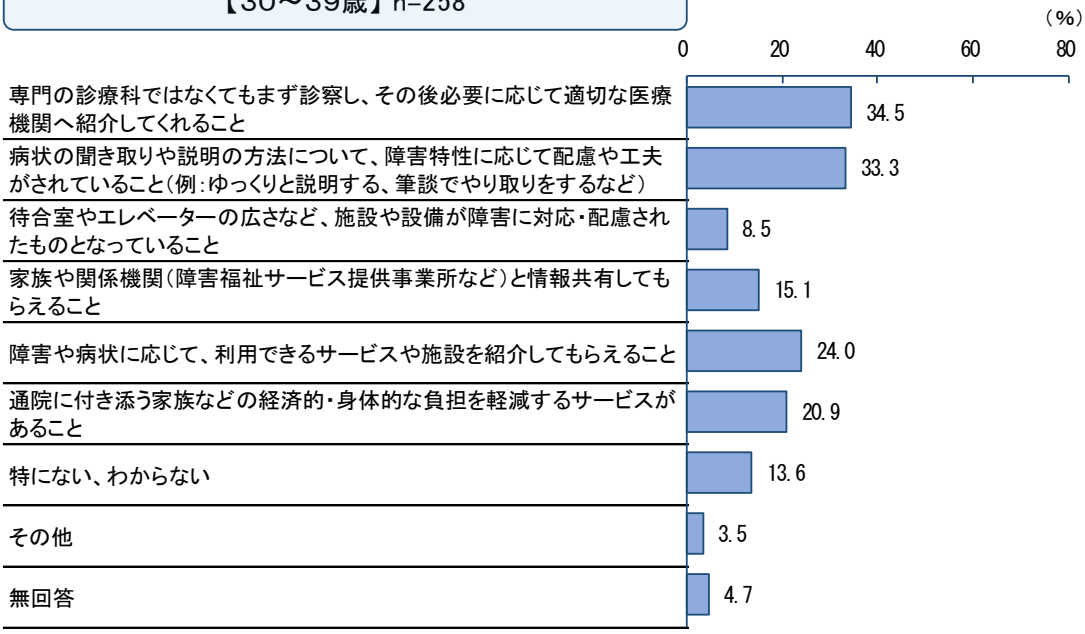

【15～19歳】n=171



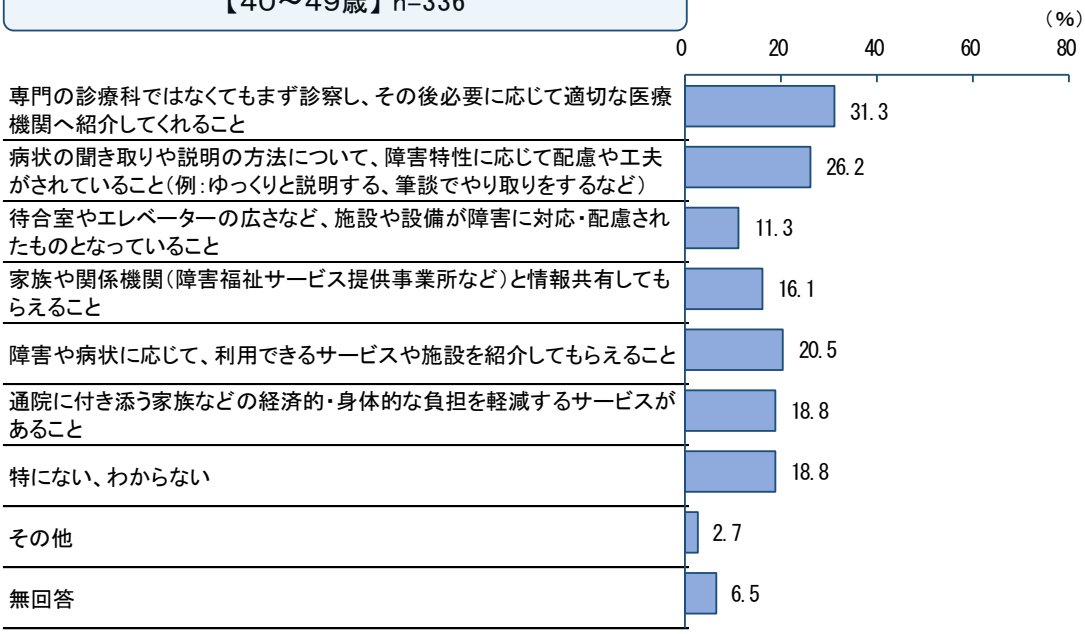
【20～29歳】n=274



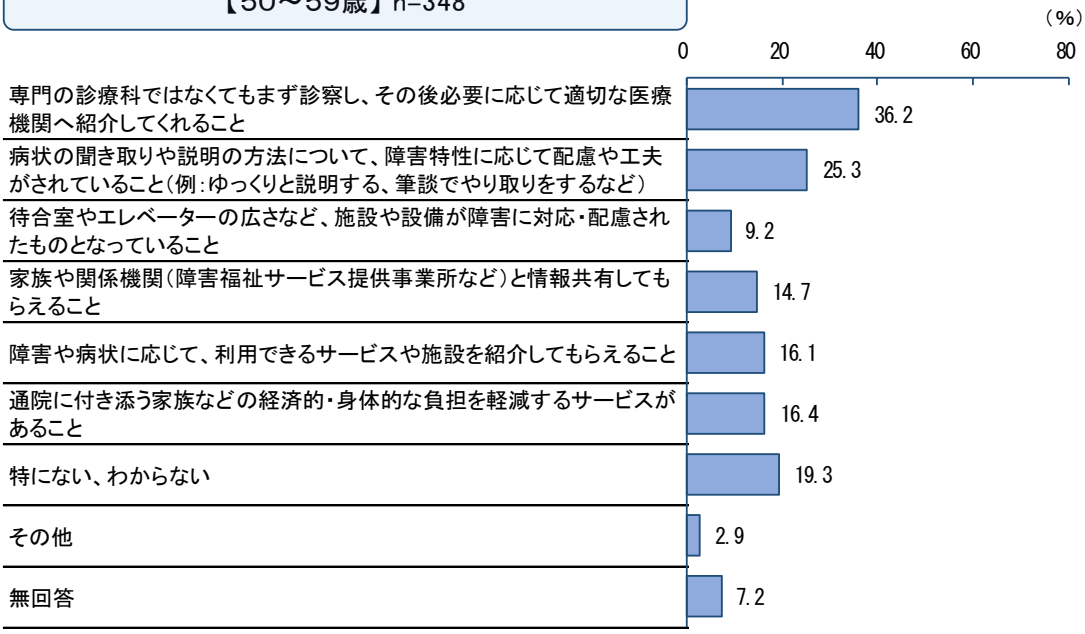

【30～39歳】n=258



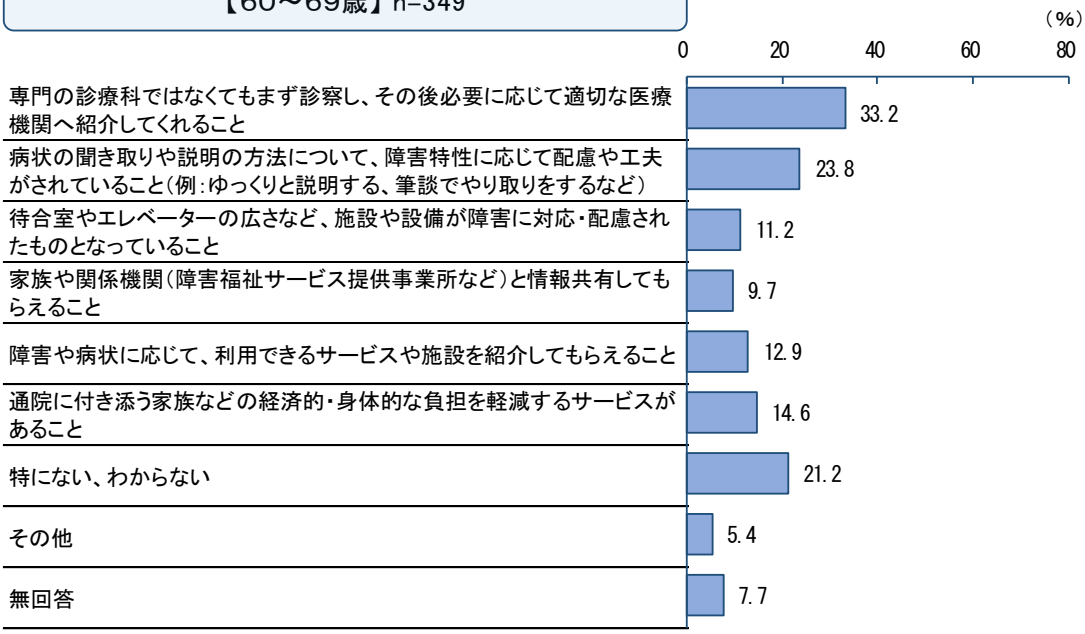
【40～49歳】n=336



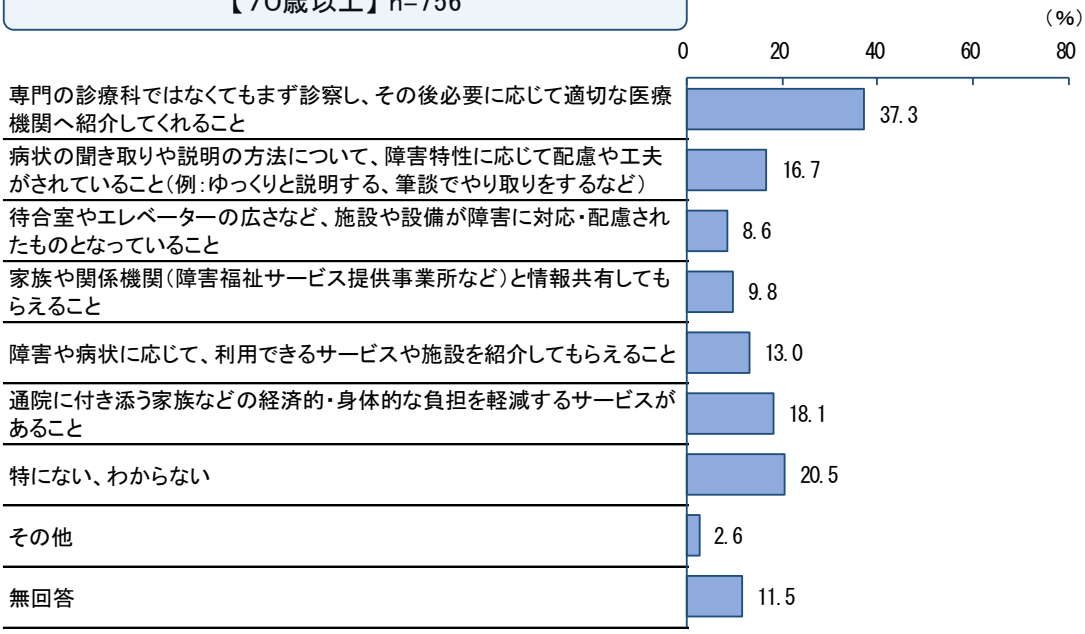

【50～59歳】n=348



【60～69歳】n=349




【70歳以上】n=756



# 第３章
# 調査結果の分析

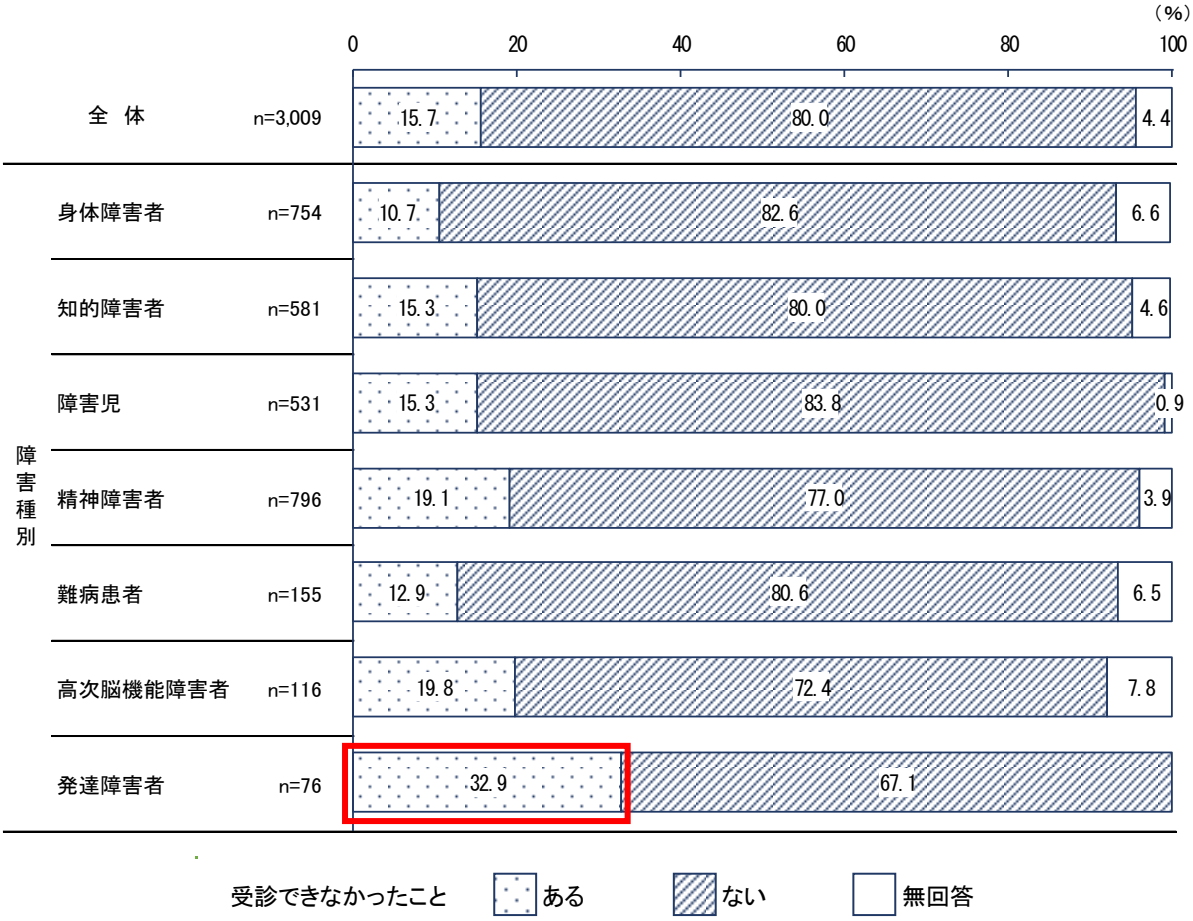
# 第３章　調査結果の分析

## 「受診できなかったことの有無」と「障害者外来に必要な対応」について

安心して医療を受けられる環境づくりの参考とするため、障害者のニーズや医療機関に求められている機能の把握が欠かせないところです。この度の調査項目の中から、「受診できなかったことの有無」や「障害者外来に必要な対応」を問うものがあり、これらの項目に対し関連する設問のクロス集計を実施しました。

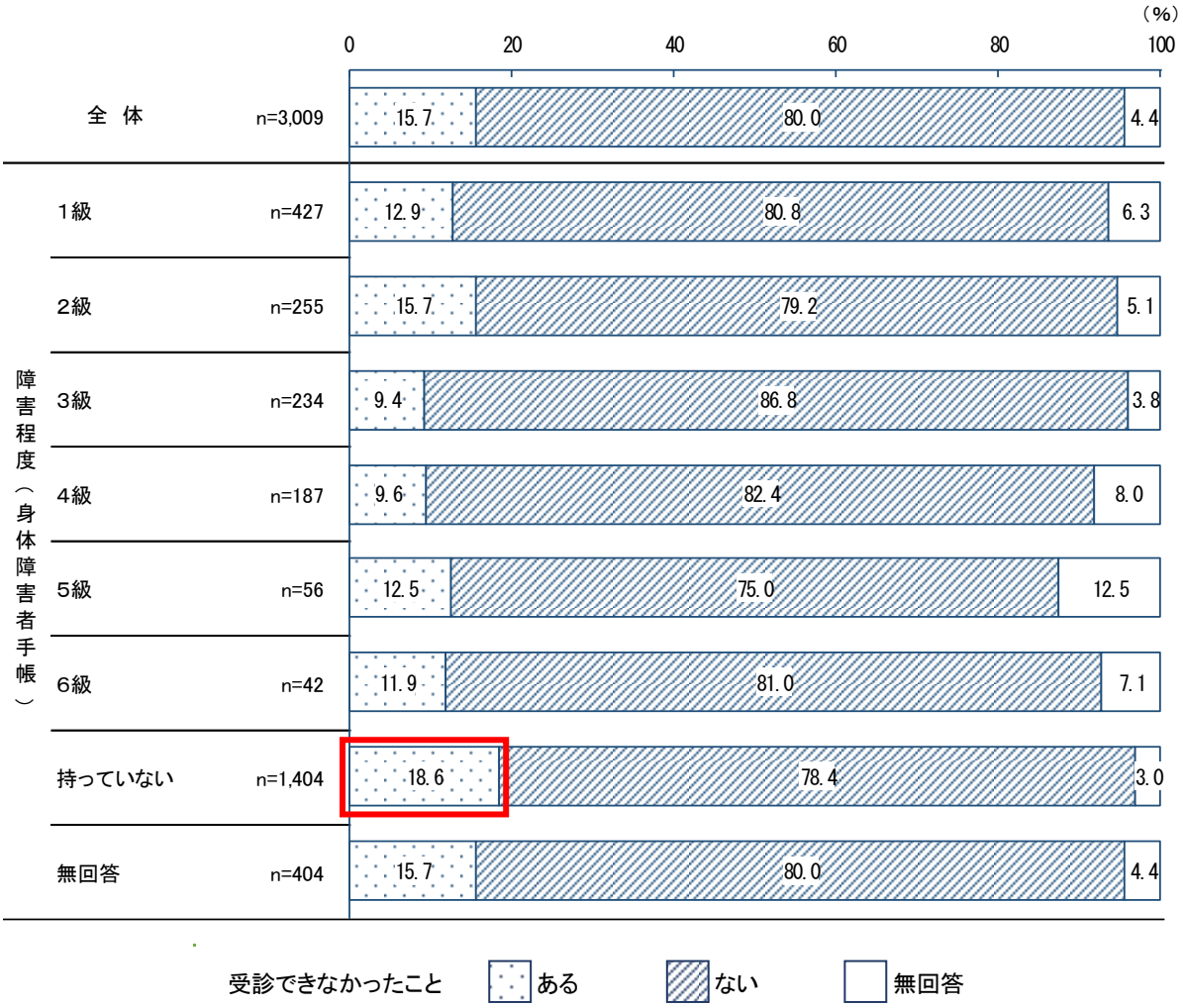
### （1）障害種別×受診できなかったことの有無

障害種別で発達障害の方は「受診できなかったことがある」方が多くなっています。

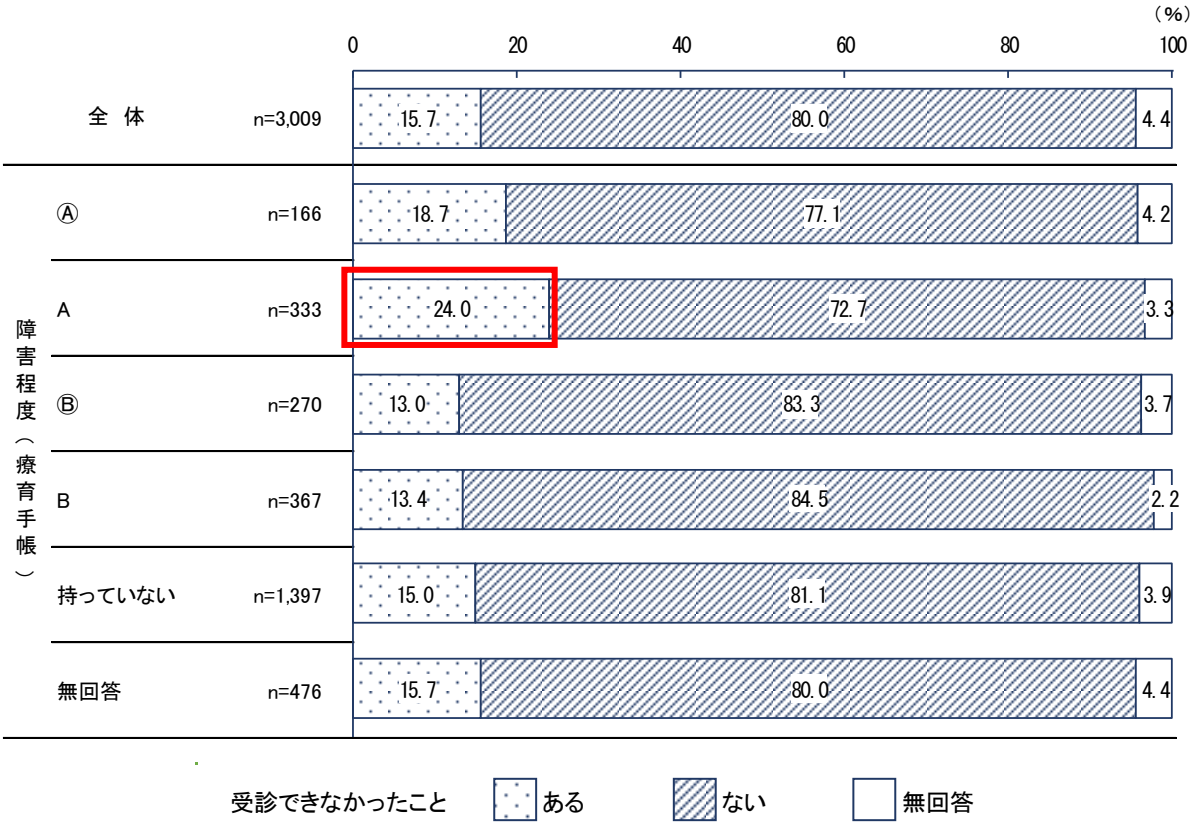


## （2）障害の程度×受診できなかったことの有無

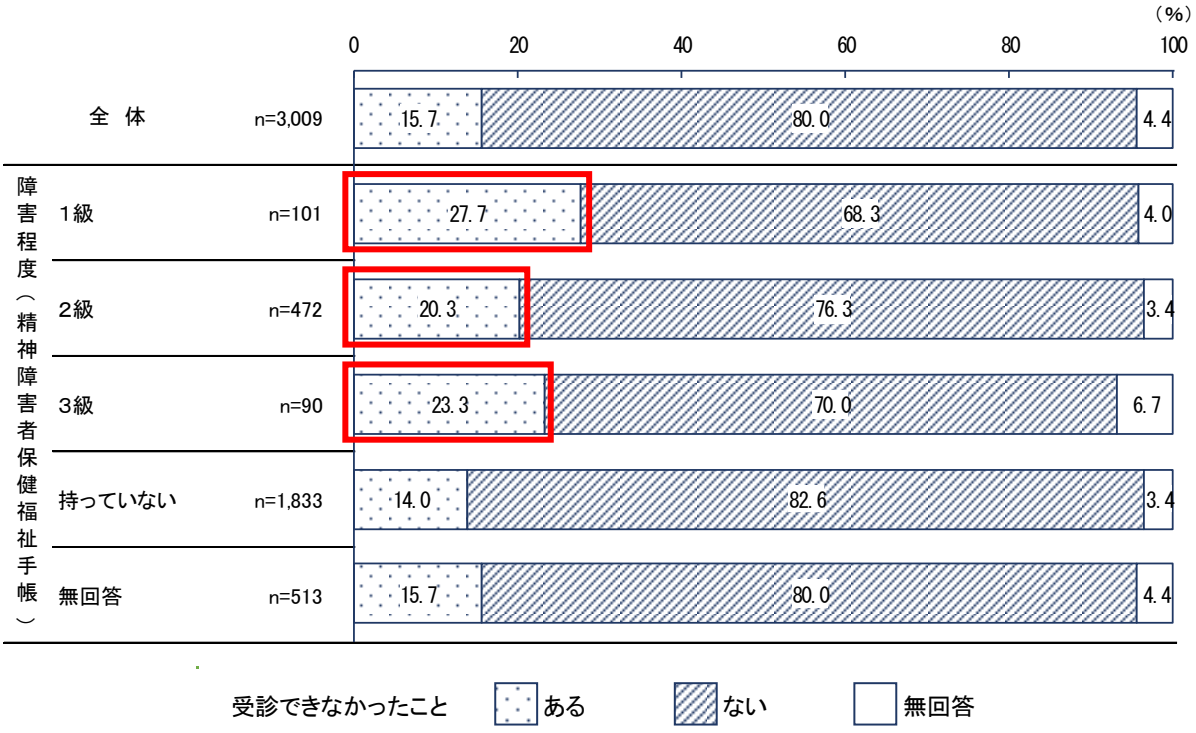
障害程度（身体障害者手帳）で手帳を持っていない方は「受診できなかったことがある」方が多くなっています。



障害程度（療育手帳）でＡの方は「受診できなかったことがある」方が多くなっています。

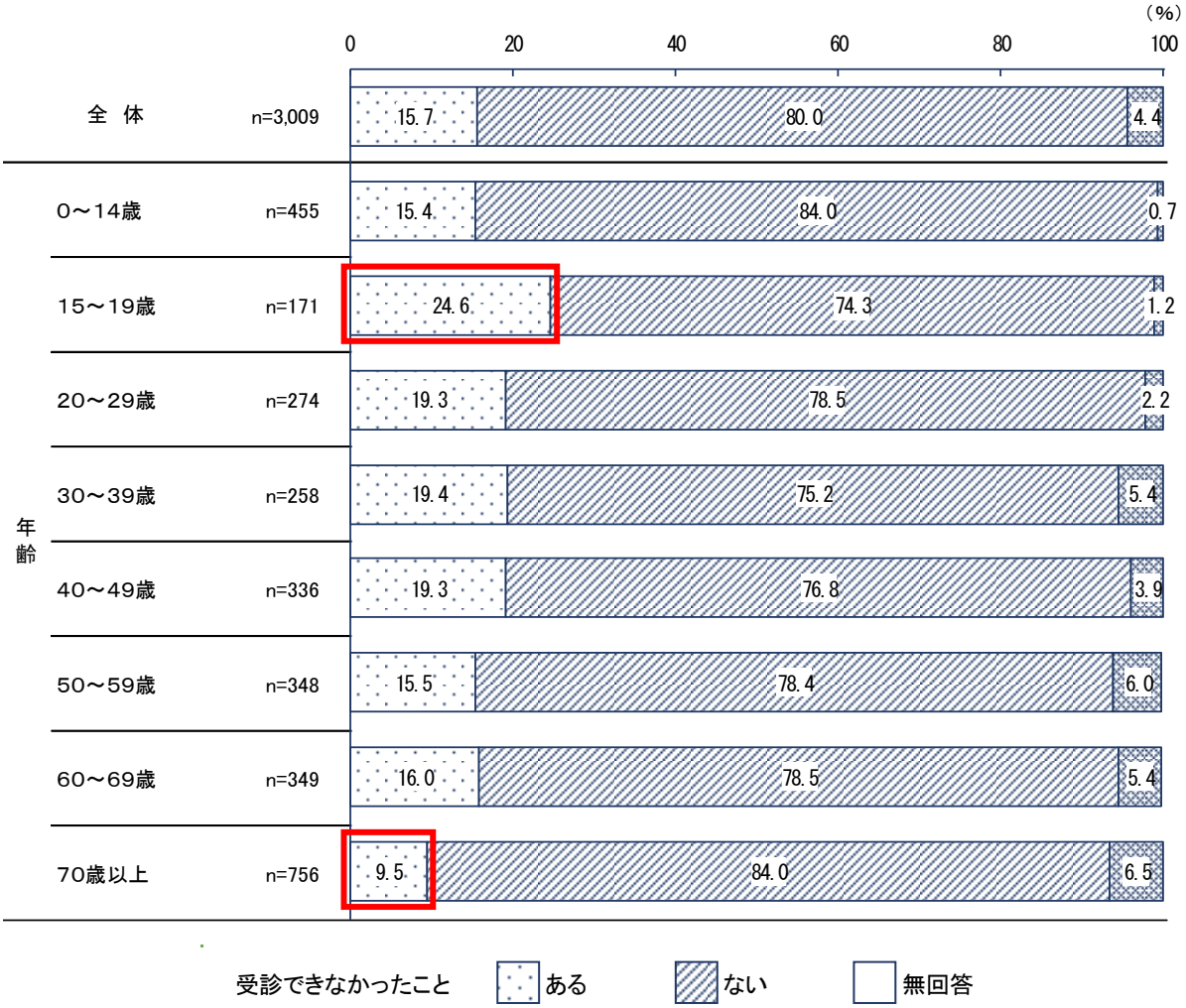



障害程度（精神障害者保健福祉手帳）で手帳所持者の方は「受診できなかったことがある」方が多くなっています。



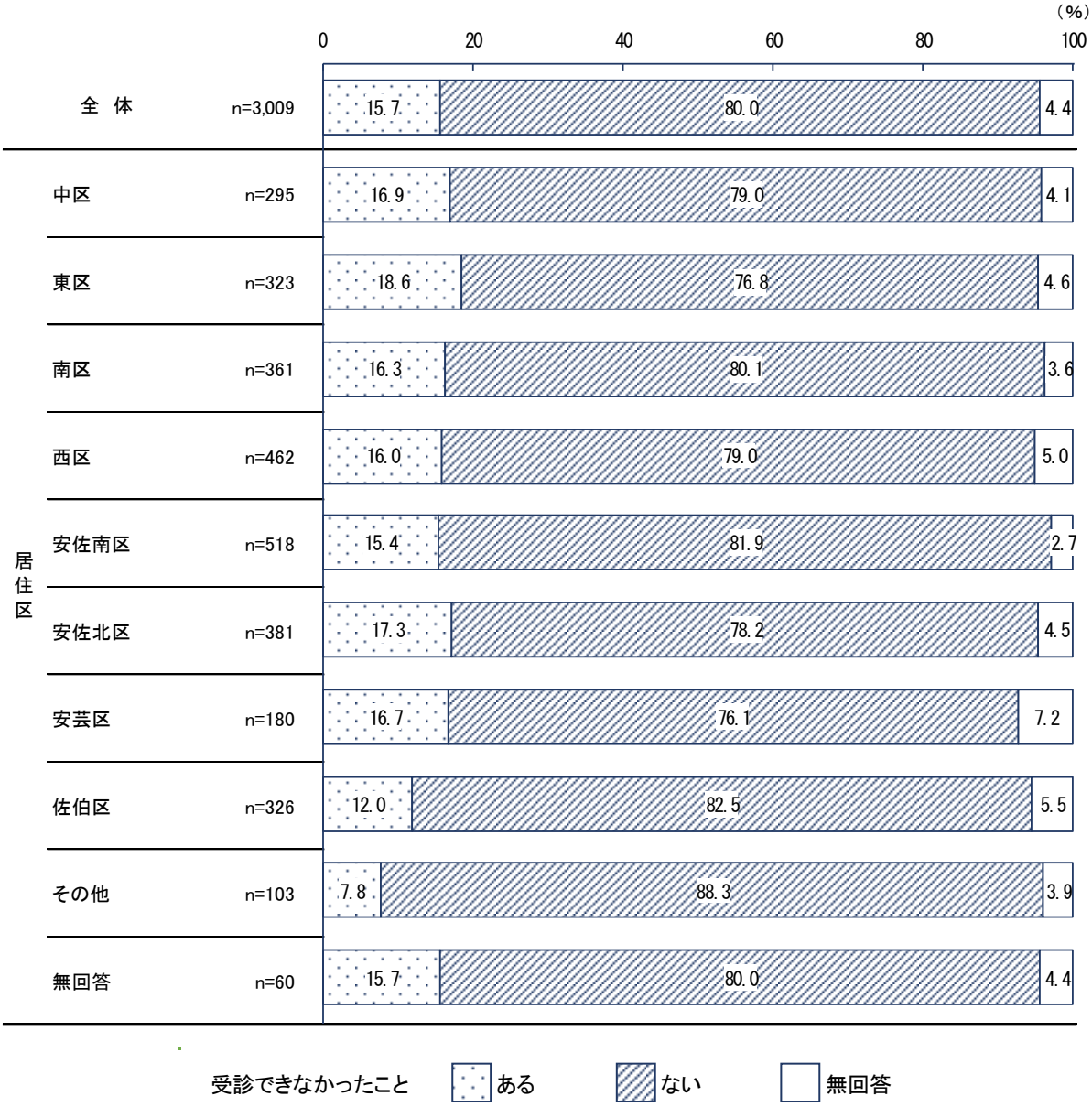
## (3) 年齢×受診できなかったことの有無

年齢で１５～１９歳の方は「受診できなかったことがある」方が多くなっています。また、７０歳以上の方は「受診できなかったことがある」方が少なくなっています。



## (4) 居住区×受診できなかったことの有無

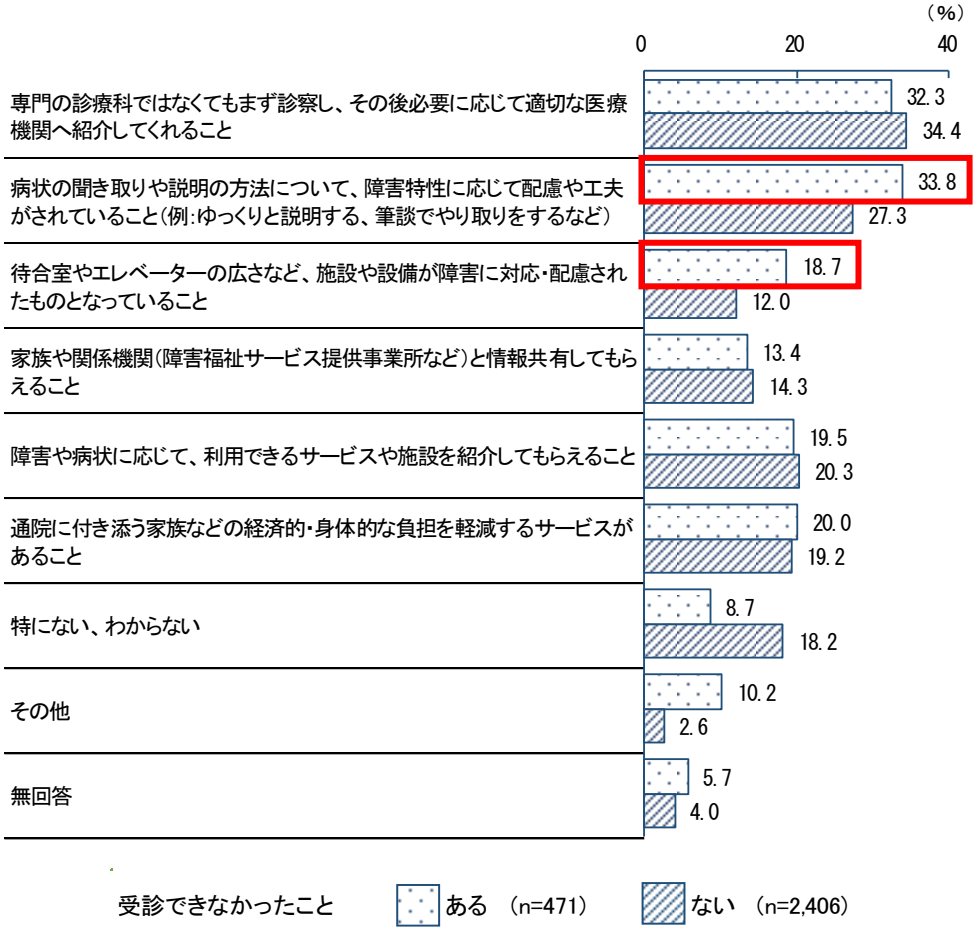
居住区での差は見られません。



## (5) 障害者外来に必要な対応×受診できなかったことの有無

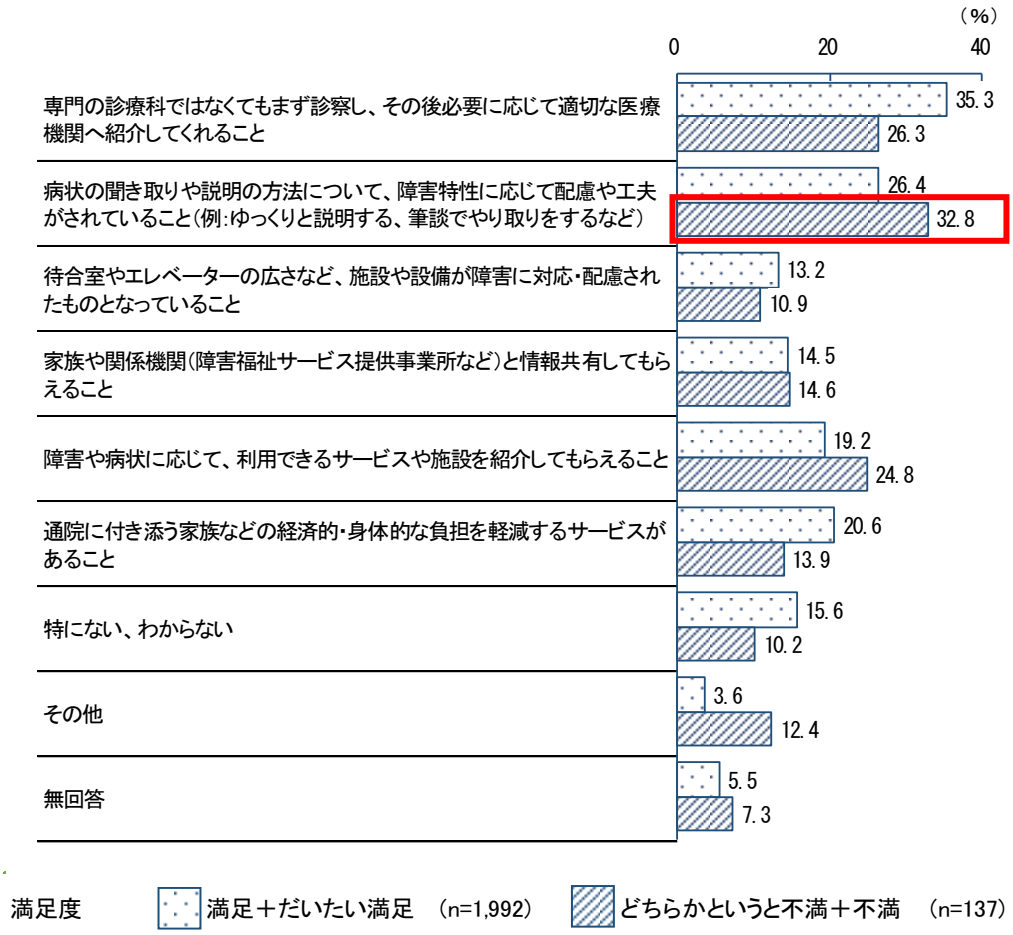
「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」に回答した方は受診できなかったことがある方が多くなっています。

「待合室やエレベーターの広さなど、施設や設備が障害に対応・配慮されたものとなっていること」に回答した方は受診できなかったことがある方が多くなっています。



## (6) 障害者外来に必要な対応×満足度

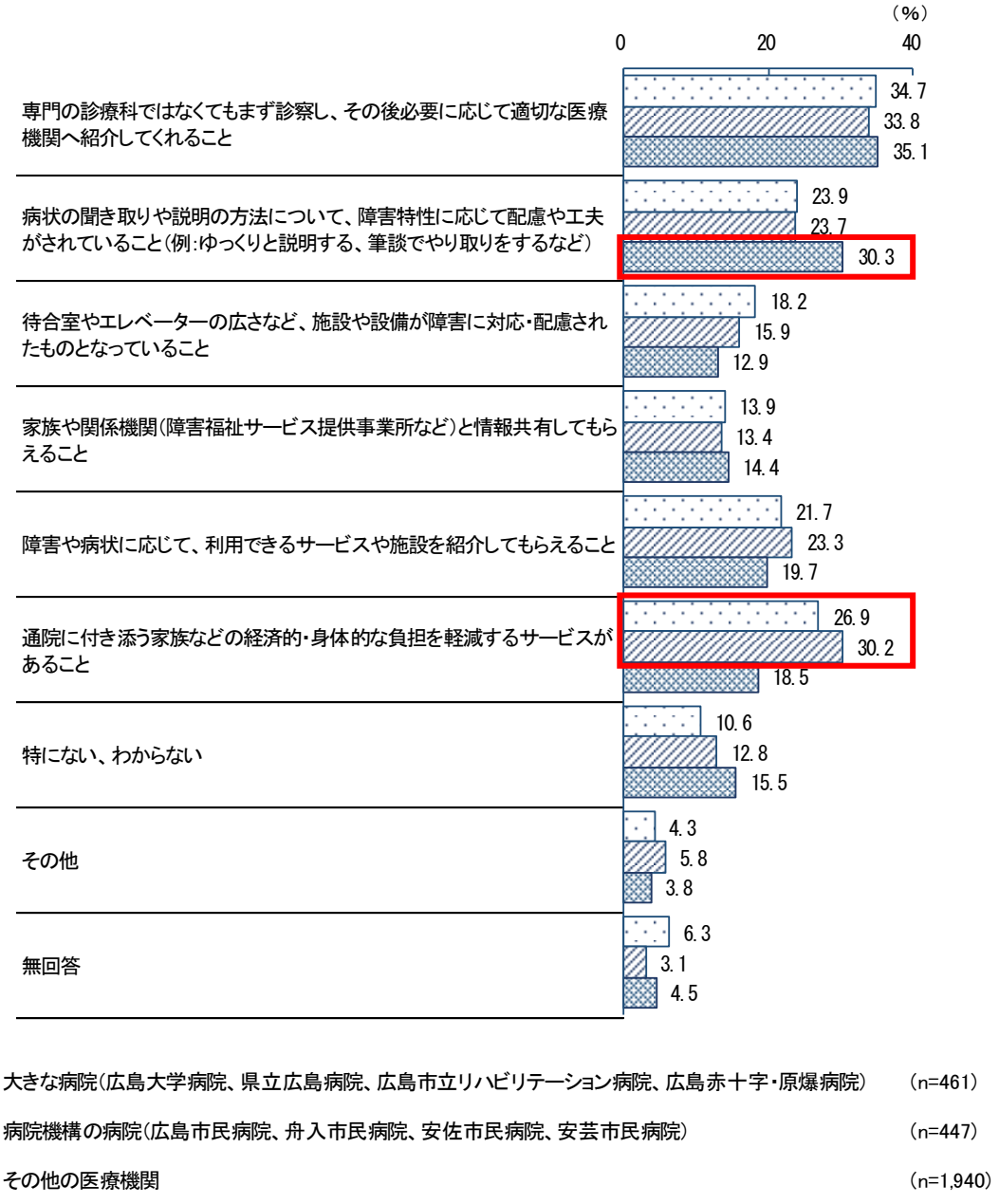
「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」に回答した方は「どちらかというと不満＋不満」の方が多くなっています。



## (7) 障害者外来に必要な対応×病院別

「病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること」に回答した方は「その他の医療機関」の方が多くなっています。

「通院に付き添う家族などの経済的・身体的な負担を軽減するサービスがあること」に回答した方は「大きな病院」、「病院機構の病院」の方が多くなっています。



# 資料編

# 資料編

## 身体障害者用アンケート調査票

001

### 医療ニーズに関するアンケート

日頃より市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島市では、障害のある方の医療ニーズや医療機関の受診状況を把握し、皆さんがお住まいの地域で受診しやすい環境づくりの支援に役立てることを目的にアンケート調査を実施することにいたしました。

この調査の対象者は、身体障害者手帳をお持ちの方の中から無作為に抽出しております。

御回答いただいたアンケートの内容については、個人を特定できるような形で公表されることは一切ありませんので、御協力くださいますようお願いいたします。

**【お答えいただく前に】**

1　このアンケート票に名前を書いていただく必要はありません。個人の秘密は守られますから、安心してお答えください。もし、答えたくないことや、わからないことがありましたら、無理にお答えいただく必要はありません。

2　この調査は、できるだけ障害のある御本人がお答えください。
　御本人が記入できない場合や御本人が答えにくい場合には、代わってどなたかが、御本人の意見を聞きながら、又は、御本人の立場に立って、気持ちを考えながらお書きください。

3　回答は、□の中のあてはまる項目の番号に○をつけてください。なお、「その他」の場合には、（　　）の中にその具体的な内容をお書きください。

4　点字版、音声コード版も用意しておりますので、必要な方は下記まで御連絡いただければ、御自宅まで郵送します。

御記入いただいたアンケート票は、１２月２２日（水曜日）までに、同封の返信用封筒により、広島市役所まで御返送ください。切手は不要です。

なお、御返送にあたって、封筒に差出人であるあなたの名前や住所を書いていただく必要はありません。

【連絡先】　〒７３０－８５８６　広島市中区国泰寺町一丁目６番３４号
広島市健康福祉局障害福祉課
電話：０８２－５０４－２１４７　ＦＡＸ：０８２－５０４－２２５６
Ｅメール：shougai@city.hiroshima.lg.jp



あなた（障害のある御本人）御自身のことについておたずねします。

問１　このアンケートを記入しているのはどなたですか。あてはまるものに１つ○をつけてください。（以下「○は１つ」と表記。）

| | | |
|---|---|---|
| １．本人 | ２．配偶者 | ３．子ども |
| ４．親（父・母） | ５．その他の親族 | ６．成年後見人 |
| ７．利用事業所の職員 | ８．その他（　　） | |

問２　あなた（障害のある御本人。他の問も同様。）の年齢は次のうちどれですか。（○は１つ）

| 年齢（令和３年９月１日現在） | | | |
|---|---|---|---|
| １．０～１４歳 | ２．１５～１９歳 | ３．２０～２９歳 | ４．３０～３９歳 |
| ５．４０～４９歳 | ６．５０～５９歳 | ７．６０～６９歳 | ８．７０歳以上 |

問３　あなたの住まいはどちらですか。（○は１つ）

| | | |
|---|---|---|
| １．中区 | ２．東区 | ３．南区 |
| ４．西区 | ５．安佐南区 | ６．安佐北区 |
| ７．安芸区 | ８．佐伯区 | ９．その他 |

問４　あなたの障害の種別や、お持ちの障害者手帳の等級等はどれですか。

(1) 身体障害者手帳（○は１つ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．１級 | ２．２級 | ３．３級 | ４．４級 |
| ５．５級 | ６．６級 | | |

→ 身体障害の種類（部位）はどれですか。（○はいくつでも）

１．目に障害がある（視覚障害）
２．耳に障害がある（聴覚又は平衡機能障害）
３．聞く・話す・読む・書くことに障害がある、ものがかめない（音声・言語・そしゃく機能障害）
４．手足のまひなどにより、日常生活での動作に困難がある（上肢機能障害、下肢機能障害、移動機能障害、体幹機能障害）
５．じん臓、心臓、呼吸器、肝臓、小腸又はぼうこう・直腸の障害（内部障害）
６．ウイルスによる免疫機能の障害（免疫機能障害）

(2) 療育手帳（○は１つ）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| １．Ⓐ | ２．Ａ | ３．Ⓑ | ４．Ｂ | ５．持っていない |

(3) 精神障害者保健福祉手帳（○は１つ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．１級 | ２．２級 | ３．３級 | ４．持っていない |

(4) 自立支援医療（精神通院）受給者証

| | |
|---|---|
| １．持っている | ２．持っていない |

(5) 発達障害（発達障害の診断名）（○はいくつでも）

| | |
|---|---|
| １．アスペルガー症候群 | ２．自閉症 |
| ３．１、２以外の広汎性発達障害 | ４．学習障害（ＬＤ） |
| ５．注意欠如・多動性障害（ＡＤＨＤ） | |
| ６．その他（　　） | |
| ７．ない | |

(6) 高次脳機能障害

| | |
|---|---|
| １．ある | ２．ない |

(7) 特定医療費（指定難病）受給者証

| | |
|---|---|
| １．持っている | ２．持っていない |

問５　現在、医師の治療を受けていますか。（○はいくつでも）

１．定期的に通院している
２．ときどき通院している
３．自宅で訪問看護や往診を受けている
４．入院している
５．特に治療はしていない
６．その他（　　）

問６　かかりつけの医療機関（歯科を除く）がありますか。

１．ある　→　(1)～(5)へ
２．ない　→　問７へ

(1) 問６で「１．ある」に○をつけた方におたずねします。受診頻度について、最も近いものを教えてください。（○は１つ）

| | | |
|---|---|---|
| １．１週間に４回以上 | ２．１週間に１～３回 | ３．２週間に１回 |
| ４．１か月に１回 | ５．３か月に１回 | ６．６か月に１回 |
| ７．入院中 | ８．定期的には通院していない | |



(2) 通院・入院している医療機関（歯科を除く）の場所はどこですか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．中区 | ２．東区 | ３．南区 | ４．西区 |
| ５．安佐南区 | ６．安佐北区 | ７．安芸区 | ８．佐伯区 |
| ９．広島市外 | １０．広島県外 | | |

(3) 通院・入院している医療機関（歯科を除く）はどれですか。（○はいくつでも）

| | | |
|---|---|---|
| １．広島大学病院 | ２．県立広島病院 | ３．広島市民病院 |
| ４．舟入市民病院 | ５．安佐市民病院 | ６．広島市立リハビリテーション病院 |
| ７．安芸市民病院 | ８．広島赤十字・原爆病院 | ９．その他の医療機関 |

(4) どの診療科を受診していますか。（○はいくつでも）

| | |
|---|---|
| １．内科 | ２．外科 |
| ３．小児科 | ４．消化器科 |
| ５．循環器科 | ６．呼吸器科 |
| ７．内分泌科 | ８．泌尿器科 |
| ９．皮膚科 | １０．眼科 |
| １１．耳鼻咽喉科 | １２．脳神経外科・脳神経内科 |
| １３．心療内科 | １４．精神科 |
| １５．整形外科・形成外科 | １６．リハビリテーション科 |
| １７．その他（　　） | |

(5) 医療機関での治療や療養についての満足度を教えてください。（○は１つ）

| | | |
|---|---|---|
| １．満足 | ２．だいたい満足 | ３．どちらともいえない |
| ４．どちらかというと不満 | ５．不満 | |

問７　これまでに、医療機関の受診の必要を感じたが、受診できなかったことはありますか。

１．ある　→　(1)・(2)へ
２．ない　→　問８へ

(1) 問７で「１．ある」に○をつけた方におたずねします。医療機関の受診の必要を感じたが、受診できなかったのは、どのようなときでしたか。（○はいくつでも）

１．発熱、頭痛、腹痛、せきなどの症状があったとき
２．痛み、けがなどがあったとき
３．妊娠したとき、月経痛などの症状があったとき
４．目の痛み、目が見えにくいなどの症状があったとき
５．耳の痛み、鼻水が出るなどの症状があったとき
６．不眠、不安感、抑うつ感などの症状があったとき
７．虫歯、歯ぐきから血が出たなどの症状があったとき
８．その他（　　）

(2) (1)のときに、受診できなかった理由を教えてください。（○は１つ）また、１又は２を選択した場合は、可能な範囲で理由を書いてください。

１．病状を正確に伝えることが難しいため（例：医療用語が難しいなど）
［理由：　　］
２．待ち時間が長いと受診することが難しいため（例：長時間座ることが難しいなど）
［理由：　　］
３．受診する診療科や受診のタイミングが分からなかったため
４．診察してくれる診療科が近くになかったため
５．お金に余裕がなかったため
６．その他（　　）

問８　あなたが、医療機関をより受診しやすくなる又は適切な医療を受けやすくなるために、特に必要な対応はどれだと思いますか。（○は２つまで）

１．専門の診療科ではなくてもまず診察し、その後必要に応じて適切な医療機関へ紹介してくれること
２．病状の聞き取りや説明の方法について、障害特性に応じて配慮や工夫がされていること（例：ゆっくりと説明する、筆談でやり取りをするなど）
３．待合室やエレベーターの広さなど、施設や設備が障害に対応・配慮されたものとなっていること
４．家族や関係機関（障害福祉サービス提供事業所など）と情報共有してもらえること
５．障害や病状に応じて、利用できるサービスや施設を紹介してもらえること
６．通院に付き添う家族などの経済的・身体的な負担を軽減するサービスがあること
７．特にない、わからない
８．その他（　　）

裏面に続きます。



問９　そのほか、医療機関を受診する際に、困っていること、必要なことがありましたら、下の枠内に自由に書いてください。

以上でアンケートは終わりです。御協力ありがとうございました。

**障害者の医療ニーズに関する調査分析報告書**

発行日　令和４年（２０２２年）３月
発行者　広島市健康福祉局障害福祉部障害福祉課
住　所　〒730-8586
広島市中区国泰寺町一丁目６番３４号